

# 2006年3月期 中間決算合同説明会

SBI ホールディングス株式会社

イー・トレード証券株式会社

SBI 証券株式会社

ファイナンス・オール株式会社

SBI パートナーズ株式会社

2005年10月26日

本資料に掲載されている事項は、SBIホールディングス株式会社、イー・トレード証券株式会社、SBI証券株式会社、ファイナンス・オール株式会社およびSBIパートナーズ株式会社のご案内等のほか、各社の事業戦略等に関する情報の提供を目的としたものであり、各社の発行する株式その他の有価証券への投資の勧誘を目的としたものではありません。なお、各社は、本資料に含まれた情報の完全性及び事業戦略など将来にかかる部分については保証するものではありません。また、本資料の内容は予告なしに変更又は廃止される場合がありますので、あらかじめご承知おきください。

# 1. 2006年3月期 中間決算概況

---

## (1) 連結決算業績

## (2) 主要ビジネスラインの事業概況

- ① セグメント別構成
- ② アセットマネジメント事業
- ③ 証券関連事業
- ④ ファイナンシャル・サービス事業

## (1) 連結決算業績

---

# 2006年3月期 中間期 連結決算業績

**半期ベースで売上高、営業利益、経常利益、  
純利益の全項目において過去最高を更新**

|       | 2005年3月期<br>中間期     | 2006年3月期 <sup>※1</sup><br>中間期 | 前年同期比<br>増減率(%) | (単位:百万円)<br>(ご参考)<br>2005年3月期<br>(前期)通期 |
|-------|---------------------|-------------------------------|-----------------|-----------------------------------------|
| 売上高   | 30,291              | 61,930                        | +104.4          | 81,511                                  |
| 営業利益  | 8,383               | 19,664                        | +134.6          | 24,869                                  |
| 経常利益  | 10,113              | 20,921                        | +106.9          | 27,291                                  |
| 当期純利益 | 7,235 <sup>※2</sup> | 10,733                        | +48.3           | 25,631                                  |

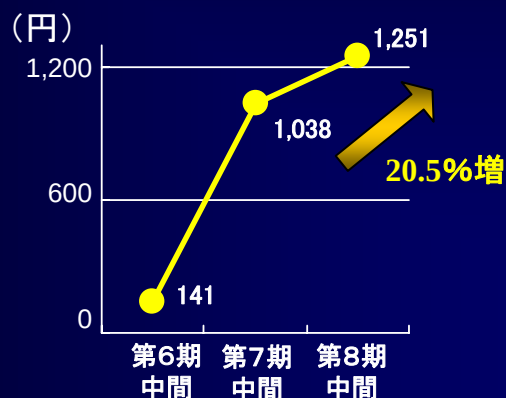
※1 SBIパートナーズ(株)の連結業績につきましては、9月(1ヶ月分)のみ当中間期の業績に含まれております。

※2 2005年3月期中間期は、イー・トレード証券株式の売却に伴う29億円の特別利益を計上しております。

# 連結中間業績・財務構造の推移

一株当たりの価値を高めながら、さらなる成長ステージに向けた飛躍を目指す

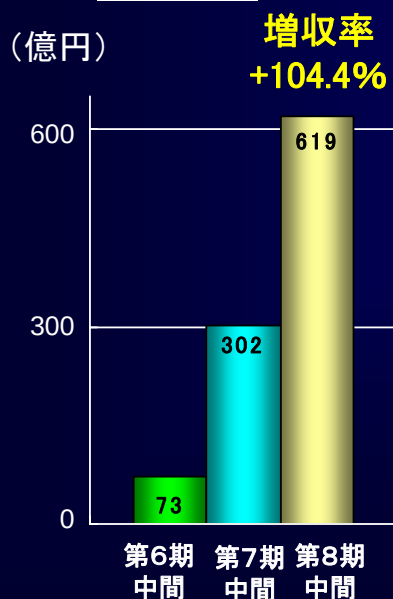
一株当たり中間(当期)純利益



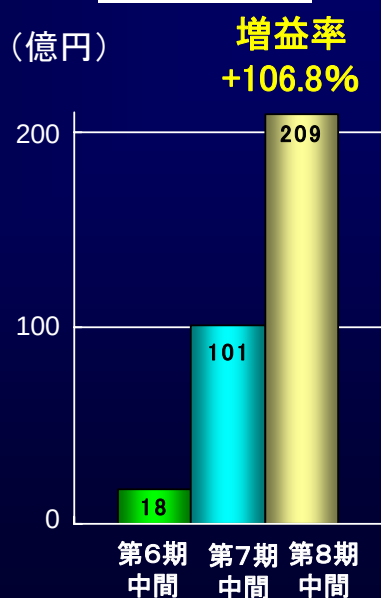
一株当たり株主資本



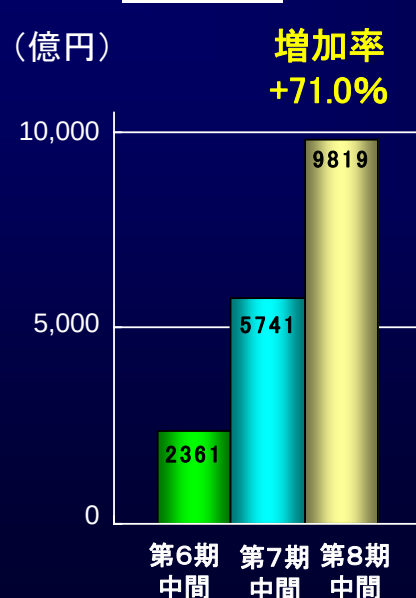
売上高



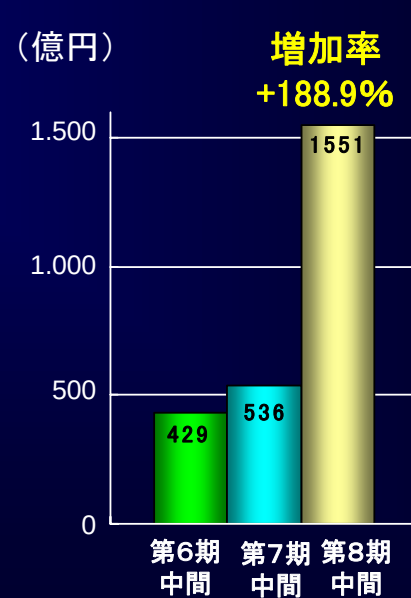
経常利益



総資産



株主資本



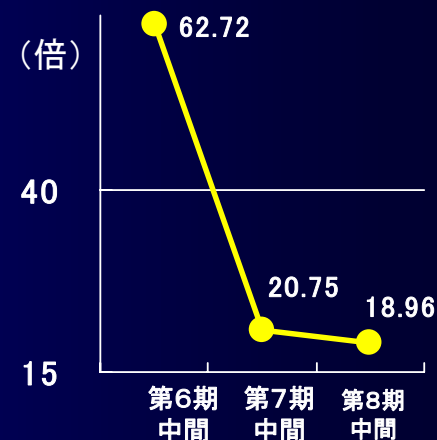
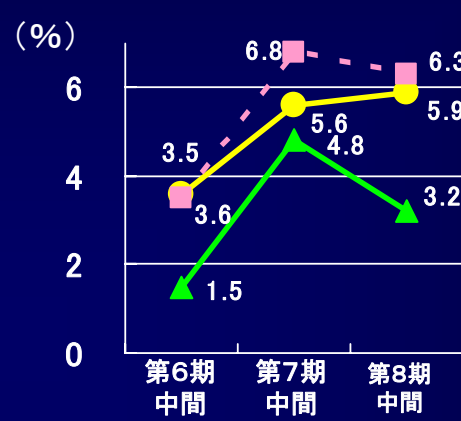
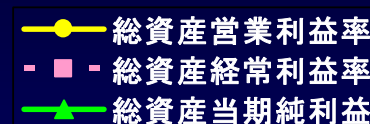
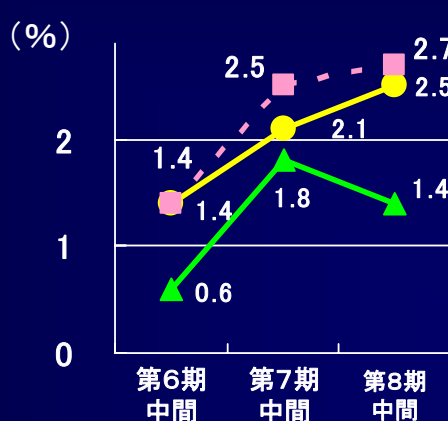
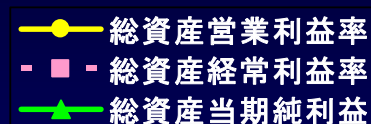
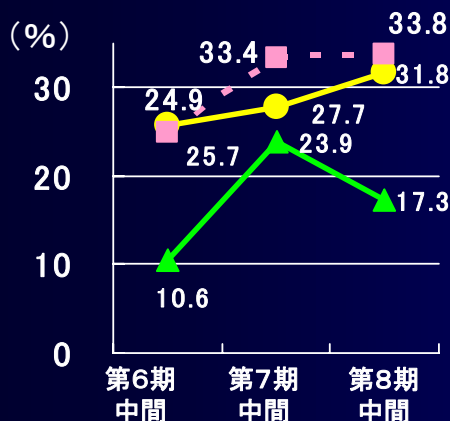
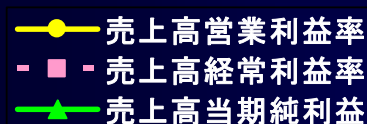
# 連結中間業績・財務構造の推移(経営指標)

## 売上高利益率

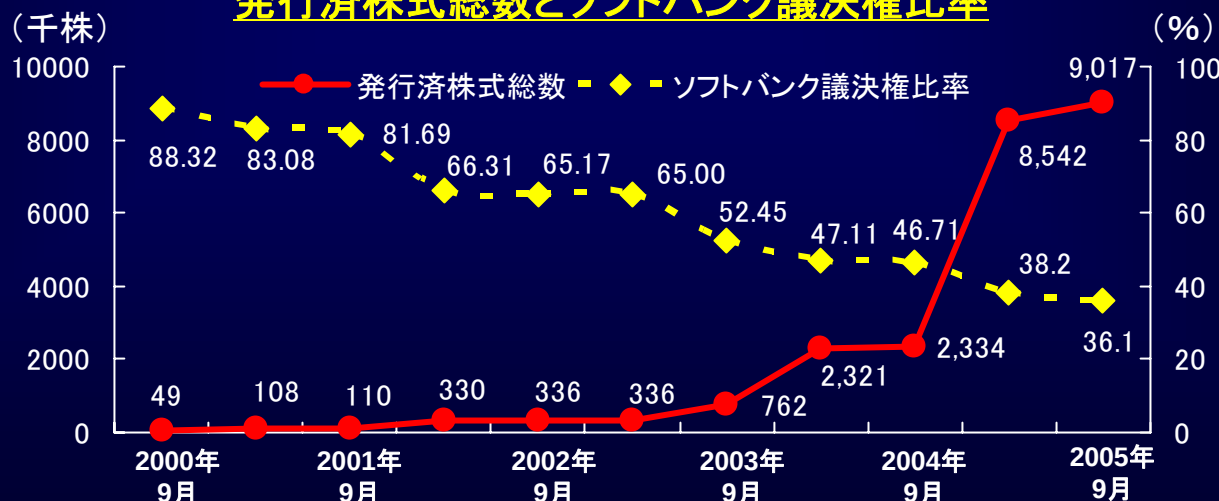
## 総資産利益率

## 総資産利益率(信用取引等調整後) ※1

## 株価収益率 ※2



## 発行済株式総数とソフトバンク議決権比率



※1 中間連結貸借対照表の総資産から信用取引負債、有価証券担保借入金、受入保証金を控除して算出しております。

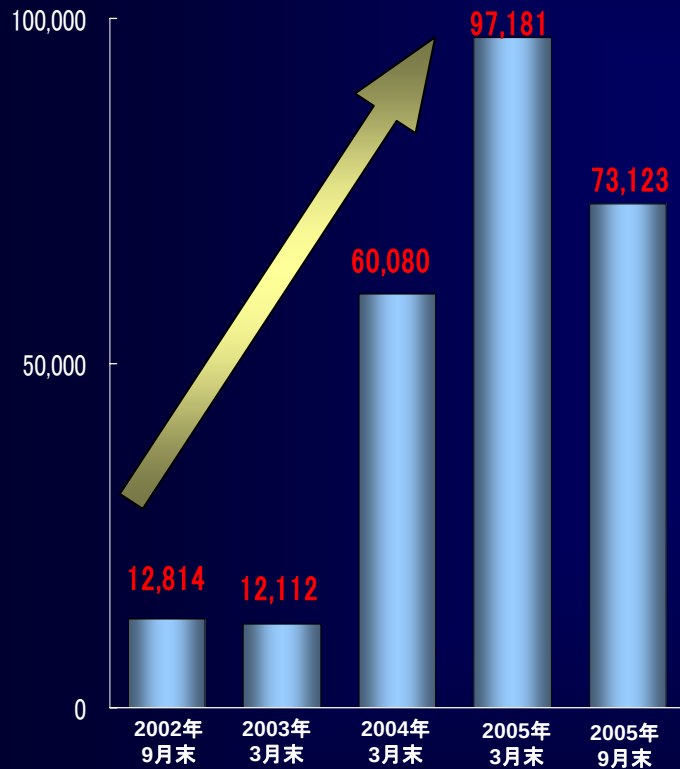
※2 株価収益率＝各中間期末当社東証終値÷(一株当たり中間(当期)純利益×2) なお第8期中間期末株価は47,450円でした。

# 株主構成の推移

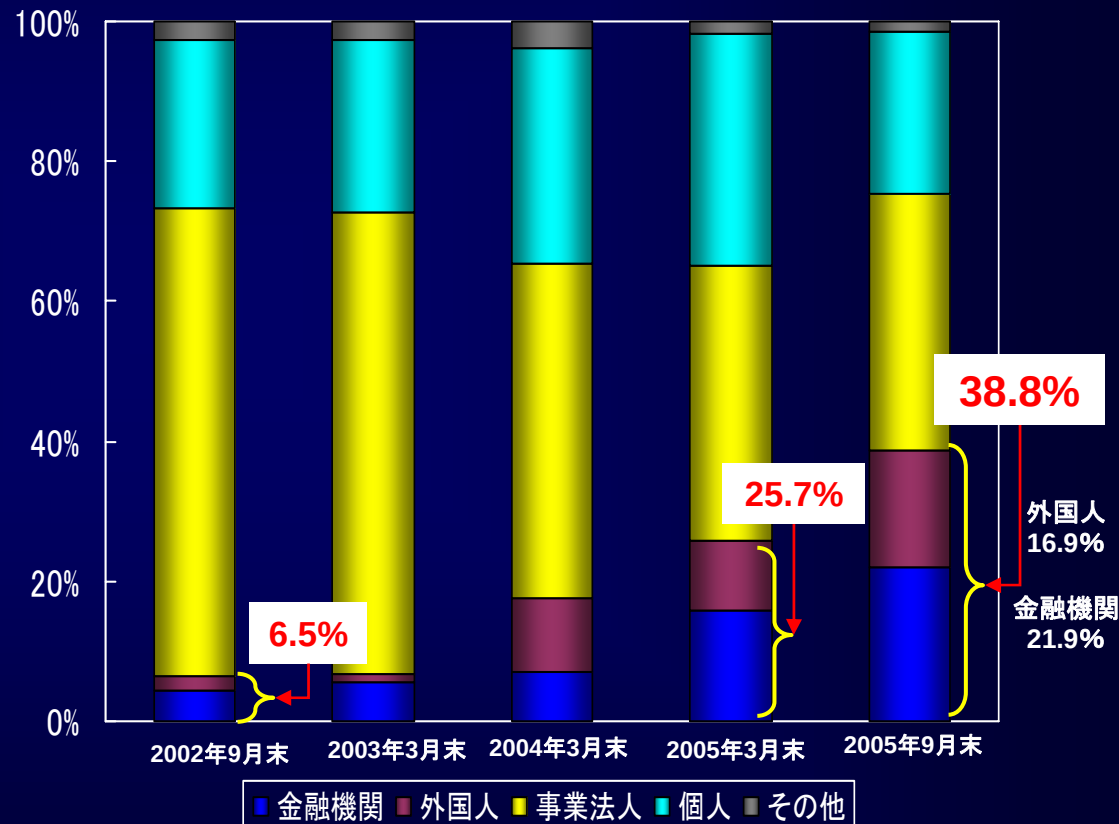
**機関投資家(金融機関+外国人)の比率は  
2005年3月末25.7%から9月末38.8%へと上昇**

(単位:名)

## 株主数の推移



## 株主構成比率の推移



**MSCIの新規組み入れ銘柄に採用(2005年5月13日発表)**

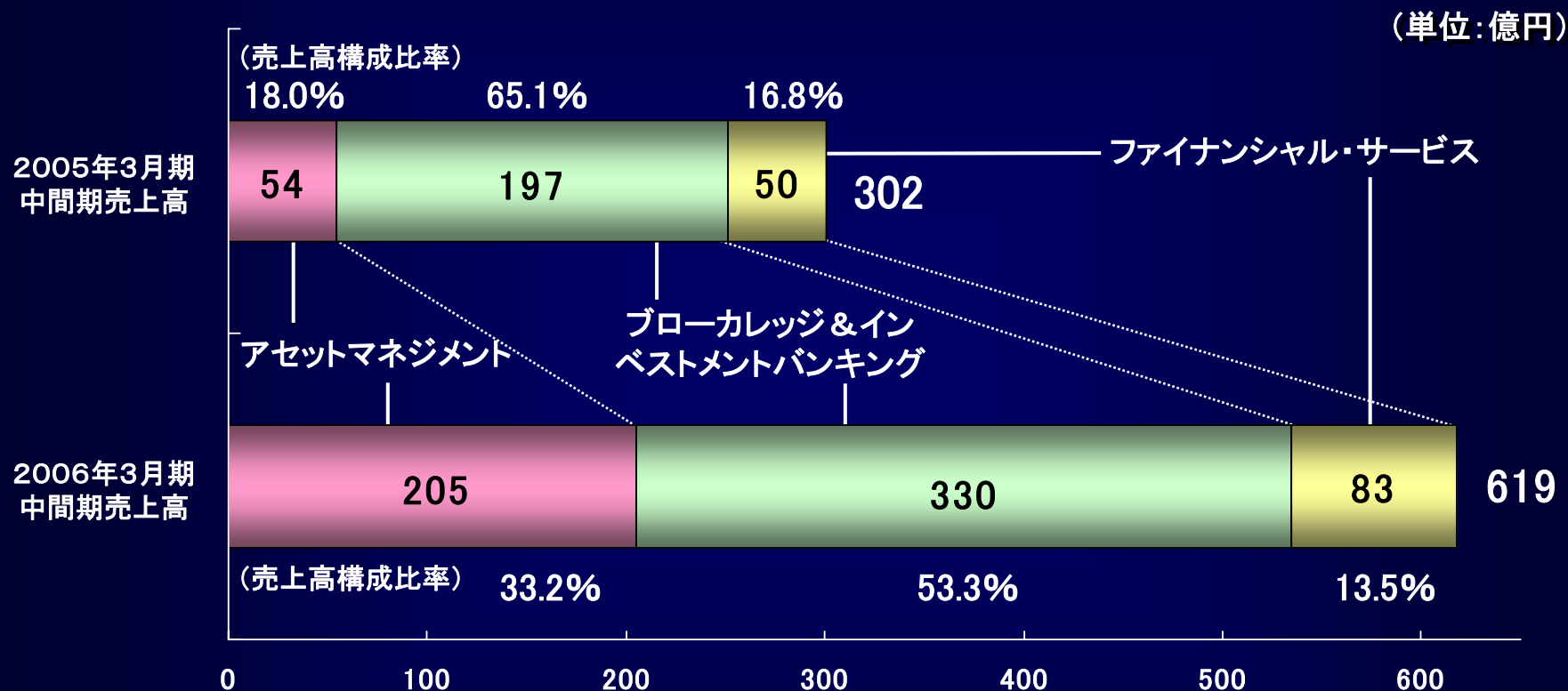
(モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル指数)

## (2) 主要ビジネスラインの事業概況

---

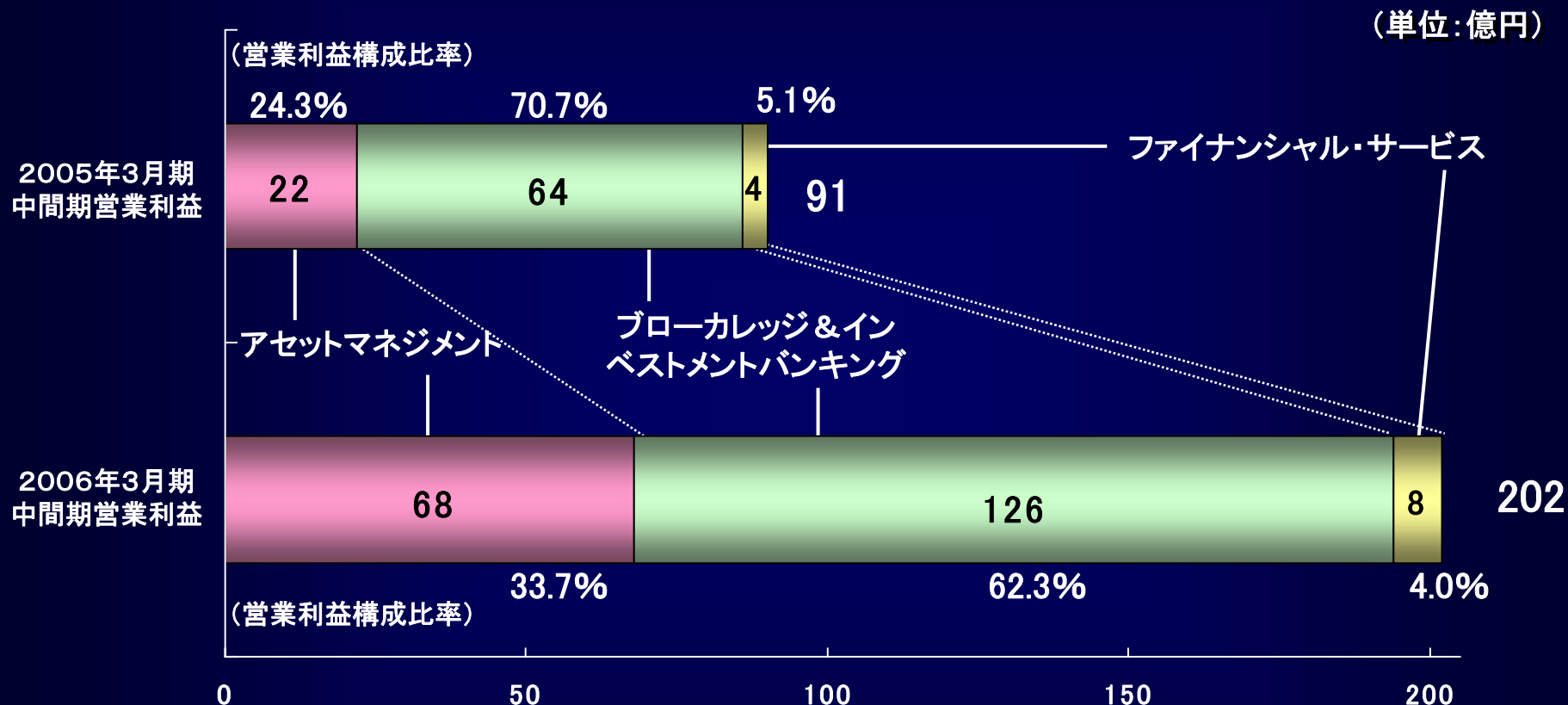
# ①セグメント別構成

# セグメント別売上高の構成比較



※SBIパートナーズ(株)の連結業績につきましては、9月(1ヶ月分)のみ当中間期の業績に含まれております。

# セグメント別営業利益の構成比較



※SBIパートナーズ(株)の連結業績につきましては、9月(1ヶ月分)のみ当中間期の業績に含まれております。

※本項における営業利益につきましては、連結消去および全社費用控除前の数字であり、その合計値は連結決算業績における営業利益とは一致していません。

## ②アセットマネジメント事業

# アセットマネジメント事業のハイライト

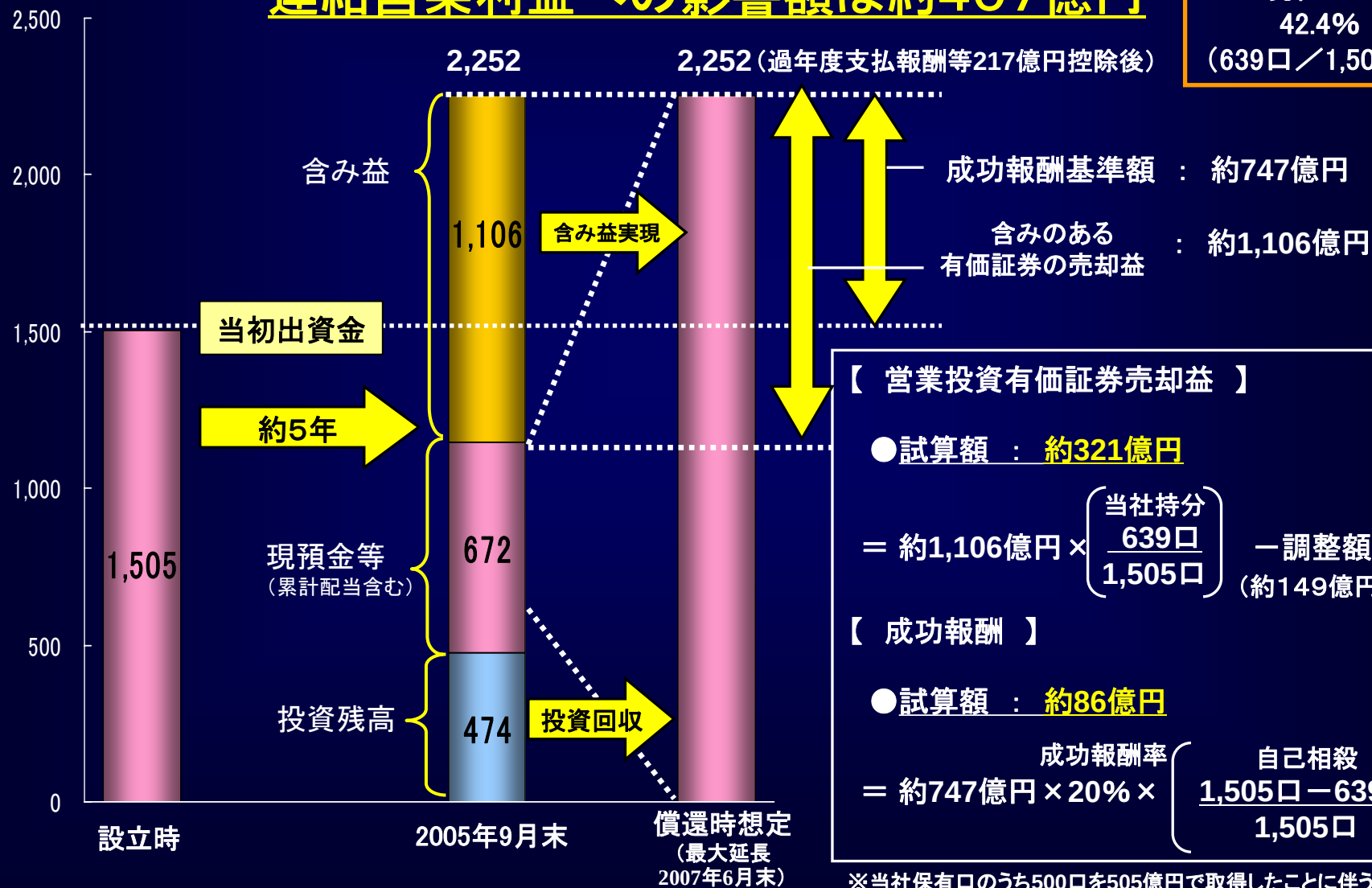
- ① ITファンドの時価は過年度支払報酬等217億円控除後で2,252億円(9月末)に達し、当初出資金1,505億円に対して約1.5倍の水準となった。
  - ・同時価純資産を基準とした試算では、今後売却益321億円、成功報酬86億円程度を想定。  
(当初出資金の1.5倍超過部分に対する成功報酬は、キャピタルゲインの20%から35%にテーブルが変更される)
- ② SBI・LBO・ファンド1号の時価は当初出資金50億円対比1.9倍の94億円(9月末)、企業再生ファンド一号の時価は当初出資金104億円対比1.5倍の153億円(同)となった。
  - ・配当・分配実勢(含み益は除く)に基づく成功報酬の試算額は、それぞれ4億円(06年4月計上予定)、10億円(06年5月計上予定)程度
- ③ バイオファンドは追加63億円の募集で総額105億円、メザニンファンドは総額75億円を超えて100億円に向けて追加募集中。
- ④ 未公開株Ⅰ・Ⅱの好調なパフォーマンスを背景に、Ⅲはすでに募集目標としていた200億円を10月19日に上回った。
  - ・未公開株組入ファンドⅠ 基準価格21,876円(05年10月14日現在)
  - ・未公開株組入ファンドⅡ 基準価格19,296円(05年10月12日償還)

※ 上記①②における「時価」とは累計配当を含む

# ITファンドがもたらす連結業績への影響額(試算)

## 現在の時価純資産で償還が実現した場合の 連結営業利益への影響額は約407億円

(単位: 億円)

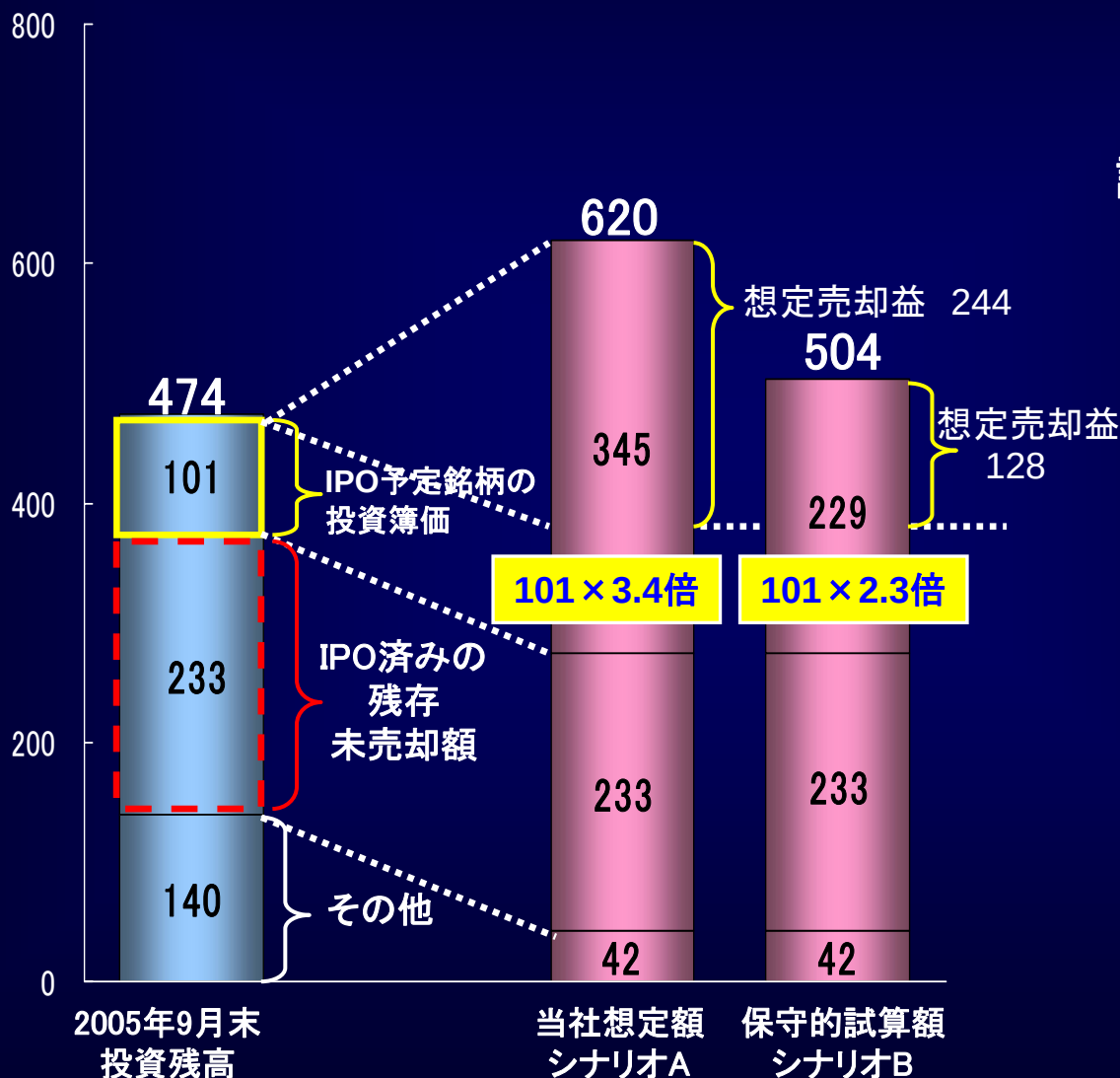


9/30現在SBI持分  
42.4%  
(639口 / 1,505口)

# IPO予定先のパフォーマンス(ITファンド)

## 更なる含み益・実現益の積み上げが想定される

(単位: 億円)



(2006年3月期～2008年3月期)

### 連結営業利益

試算額 : 約407億円

⇒ 成功報酬 86億円

⇒ 営投売却益 321億円

### 【シナリオA】:

IPO予定投資簿価101億円が3.4倍となるケース

試算額 : 約497億円

⇒ 成功報酬 115億円

⇒ 営投売却益 383億円

### 【シナリオB】

IPO予定投資簿価101億円が2.3倍となるケース

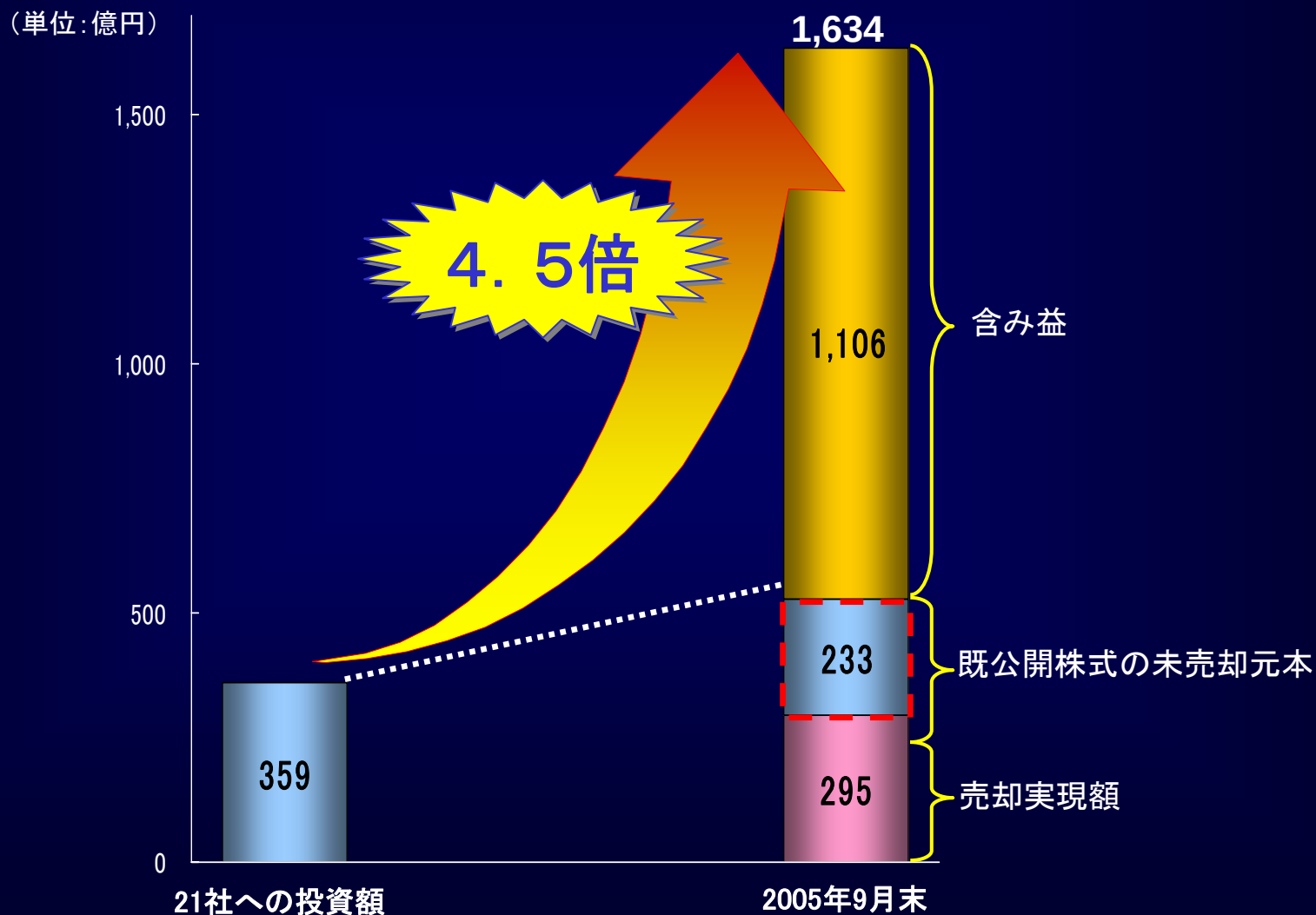
試算額 : 約425億円

⇒ 成功報酬 92億円

⇒ 営投売却益 333億円

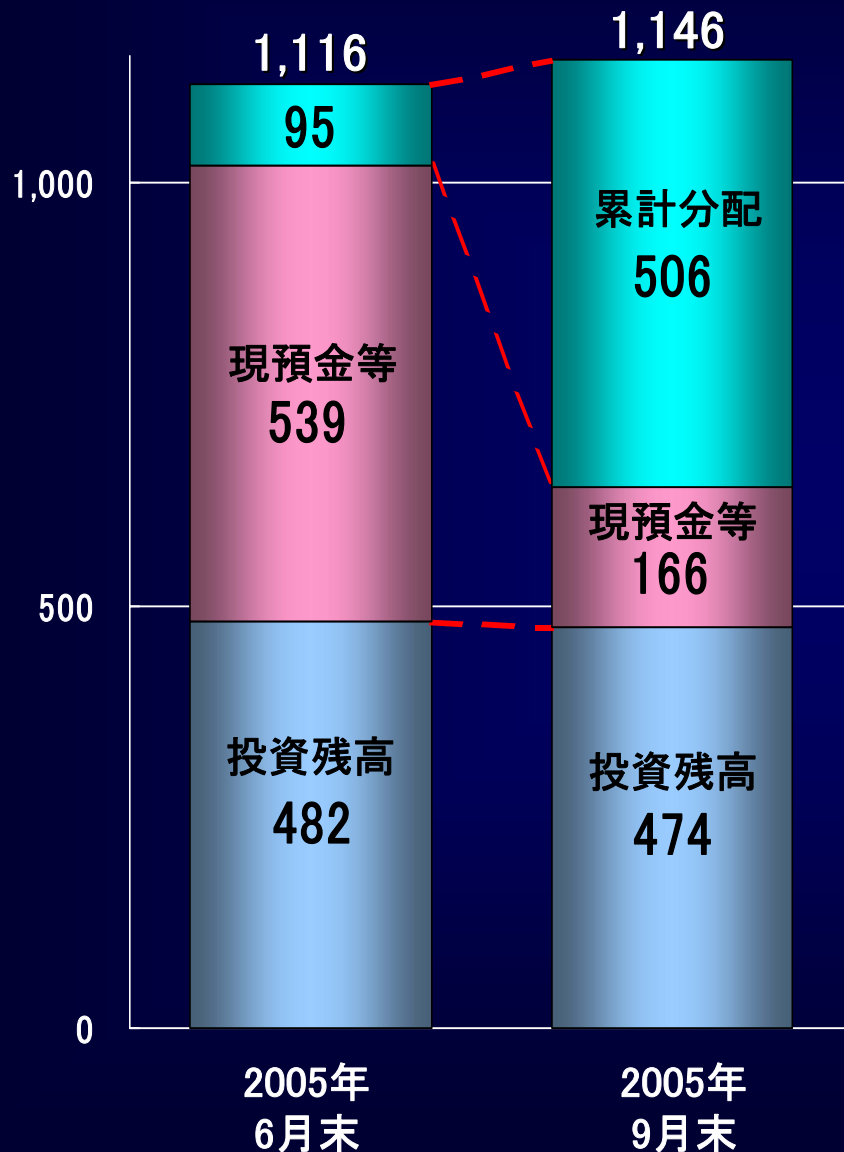
# IPO投資先のパフォーマンス(ITファンド実績)

2004年1月～2005年9月にITファンドから  
IPOした21社は投資額の4.5倍に



# 当四半期のITファンド簿価純資産推移

(単位: 億円)



## 主な増減明細

### 現預金等: 373億円の減少

#### 増減要因

- ・ 投資実行 ▲10億円
- ・ 管理報酬等支払 ▲8億円
- ・ 分配金 ▲411億円
- ・ 株式売却等 32億円
- ・ 株式売却益等 24億円

### 投資残高: 8億円の減少

#### 増減要因

- ・ 投資実行 10億円
- ・ 株式売却等 ▲32億円
- ・ 引当戻入等 14億円

# 新規公開又はM&AによるExit社数

2005年 10月26日現在

|                  | 既公開              |                  | 公開予定        |
|------------------|------------------|------------------|-------------|
|                  | ～2003年12月        | 2004年1月～12月      | 2005年1月～12月 |
| 既公開および<br>公開予定社数 | 57社<br>(内、海外38社) | 20社<br>(内、M&A5社) | 12社*        |

大証ヘラクレス市場の新規上場申請受付停止(2005年5月)の影響により、  
今年に予定していた数社の公開が来年にずれ込む予定

2005年1月～9月に以下の11社がIPO又はM&Aを行っております

- |               |                           |                |                |
|---------------|---------------------------|----------------|----------------|
| • 2005年 2月 3日 | Xinyi Glass Holdings Ltd. | • 2005年 5月 27日 | ルート(株)         |
| • 2005年 2月 8日 | MediciNova, Inc           | • 2005年 6月 27日 | (株)アドバンスト・メディア |
| • 2005年 2月16日 | 共立印刷(株)                   | • 2005年 7月 12日 | (株)ガイアックス      |
| • 2005年 4月20日 | 極東証券(株)                   | • 2005年 8月 3日  | (株)ブロードバンドタワー  |
| • 2005年 4月21日 | 日本通信(株)                   | • 2005年 9月 27日 | (株)ノエル         |
| • 2005年 5月 3日 | Morningstar, Inc.         |                |                |

\* IPO予定社数には、毎週開催しております「案件会議」での検討に基づき、投資先5段階評価において最上位に区分されたものが含まれておりますが、これら投資先の評価およびIPO予定の見通しは当社独自判断に基づいたものであり、今後のIPOを保証するものではありません。

・ IPO済みおよびM&Aの社数はすでに売却済みのものを含みます。

# 新規公開した投資先のパフォーマンス

2005年1月～2005年9月

| 投資先企業名                    | 公開<br>時期 | 公募価格(A) | 初値(B)     | 上昇率(%)<br>(B/A) | 2005/9/30<br>終値( C) | 上昇率(%)<br>(C/A) | 公募価格対<br>簿価比(倍) | 初値対<br>簿価比(倍) |
|---------------------------|----------|---------|-----------|-----------------|---------------------|-----------------|-----------------|---------------|
| Xinyi Glass Holdings Ltd. | 2月       | 2.00    | 2.00      | 100.0           | 2.00                | 100.0           | 1.5             | 1.5           |
| MediciNova,Inc.           | 2月       | 400     | 405       | 101.3           | 195                 | 48.8            | 2.3             | 2.3           |
| 共立印刷(株)                   | 2月       | 270     | 350       | 129.6           | 442                 | 163.7           | 2.2             | 2.8           |
| 極東証券(株)                   | 4月       | 700     | 961       | 137.3           | 1,279               | 182.7           | 1.9             | 2.7           |
| 日本通信(株)                   | 4月       | 50,000  | 70,000    | 140.0           | 143,000             | 286.0           | 0.7             | 1.0           |
| Morningstar,Inc.          | 5月       | 18.50   | 18.66     | 100.9           | 32.00               | 173.0           | 1.5             | 1.6           |
| (株)アドバンスト・メディア            | 6月       | 160,000 | 700,000   | 437.5           | 723,000             | 451.9           | 1.5             | 6.7           |
| (株)ガイアックス                 | 7月       | 300,000 | 1,200,000 | 400.0           | 450,000             | 150.0           | 1.7             | 6.9           |
| (株)ブロードバンドタワー             | 8月       | 210,000 | 606,000   | 288.6           | 1,000,000           | 476.2           | 7.0             | 20.2          |
| (株)ノエル                    | 9月       | 580,000 | 1,350,000 | 232.8           | 1,100,000           | 189.7           | 5.8             | 13.5          |

平均  
207%

平均  
222%

※この他M&Aによりルート(株)が公開株となっております。

※平均は単純平均で算出しております。

# 当中間期の投資実績(全ファンド)

## ブロードバンドファンド、メザニンファンドからの投資が本格化

|              | 2005年4月～9月  |           |             |
|--------------|-------------|-----------|-------------|
|              | 国内          | 海外        | 合計          |
| 投資社数<br>(社)  | 48<br>(13)  | 1<br>(4)  | 49<br>(17)  |
| 投資金額<br>(億円) | 119<br>(79) | 7<br>(16) | 126<br>(95) |

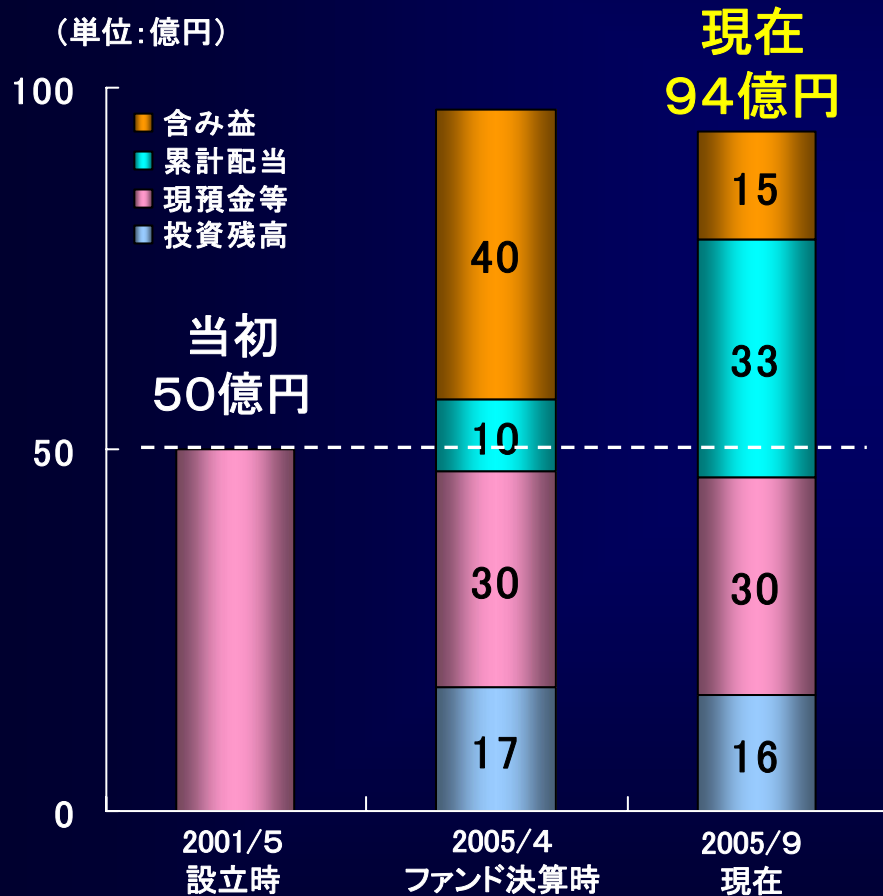
・ ( )内は、前年同期間(2004年4月～2004年9月)の投資社数及び投資金額であります。

・ 合計投資件数のうち、新規投資は31社 88億円(13社 40億円)、既存投資先への追加投資は18社 38億円(4社 55億円)であります。

# LBOファンド・企業再生ファンドの状況

## SBI・LBO・ファンド1号

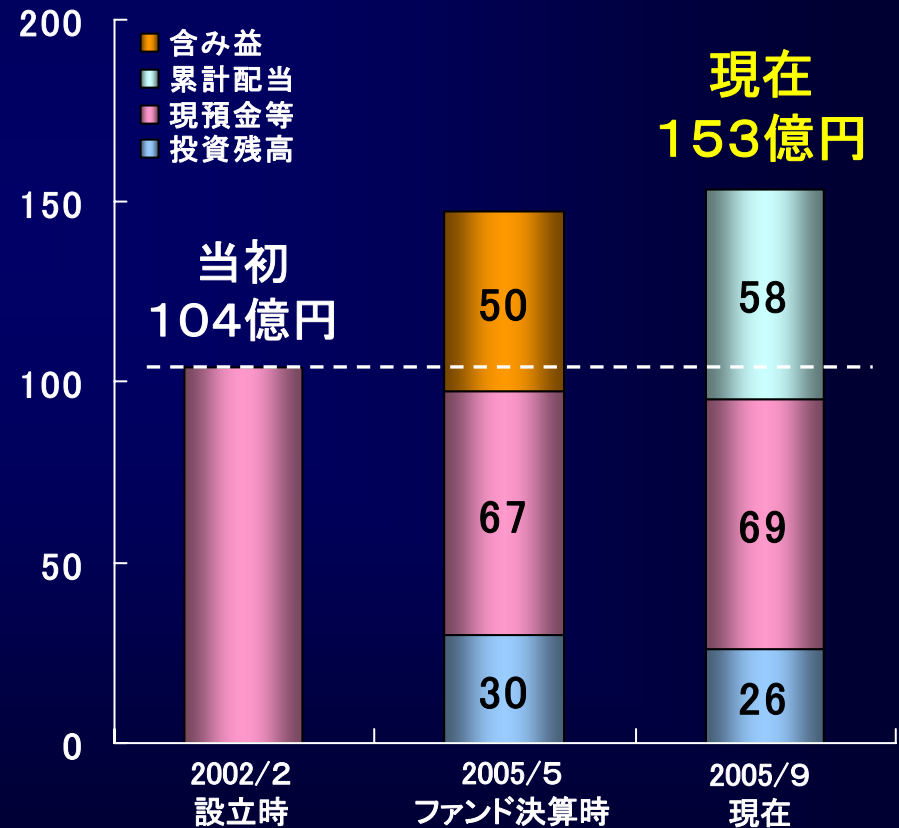
(単位:億円)



## 企業再生ファンド一号

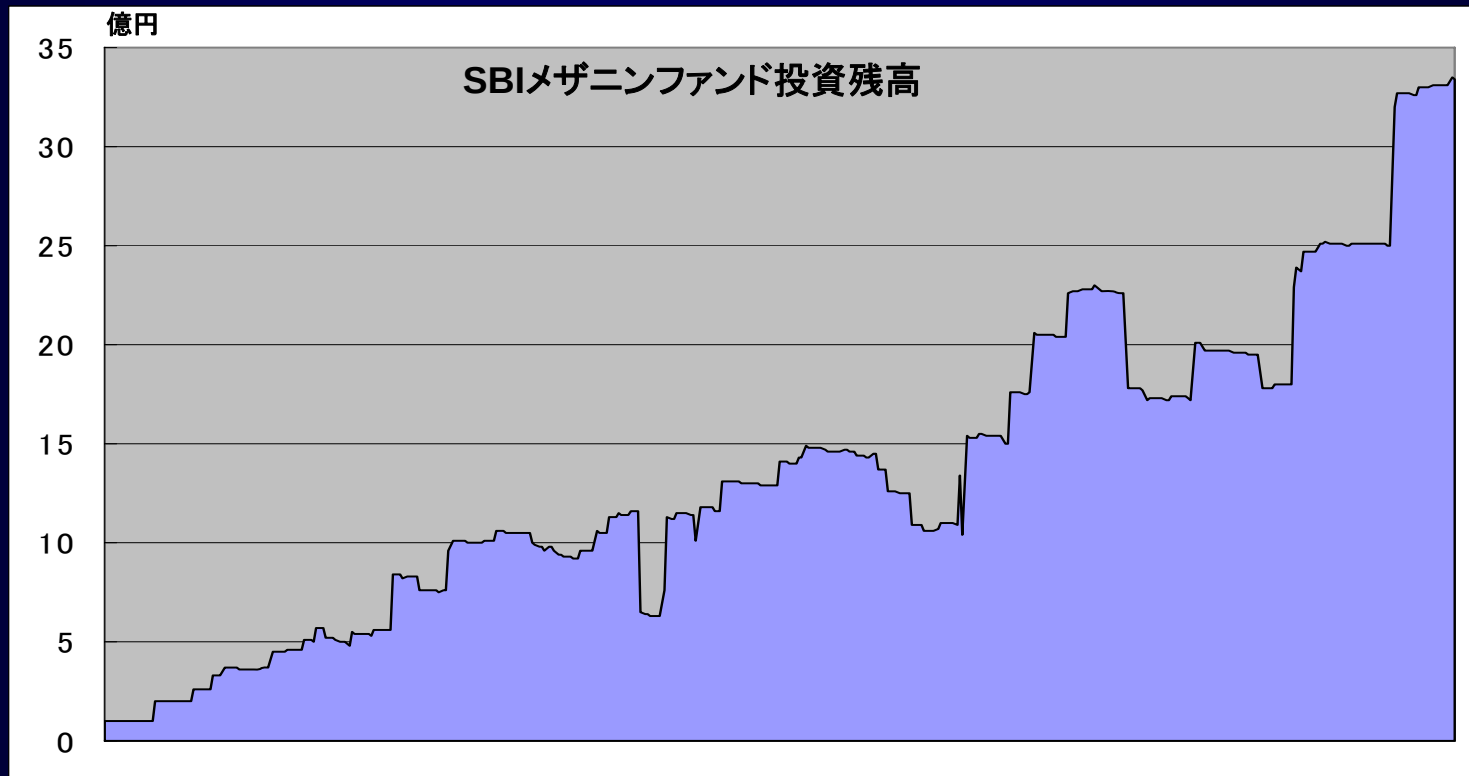
### 投資事業有限責任組合

(単位:億円)



# SBI メザニンファンドの状況

昨年8月の1号ファンド設立以来、累計で68億円の投資を実施し、残高も30億円を突破(10月18日現在)。2005年9月までの各ディール平均収益率は年率16%。現在運用中の2号ファンドは既に75億円を集めており、さらなる外部投資家を加えて100億円まで増額する予定。



# 本格的投資を開始した次期主要ファンド

## IT・バイオ分野で設立した次期主要ファンドからの投資を開始

|                               | 設立時期                                | 出資金額  | 投資状況                                                                            |
|-------------------------------|-------------------------------------|-------|---------------------------------------------------------------------------------|
| ブロードバンド<br>ファンド               | 2004年3月                             | 535億円 | ITファンドに続く次期旗艦ファンドとして有望ベンチャー企業への積極的な投資活動を開始。<br><u>これまでに、9社約44億円の投資を<br/>実行。</u> |
| バイオビジョン・<br>ライフサイエンス・<br>ファンド | 2003年12月<br>(2005年8月に<br>2号ファンドを設立) | 105億円 | 創薬系のバイオベンチャー企業を中心に投資。好調な運用状況により2号ファンドを設立。<br><u>11社に対して約25億円の投資を<br/>実行。</u>    |

# 未公開株組入ファンドⅡの償還

|                                                     |                  |
|-----------------------------------------------------|------------------|
|                                                     | 未公開株組入ファンドⅡ      |
| 運用開始日                                               | 2001年6月          |
| 償還日                                                 | 2005年10月12日      |
| 償還前最終一口当たり<br>純資産価格(10/11)<br>(最終償還価格は11月末に決定)      | <u>19,328円</u> ※ |
| モーニングスター総合指数<br>(加重平均)<br>(2005年10月11日現在)           | 10,923円 ※        |
| モーニングスター<br>成長株型投資信託指数<br>(加重平均)<br>(2005年10月11日現在) | 10,387円 ※        |

**I・Ⅱの好調なパフォーマンスを背景に、未公開株組入ファンドⅢは  
10月末目標200億円で募集したが、10月19日に既に上回った**

※: 2001年6月29日を10,000円とした場合の基準価格です。

・モーニングスター総合指数とは、モーニングスターが独自に算出している追加型株式投資信託の指数です。

・モーニングスター成長株型投資信託指数とは、モーニングスターの小分類に対応した(バリュー、ブレンド、グロース等)、追加型株式投資信託の指数のサブインデックスです。

### ③証券関連事業

## (2) 証券関連事業のハイライト

### I イー・トレード証券が営業収益・利益ともに中間期ベースで過去最高を更新、第2四半期は四半期ベースで過去最高を更新

- ① 連結営業収益で松井証券を大きく上回り、第1四半期に続き中間期でもオンライン証券No.1となる 第2四半期の経常利益率は50%を突破
- ② 当中間期に184,712口座を新規に獲得、9月単月の株式委託売買代金は6兆円超となりオンライン証券圧倒的No.1の地位を不動のものとする
- ③ 圧倒的顧客基盤・引受実績を背景に株式引受の主幹事業務開始  
中間期のIPO引受社数ランキングでは引受件数50社、関与率68.5%で全証券会社中第1位

### II エース証券株式を売却、リアル証券についてはSBI証券へ経営資源を集中 SBI証券は第2四半期に業績が急回復

### III オンライン先物専門のイー・コモディティの口座数の増加が加速業界初となる口座数・売買高のHPでの月次開示を開始

# イー・トレード証券 単独業績

**中間期ベースで収益面、利益ともに過去最高を更新  
前年同期比で大幅な増収増益を達成** (単位:百万円、%)

|       | 2005年3月期 中間期<br>(2004年4月～2004年9月) | 2006年3月期 中間期<br>(2005年4月～2005年9月) | 前年同期比<br>増減率 |
|-------|-----------------------------------|-----------------------------------|--------------|
| 営業収益  | 12,143                            | 22,104                            | +82.0        |
| 純営業収益 | 11,226                            | 20,050                            | +78.6        |
| 営業利益  | 4,620                             | 10,563                            | +128.6       |
| 経常利益  | 4,650                             | 10,710                            | +130.3       |
| 中間純利益 | 2,446                             | 5,868                             | +139.8       |

# イー・トレード証券 単独業績(四半期推移)

今第2四半期(3ヶ月間)は、四半期ベースでも  
収益面、利益面ともに最高益を更新

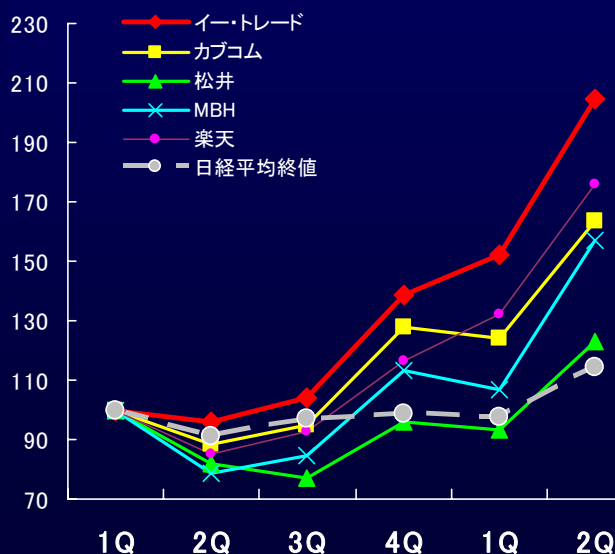
(単位:百万円)

|       | 2005年3月期             |                      |                        |                      | 2006年3月期             |                      |
|-------|----------------------|----------------------|------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
|       | 第1四半期<br>(2004年4～6月) | 第2四半期<br>(2004年7～9月) | 第3四半期<br>(2004年10～12月) | 第4四半期<br>(2005年1～3月) | 第1四半期<br>(2005年4～6月) | 第2四半期<br>(2005年7～9月) |
| 営業収益  | 6,193                | 5,949                | 6,439                  | 8,592                | 9,417                | 12,687               |
| 純営業収益 | 5,753                | 5,472                | 5,831                  | 8,122                | 8,737                | 11,312               |
| 営業利益  | 2,349                | 2,270                | 2,504                  | 3,988                | 4,200                | 6,362                |
| 経常利益  | 2,373                | 2,276                | 2,616                  | 3,959                | 4,348                | 6,362                |

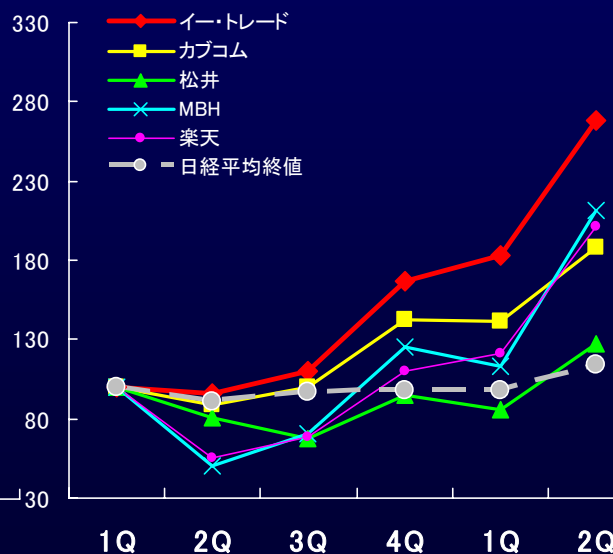
# オンライン証券各社の四半期毎における経営成績比較

オンライン各社の経営成績の比較(2005年3月期の1Qを100として推移を比較)

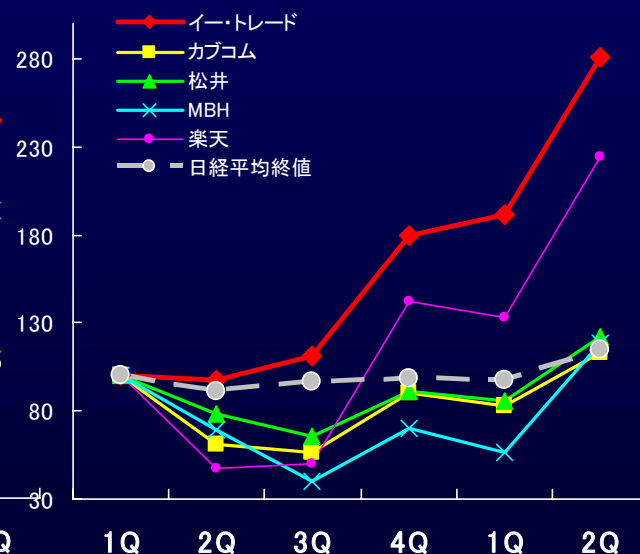
営業収益



経常利益



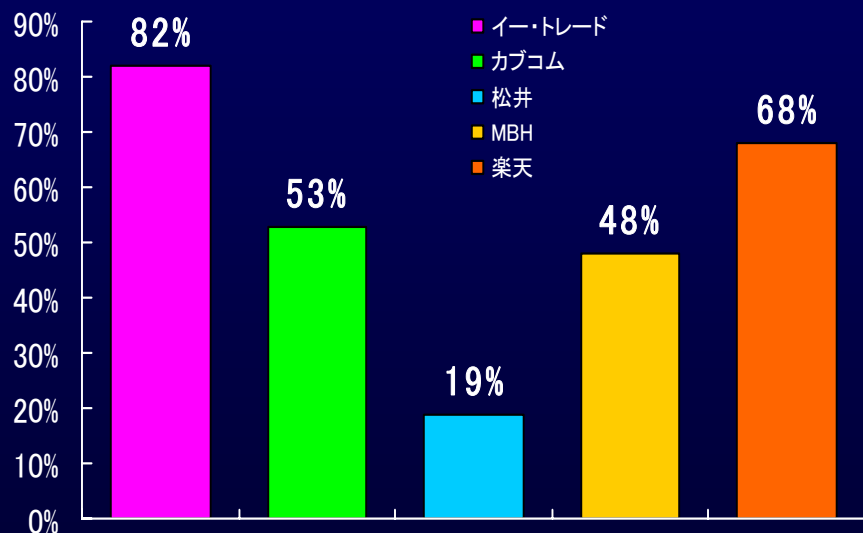
当期利益



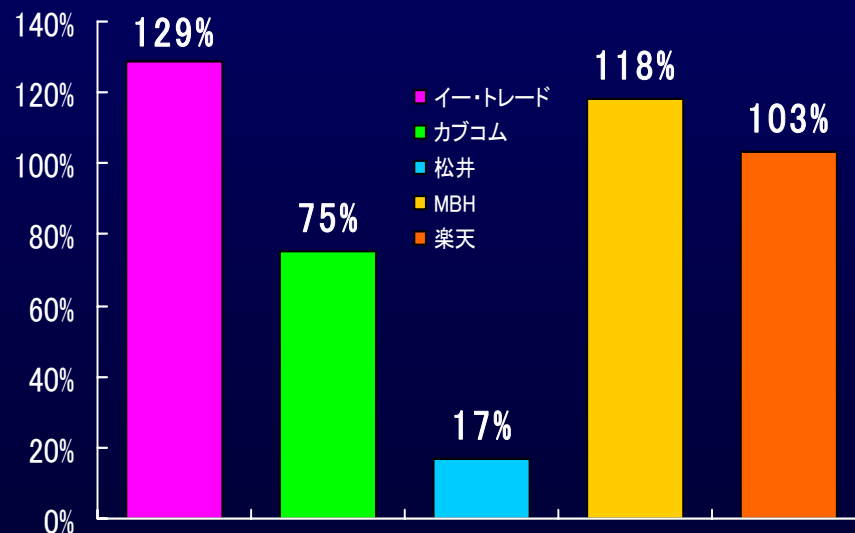
# オンライン証券各社の2005年3月期中間期 との経営成績(連結)比較

対前年  
同期比較

## 営業収益



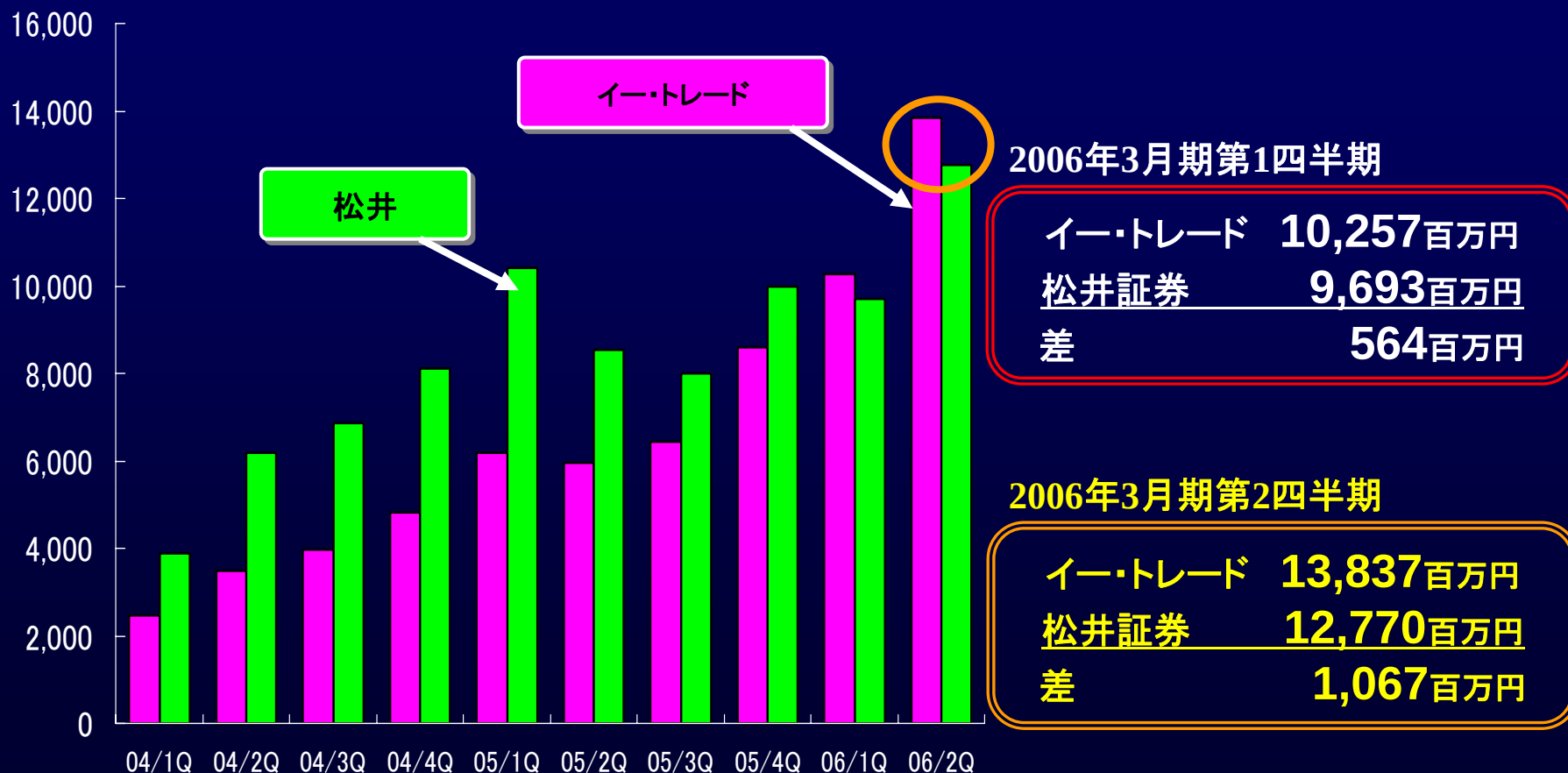
## 営業利益



# 営業収益(連結)においてオンライン証券No.1

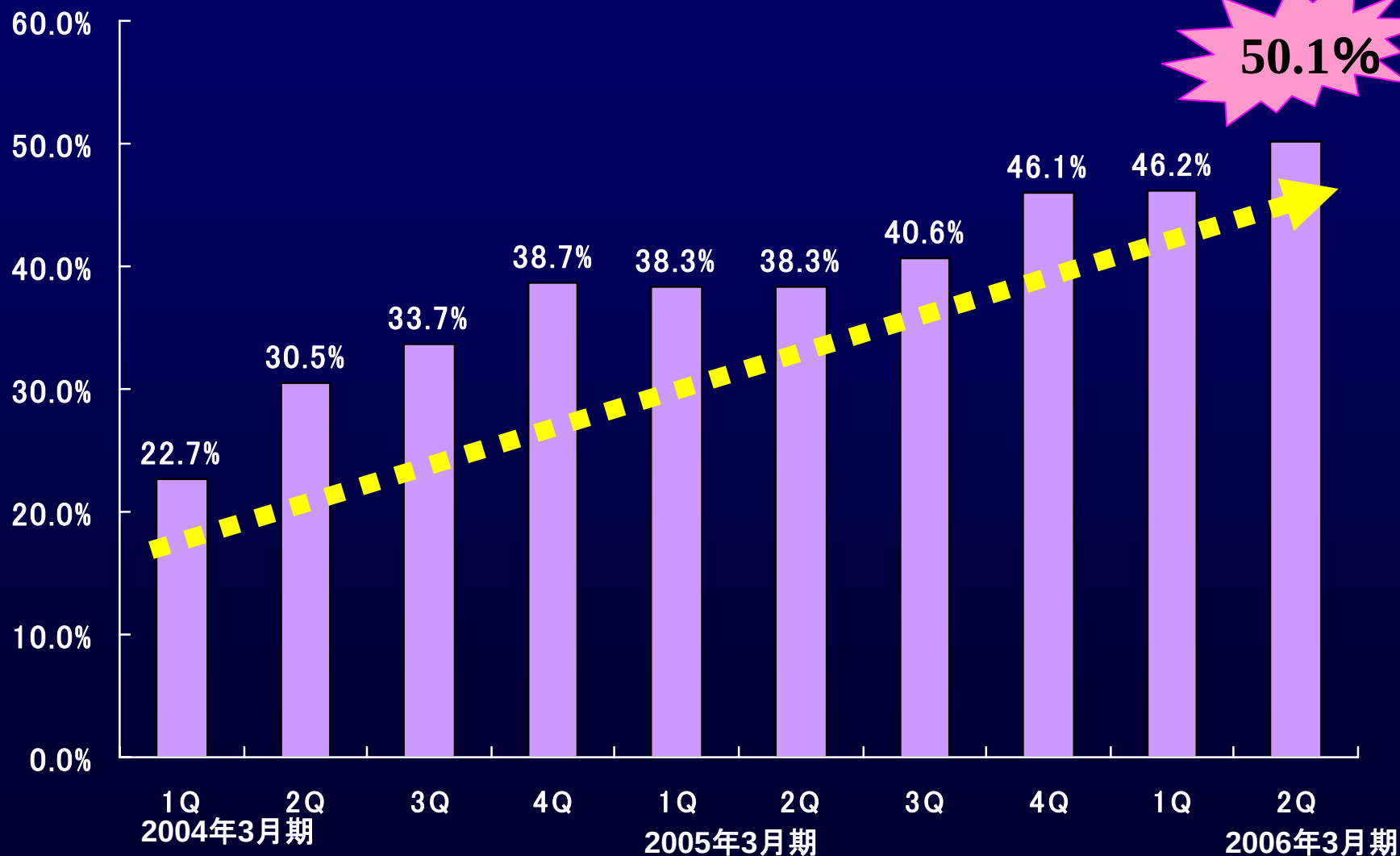
## 2006年3月期第2四半期においてさらに営業収益の差が拡大

[百万円] 松井証券との営業収益比較(連結)



# 収穫逡増のビジネスモデルを実現

## イー・トレード証券の経常利益率の推移

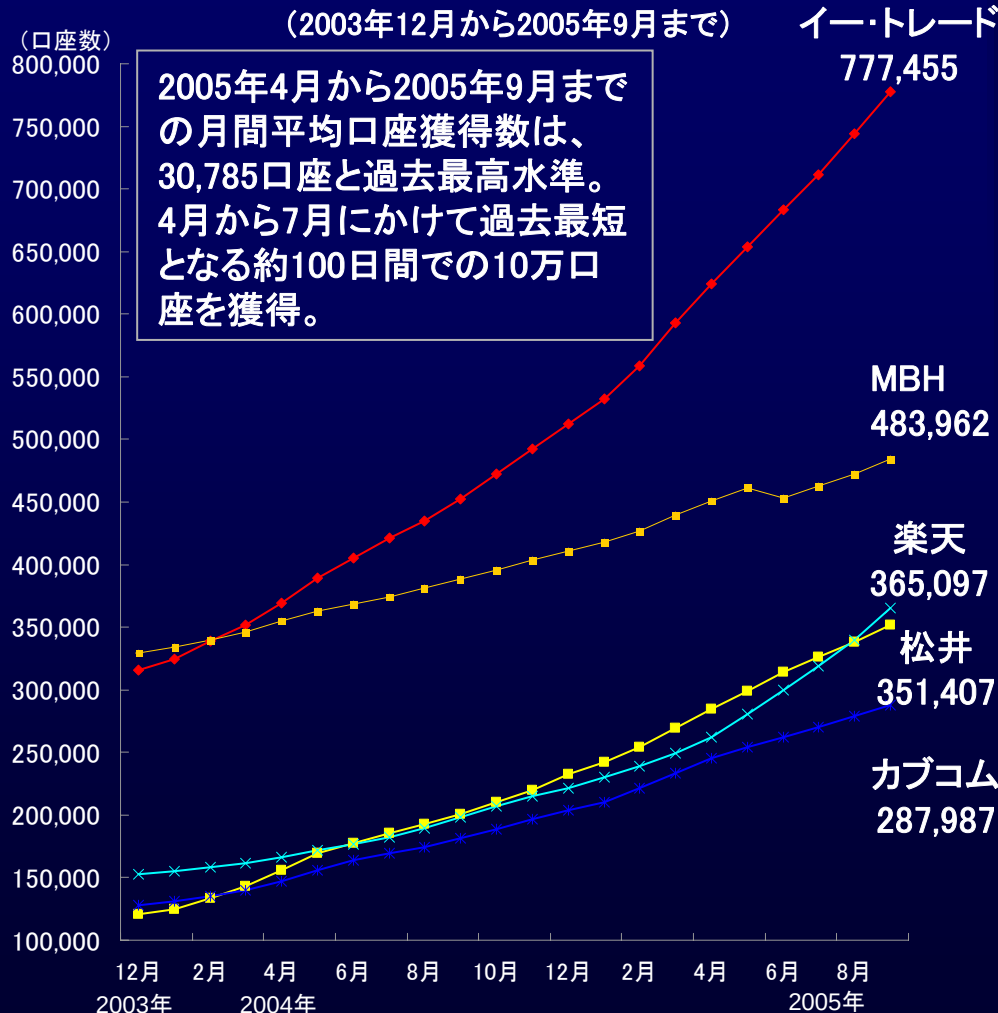


# 主要オンライン証券の口座数比較

## 主要オンライン証券5社の口座数



## オンライン証券主要5社の口座数推移



出所:各社ホームページ等公表資料より当社にて集計

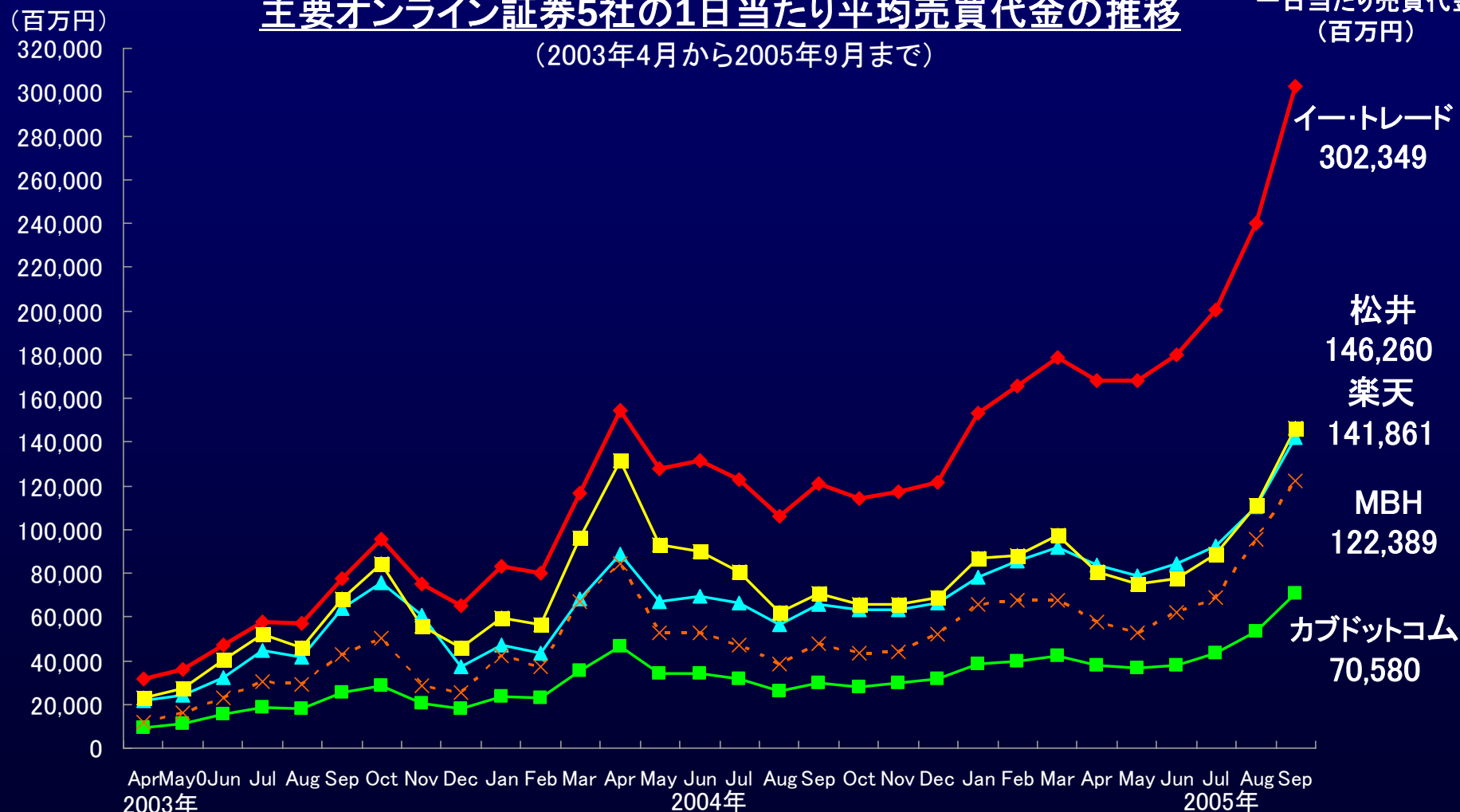
※ マネックス証券、日興ビーンズ証券はMonexBeansとして合算。

# 主要オンライン証券の株式委託売買代金推移

## 主要オンライン証券5社の1日当たり平均売買代金の推移

(2003年4月から2005年9月まで)

2005年9月における  
一日当たり売買代金  
(百万円)

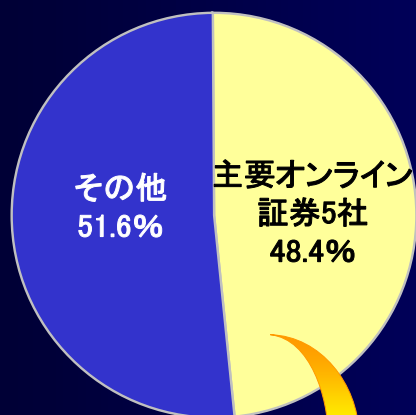


出所: 各社ホームページ等公表資料より当社にて集計  
※ マネックス証券、日興ビーンズ証券はMonexBeansとして合算。

# 主要オンライン証券の個人株式委託売買代金シェア

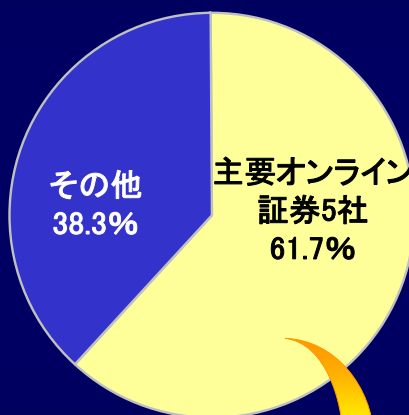
## 過去3年間の同期間比較

**2004年3月期**  
(2003年4月～2003年9月)



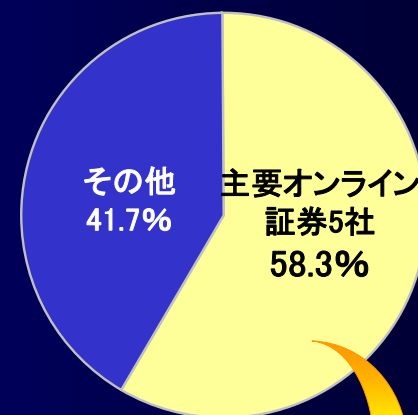
|             |       |
|-------------|-------|
| イー・トレード     | 14.5% |
| 松井証券        | 12.1  |
| DLJ(楽天証券)   | 9.9   |
| Monex Beans | 7.2   |
| カブドットコム     | 4.6   |

**2005年3月期**  
(2004年4月～2004年9月)



|             |       |
|-------------|-------|
| イー・トレード     | 20.2% |
| 松井証券        | 14.0  |
| DLJ(楽天証券)   | 11.0  |
| Monex Beans | 8.5   |
| カブドットコム     | 5.3   |

**2006年3月期**  
(2005年4月～2005年9月)



|             |       |
|-------------|-------|
| イー・トレード     | 23.2% |
| 楽天証券        | 10.9  |
| 松井証券        | 10.7  |
| Monex Beans | 8.5   |
| カブドットコム     | 5.1   |

出所: 東証統計資料、JASDAQ統計資料、各社ホームページ等公表資料より当社にて集計

※ 個人株式委託売買代金は3市場(1・2部)とJASDAQを合算

※ マネックス証券、日興ビーンズ証券はMonexBeansとして合算。

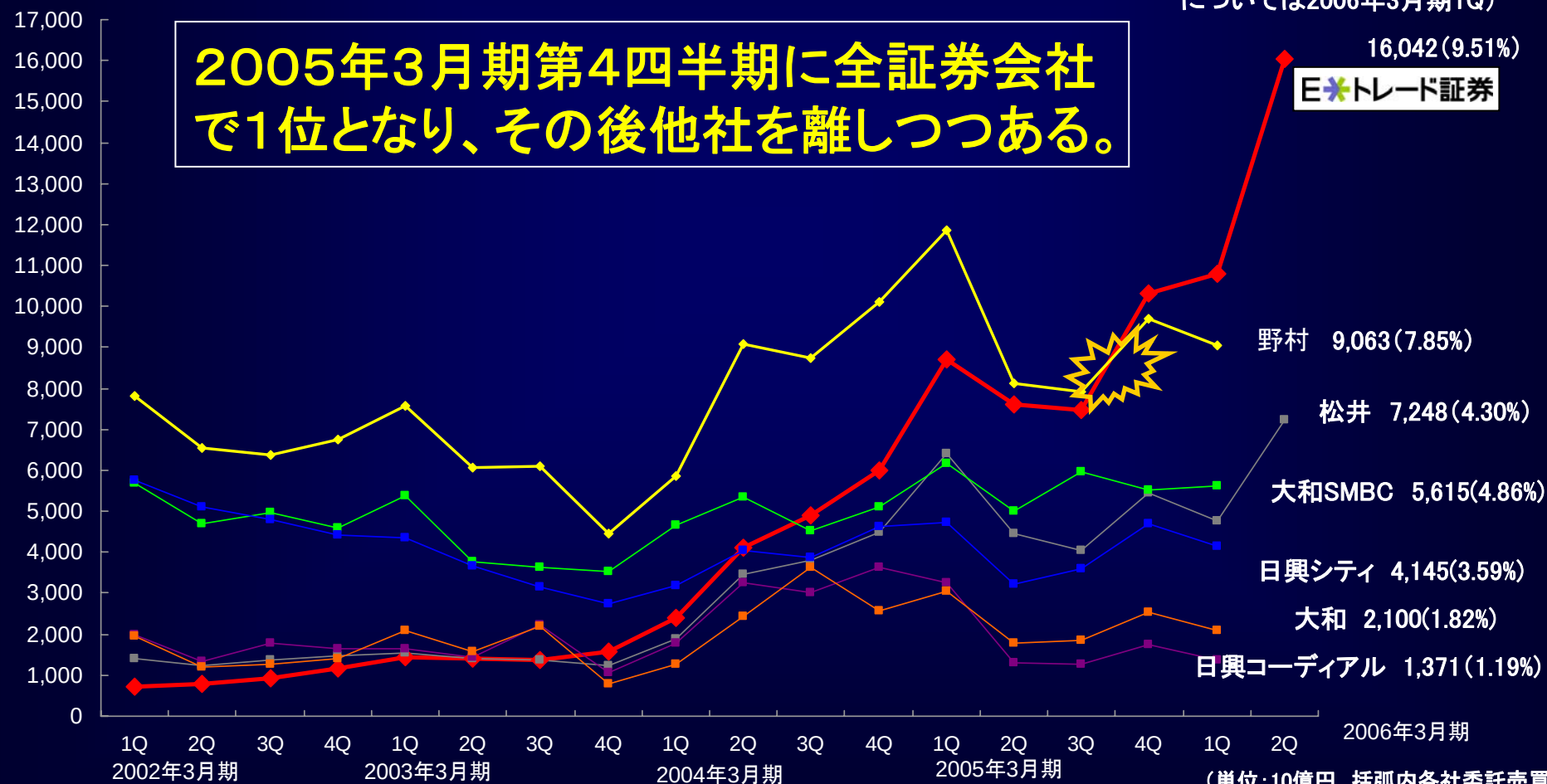
# 3大証券会社との株式委託売買代金比較

## 各社の株式委託売買代金の推移

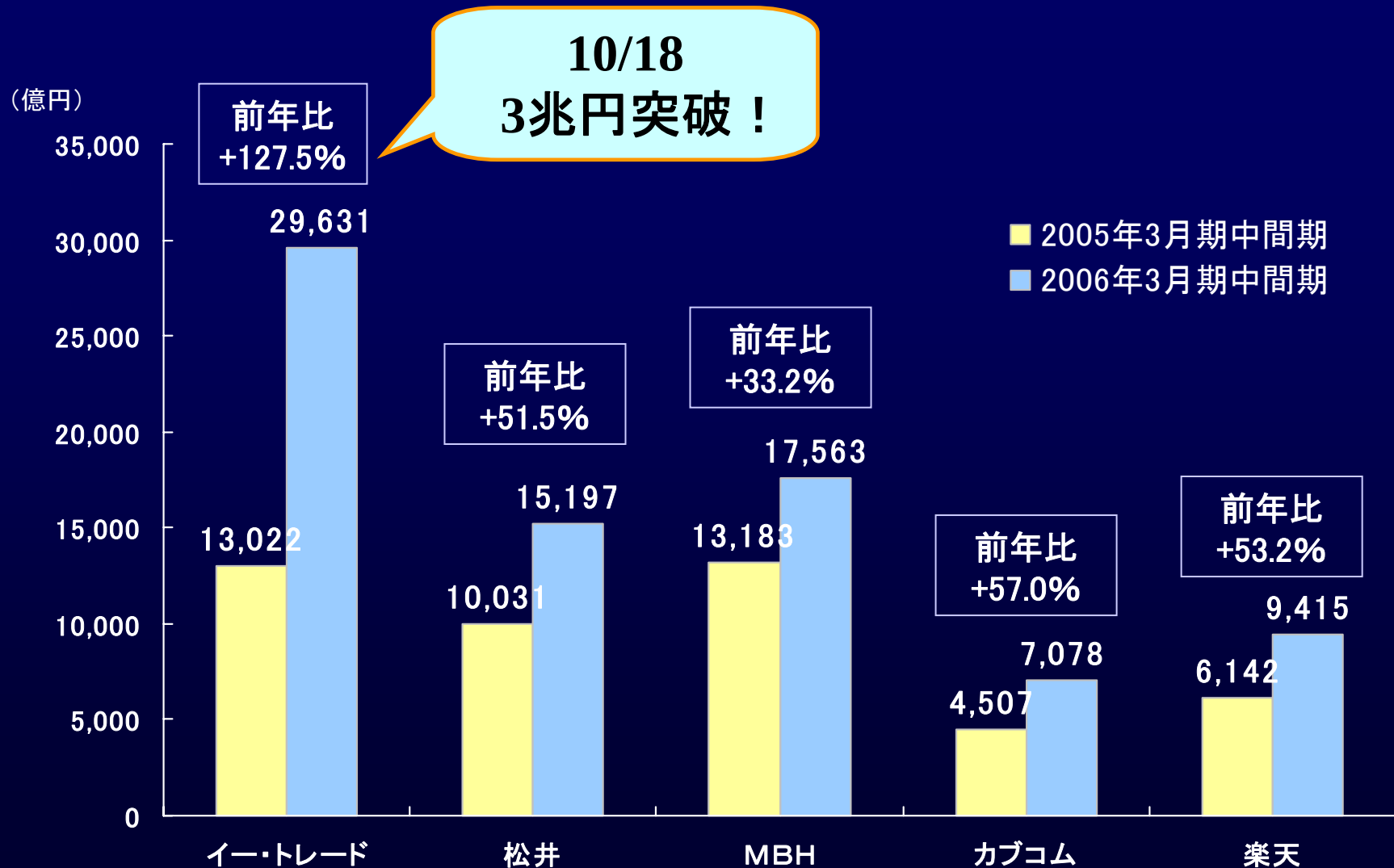
2005年3月期第4四半期に全証券会社で1位となり、その後他社を離しつつある。

2006年3月期2Qにおける委託シェア  
(イー・トレード、松井以外  
については2006年3月期1Q)

(10億円)



## 預り資産の推移

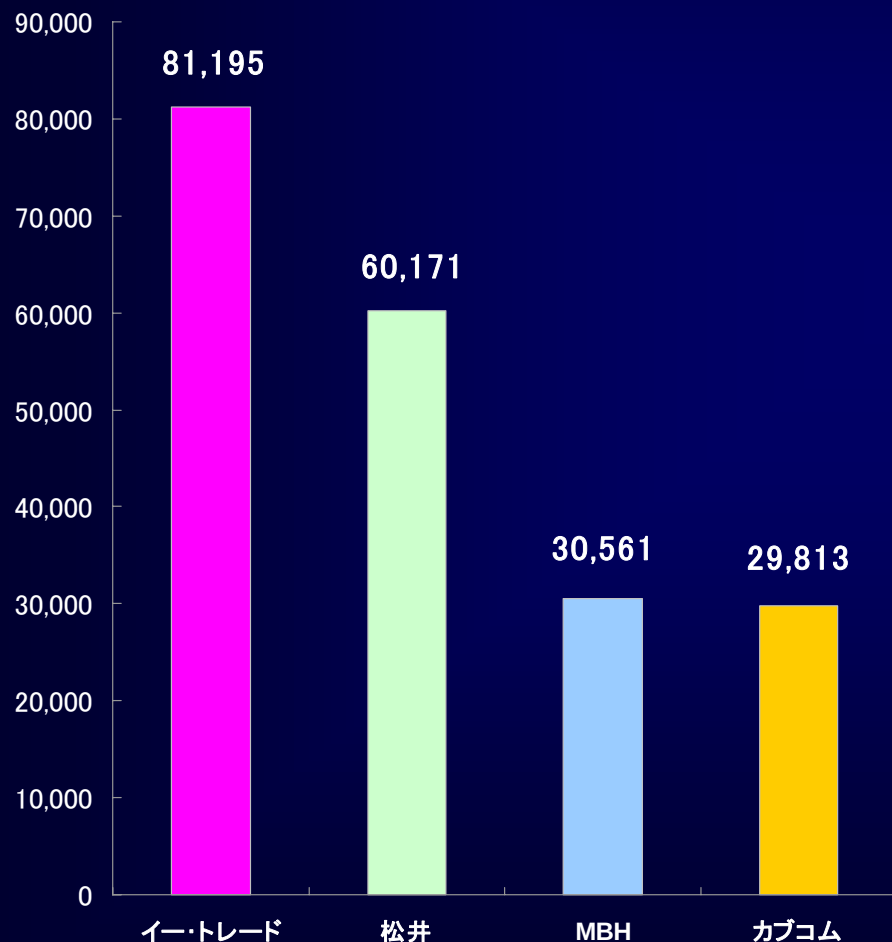


# 上場オンライン証券会社との信用口座数比較

## 上場オンライン証券5社の信用口座数

(信用口座数)

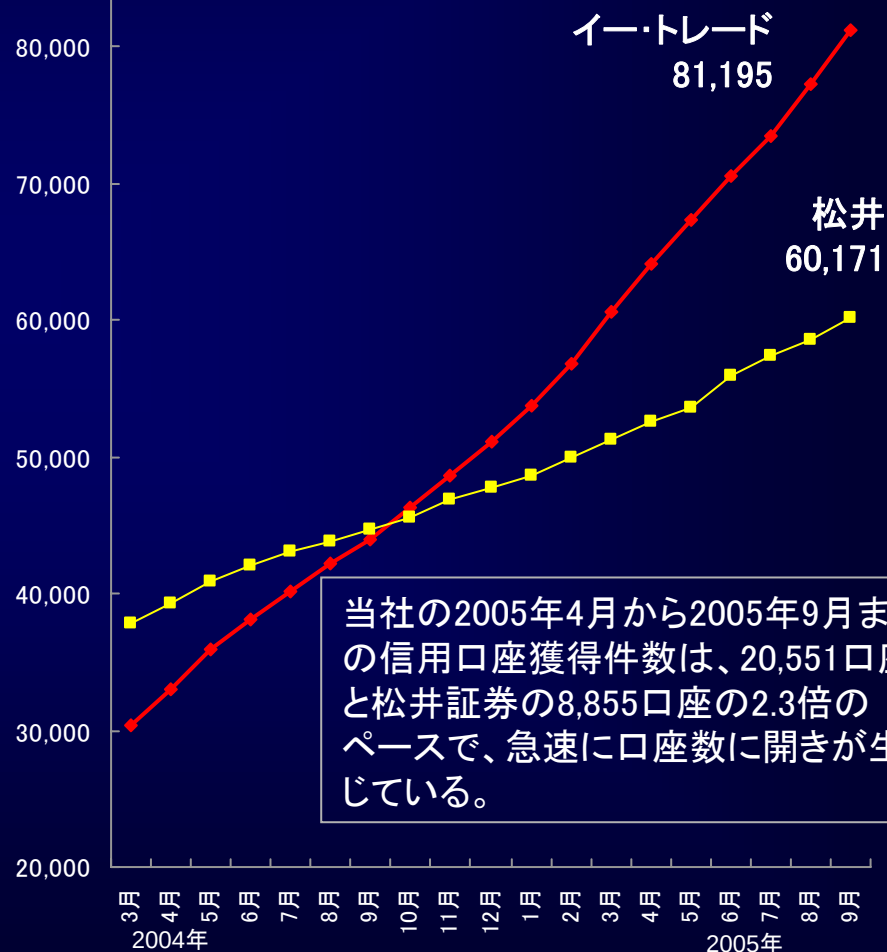
(2005年9月末現在)



## 松井証券との信用口座数比較

(2004年3月から2005年9月まで)

(信用口座数)



当社の2005年4月から2005年9月までの信用口座獲得件数は、20,551口座と松井証券の8,855口座の2.3倍のペースで、急速に口座数に開きが生じている。

出所: 各社ホームページ等公表資料より当社にて集計

※ マネックス証券、日興ビーンズ証券はMonexBeansとして合算。

# IPO引受主幹事業務の開始

2005年9月15日

(株)アークコア 名古屋証券取引所 セントレックス市場へ上場

- ・オンライン総合証券への基盤固めとして、積極的に主幹事業務を行う
- ・引受比率10%以上の引受社数は現状14%(2006年3月期中間期)。

引受主幹事を行うことで引受比率の増加を図る

E\*トレード証券

- ・引受手数料収入の拡大
- ・口座数の拡大
- ・ブローカレッジの拡大
- ・セカンダリーの引受

＜発行会社＞

- ・適正な株価形成
- ・個人株主作り

＜個人投資家＞

- ・配分株数の増加
- ・公正な抽選

発行市場と流通市場の橋渡し

# 全証券会社における引受社数実績

## 第1四半期に引続き全証券会社中 1位を維持

### IPO引受社数ランキング(2005年4-9月期)

| 順位       | 社名                      | 引受件数      | 関与率(%)      |
|----------|-------------------------|-----------|-------------|
| <b>1</b> | <b><u>イー・トレード証券</u></b> | <b>50</b> | <b>68.5</b> |
| 2        | 新光                      | 46        | 63.0        |
| 3        | 三菱                      | 42        | 57.5        |
| 4        | 日興シティ                   | 41        | 56.2        |
| 5        | 大和SMBC                  | 35        | 47.9        |
| 6        | 野村                      | 31        | 42.5        |
| 6        | マネックス・ビーンズ              | 31        | 42.5        |
| 8        | UFJつばさ                  | 30        | 41.1        |
| 9        | 松井                      | 28        | 38.4        |
| 10       | 岡三                      | 27        | 37.0        |

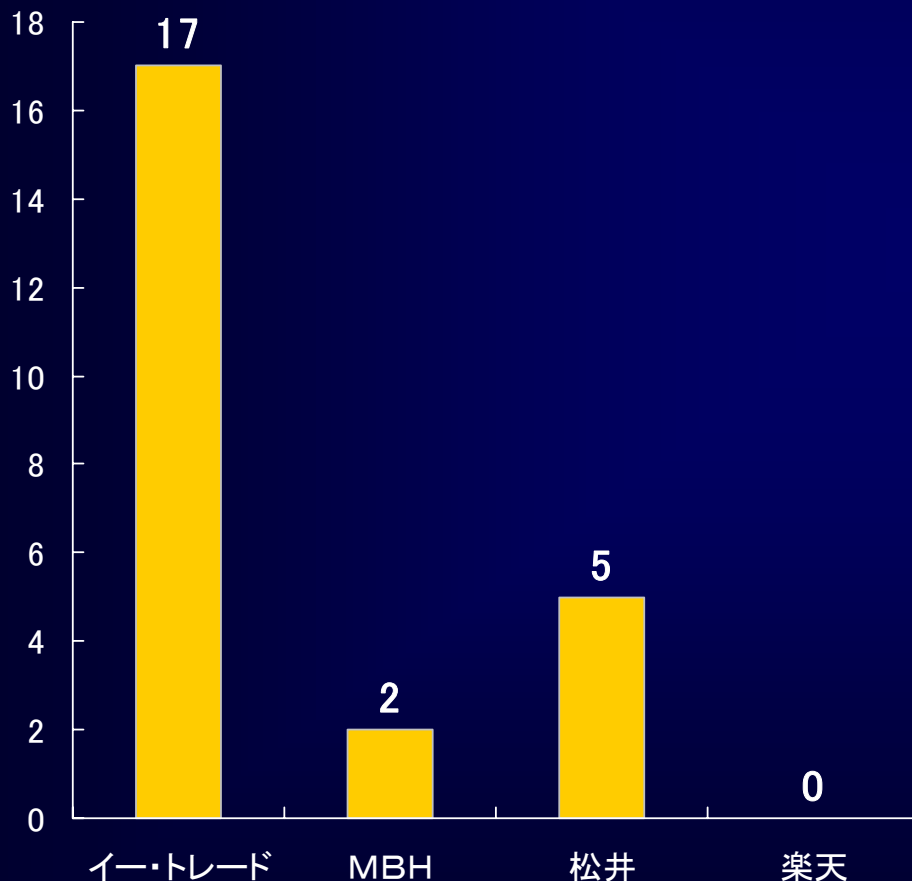
※ 集計対象は05年4-9月期新規上場企業73社の国内引受分で、追加売出分と海外は含まず。

※引受参加とは、自社の主幹事案件含む引受銘柄数

出所：発表資料より当社算出

# 高シェアのIPO引受が多いイー・トレード証券

2005年3月期～2006年3月期中間期  
(2004年4月～2005年9月)において10%  
以上の引受シェアを獲得した社数



2004年10月以降にイー・トレード証券が  
10%以上の引受シェアを獲得した企業

| 上場日        | 会社名         | 引受シェア |
|------------|-------------|-------|
| 2004/10/5  | ベリトランス      | 20%   |
| 2004/11/25 | かわでん        | 30%   |
| 2005/2/16  | 共立印刷        | 15%   |
| 2005/3/9   | ガンホー        | 23%   |
| 2005/4/7   | トレーダーズ証券    | 13%   |
| 2005/4/21  | 日本通信        | 25%   |
| 2005/6/14  | IRIユビテック    | 10%   |
| 2005/6/27  | アドバンスト・メディア | 21%   |
| 2005/7/12  | ガイアックス      | 10%   |
| 2005/8/3   | ブロードバンドタワー  | 29%   |
| 2005/9/15  | アークコア       | 62%   |

# SBI証券 個別業績

(単位:百万円)

|       | 2005年3月期<br>中間期<br>(2004年4月～9月) | 2006年3月期<br>中間期<br>(2005年4月～9月) | 前年同期比<br>増減率(%) |
|-------|---------------------------------|---------------------------------|-----------------|
| 営業収益  | 5, 871                          | 5, 235                          | △10.8           |
| 営業利益  | 1, 747                          | 1, 441                          | △17.5           |
| 経常利益  | 1, 901                          | 1, 536                          | △19.2           |
| 中間純利益 | 2, 110                          | 2, 087                          | △1.1            |

# SBI証券 第2四半期個別業績

## 第2四半期に業績は急回復

(単位:百万円)

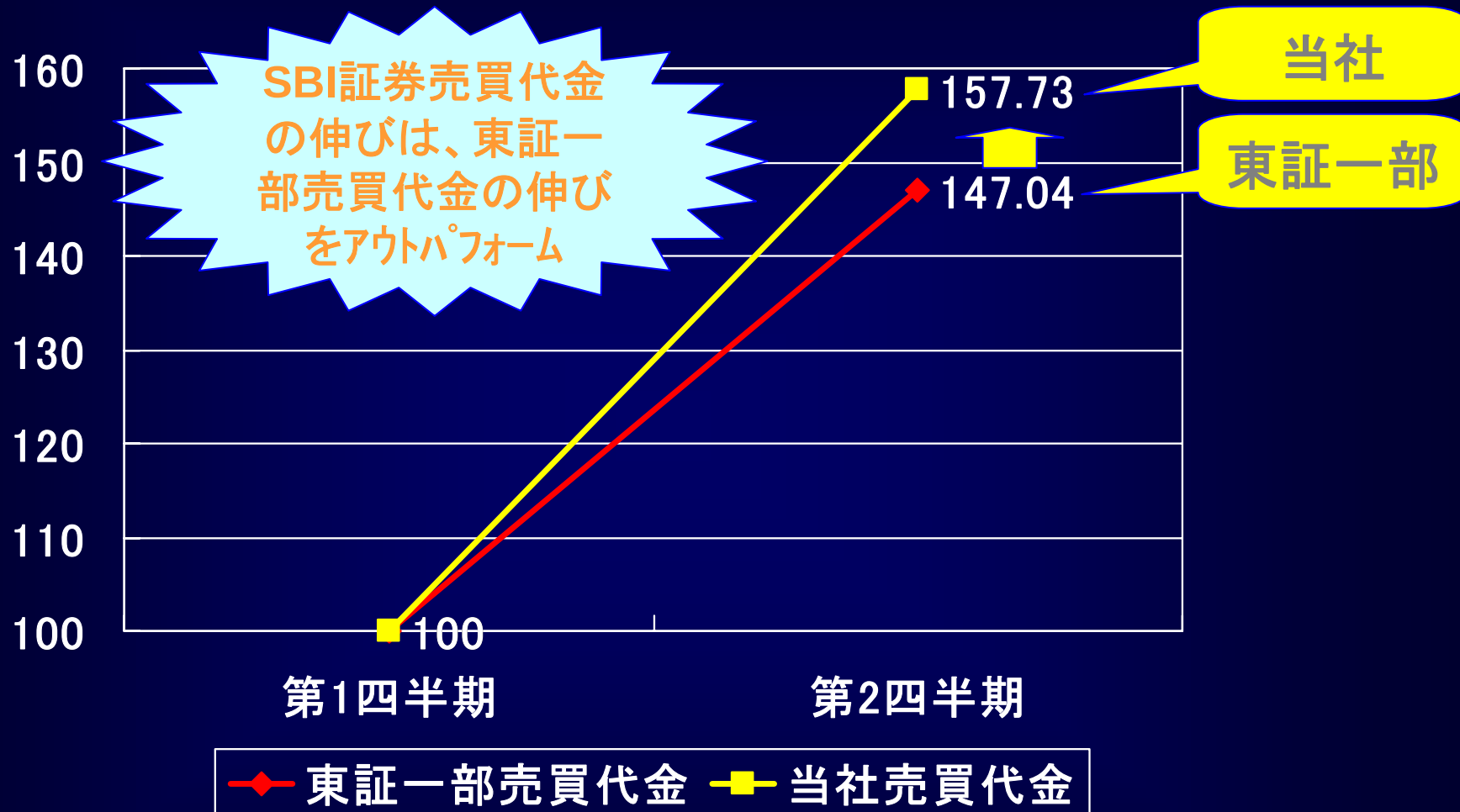
|       | 2005年3月期<br>第2四半期<br>(2004年7月～9月) | 2006年3月期<br>第2四半期<br>(2005年7月～9月) | 前年同期比<br>増減率(%) |
|-------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------|
| 営業収益  | 2, 160                            | 3, 050                            | 41.1            |
| 営業利益  | 211                               | 1, 163                            | 449.2           |
| 経常利益  | 237                               | 1, 173                            | 394.0           |
| 中間純利益 | 144                               | 1, 373                            | 847.2           |

# SBI証券四半期別経常利益推移

(単位: 百万円)



# SBI証券株式委託売買代金の推移(第1・第2四半期対比)



第1四半期の株式委託売買代金を100とした場合の、第2四半期の指数を示したもの

# 投信販売に強みを持つSBI証券

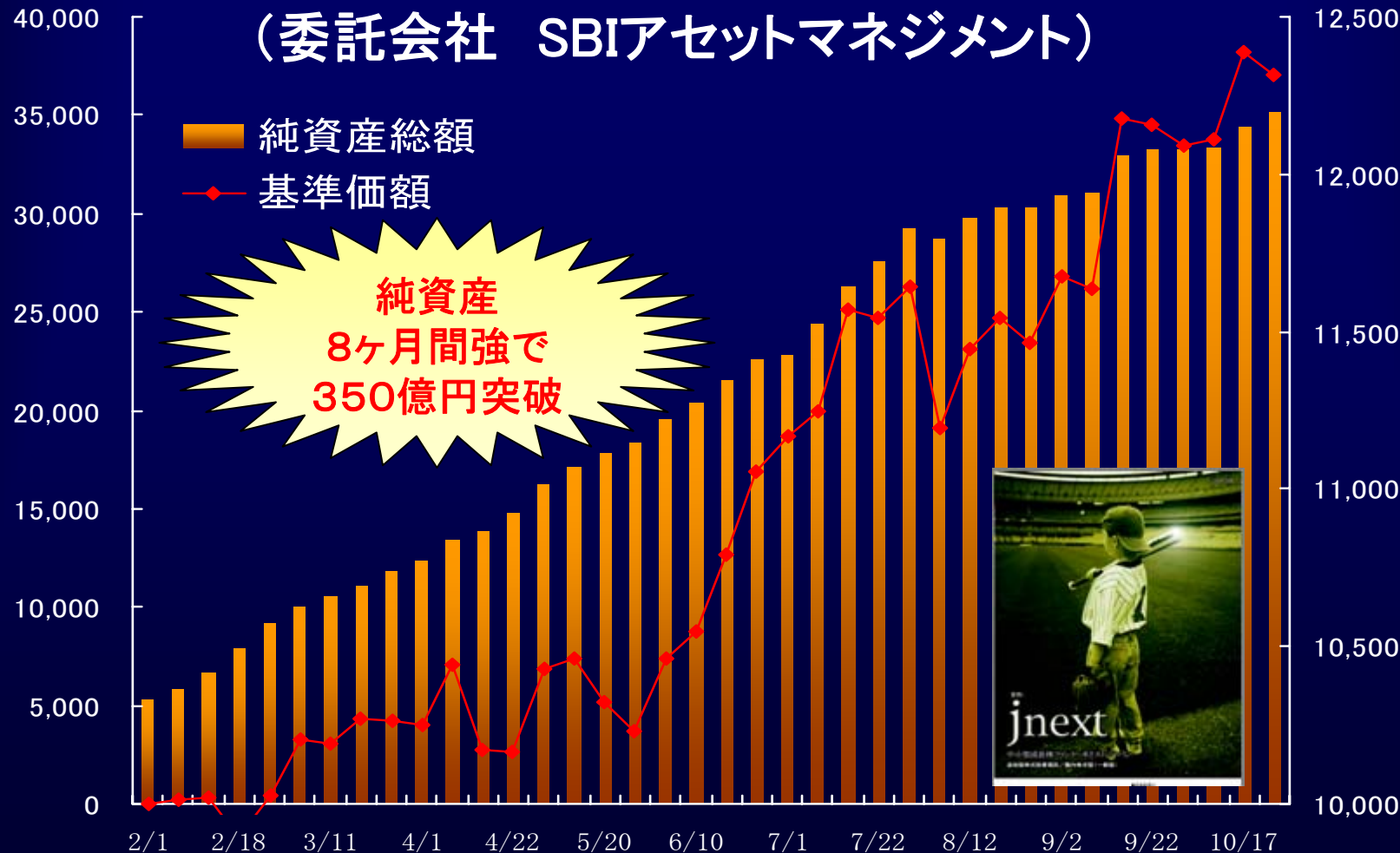
純資産総額

(百万円)

## 主要投信－jnextの純資産総額と基準価額の推移 (委託会社 SBIアセットマネジメント)

基準価額

(円)



基準価額 ↑ 20% (年率換算約30%) を超える上昇

(本表は、平成17年10月21日までの値を記載しております。)

## ④ファイナンシャル・サービス事業

### (3)ファイナンシャル・サービス事業のハイライト

- I ファイナンス・オールが連結売上高・利益ともに過去最高を更新、連結営業利益率が前期9.9%から15.3%へと向上  
1株あたり配当を75円から100円に大幅増配へ
  - ① 引き続き好調なマーケットプレイス事業では見積もり件数は69万件を突破、同事業営業利益は前期比71%増加
  - ② SBIモーゲージでは公庫証券化ローン『フラット35』が絶好調で、9月末住宅ローン実行残高は1,224億円に
  - ③ EC決済を手掛けるSBIベリトランスにおいてはトランザクション件数が前期比70%増
- II モーニングスターは全事業において売上高が増加、連結経常利益は前年同期比48.4%増
  - ① 出資した株式新聞社・サーチナとのシナジー効果が現れ、メディアミックスによる広告受注増となる
  - ② ゴメス・コンサルティングは従来の金融機関向けのみならず、他業種からの受注が拡大

# ファイナンス・オール 連結業績

(単位:百万円)

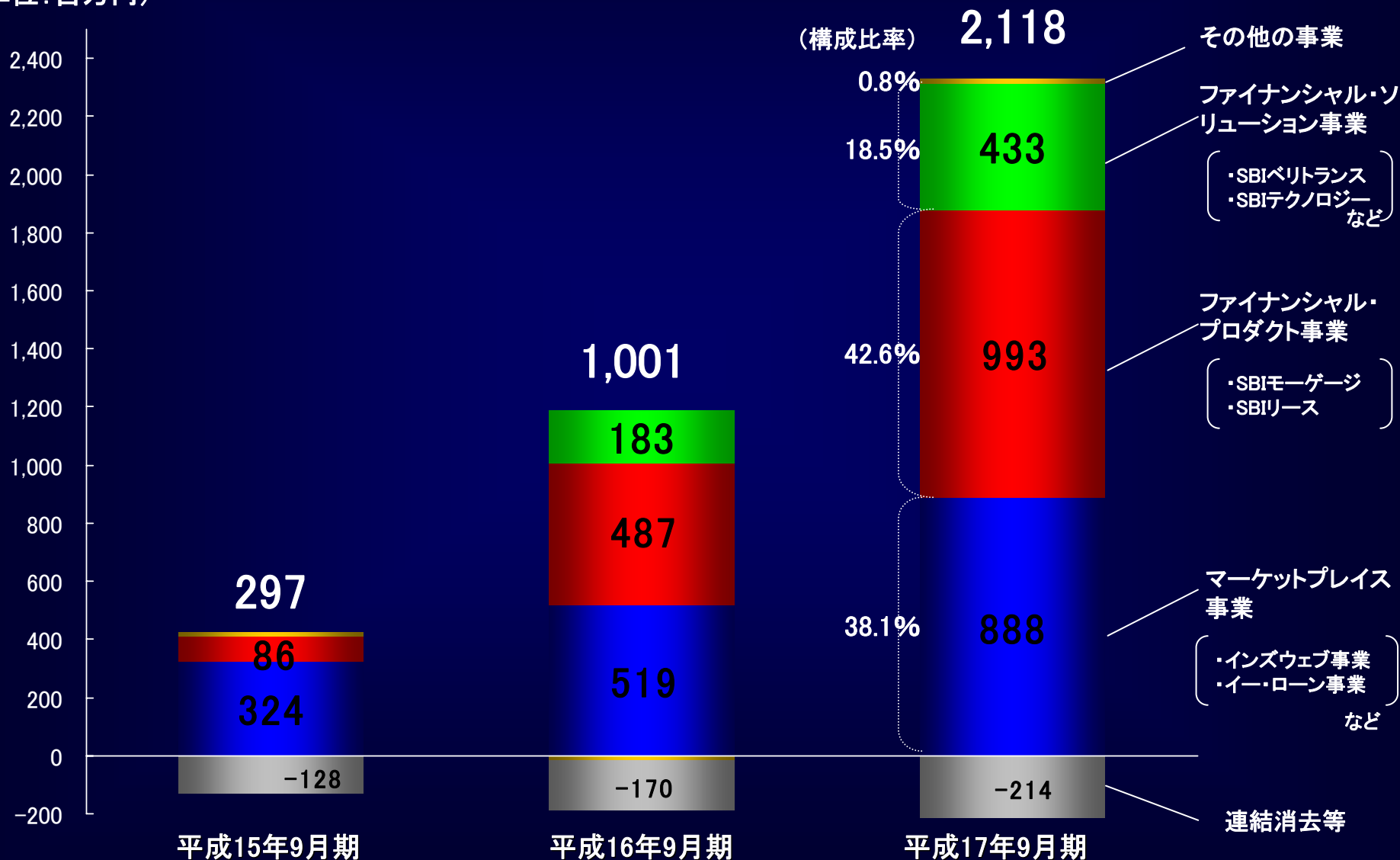
|       | ※1<br>2004年9月期<br>通期<br>(2003年10月～2004年9月) | 2005年9月期<br>通期<br>(2004年10月～2005年9月) | 前年同期比<br>増減率(%) |
|-------|--------------------------------------------|--------------------------------------|-----------------|
| 売 上 高 | 10, 150                                    | 13, 854                              | +36.5           |
| 営業利益  | 1, 001                                     | 2, 118                               | +111.6          |
| 経常利益  | 975                                        | 2, 050                               | +110.2          |
| 当期純利益 | 637                                        | ※2<br>3, 603                         | +465.5          |

※1 2003年10月～2004年1月の業績はSBI連結業績には含まれておりません。

※2 SBIペリトランス(株)の株式公開時の公募増資(平成16年10月)及びSBIモーゲージ(株)の第三者割当増資(平成17年2月・5月)などに伴う持分変動による「持分変動によるみなし売却益」約2,556百万円を当期に計上しました。

# ファイナンス・オール セグメント別連結営業利益

(単位:百万円)



(注1) 単位未満は切り捨てにて表示

(注2) 売上高構成比率につきましては、連結消去及び全社費用控除前の数値に基づき算出しております。

# SBIベリトランス 中間期業績

|       | ※1<br>2004年3月期<br>中間期 | 2005年3月期<br>中間期 | (単位:百万円)<br>前期比<br>増減率(%) |
|-------|-----------------------|-----------------|---------------------------|
| 売 上 高 | 422                   | 797             | +88.8                     |
| 営業利益  | 91                    | 171             | +86.4                     |
| 経常利益  | 99                    | 169             | +69.8                     |
| 当期純利益 | ※2<br>109             | ※3<br>100       | ▲8.1                      |

※1 2003年10月～2004年1月の業績はSBI連結業績には含まれておりません。

※2 2004年3月期中間期については、過年度に発生した繰越欠損金の一部について回収可能性が認められたため、繰延税金資産11百万円を計上した影響が含まれております。

※3 2005年3月期中間期については、繰越欠損金の使用があったため、繰延税金資産の取崩をいたしました。

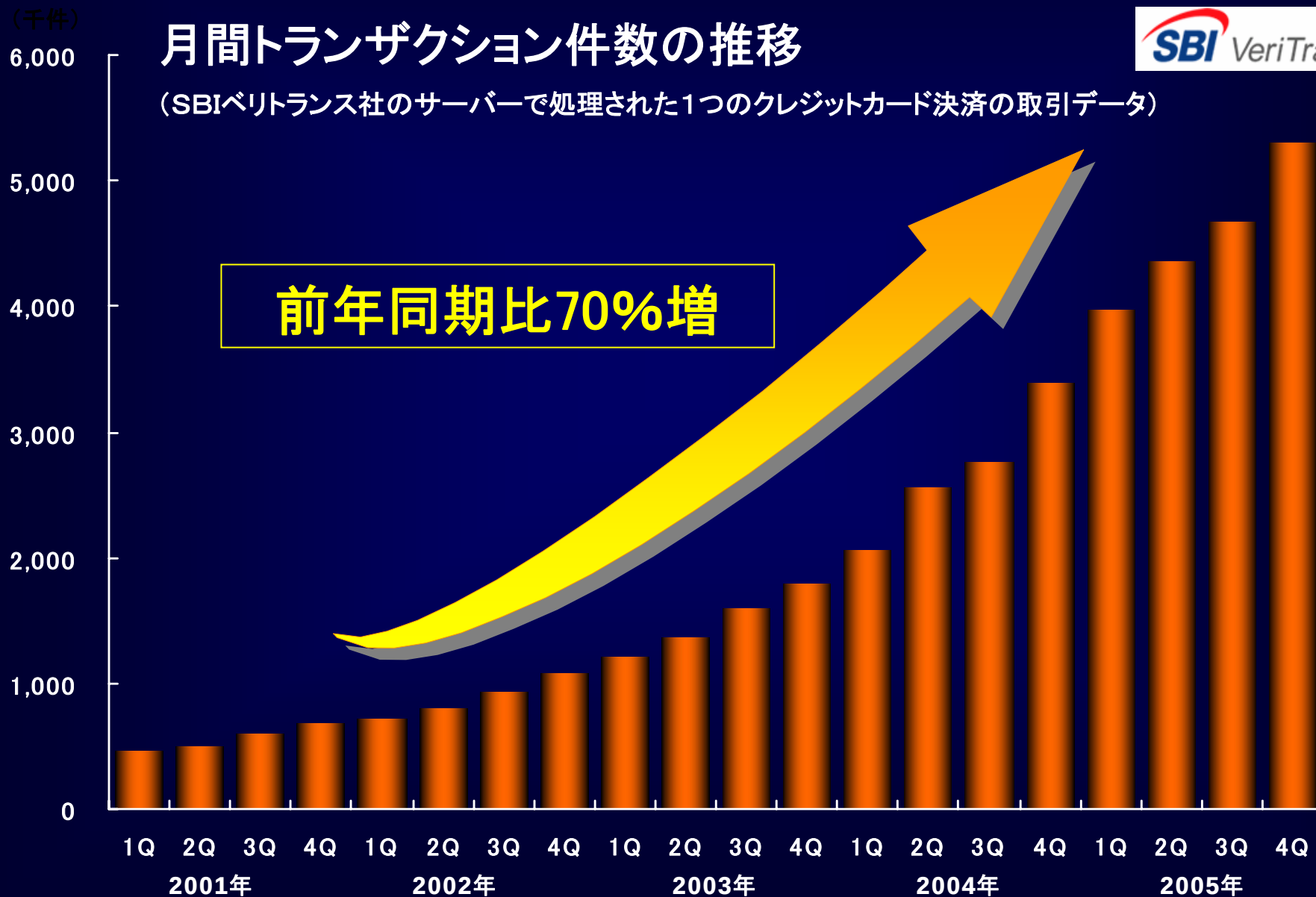
## 成長軌道に乗ったSBIベリトランス



## 月間トランザクション件数の推移

(SBIベリトランス社のサーバーで処理された1つのクレジットカード決済の取引データ)

前年同期比70%増



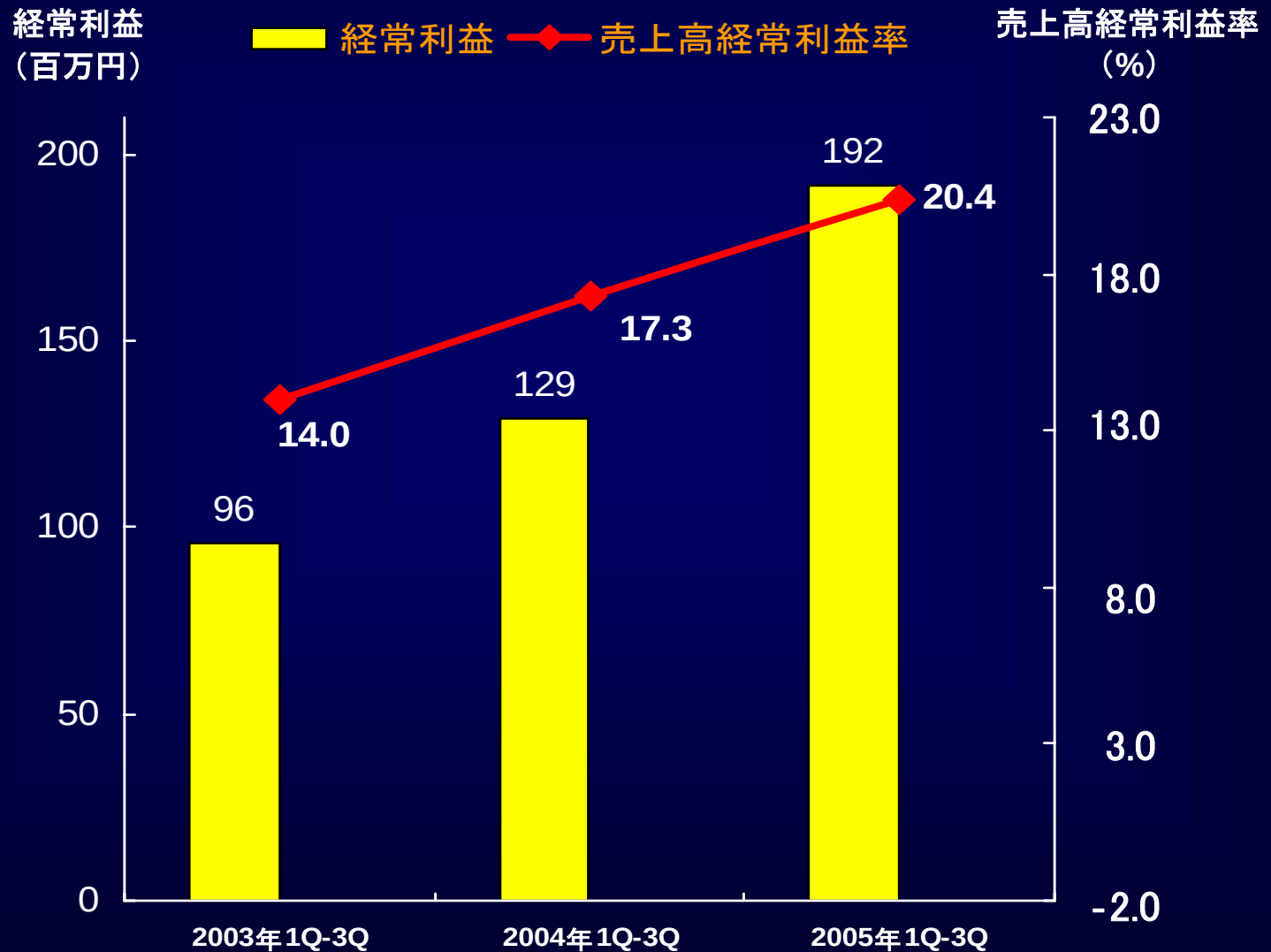
# モーニングスター 連結業績

(単位: 百万円)

|       | 2004年12月期<br>第3四半期<br>(2004年1月～9月) | 2005年12月期<br>第3四半期<br>(2005年1月～9月) | 前年同期比<br>増減率(%) |
|-------|------------------------------------|------------------------------------|-----------------|
| 売上高   | 747                                | 944                                | +26.3           |
| 営業利益  | 124                                | 190                                | +52.9           |
| 経常利益  | 129                                | 192                                | +48.4           |
| 当期純利益 | 80                                 | 182                                | +127.2          |

※ 2004年12月期第3四半期の業績はSBI連結業績には含まれておりません。

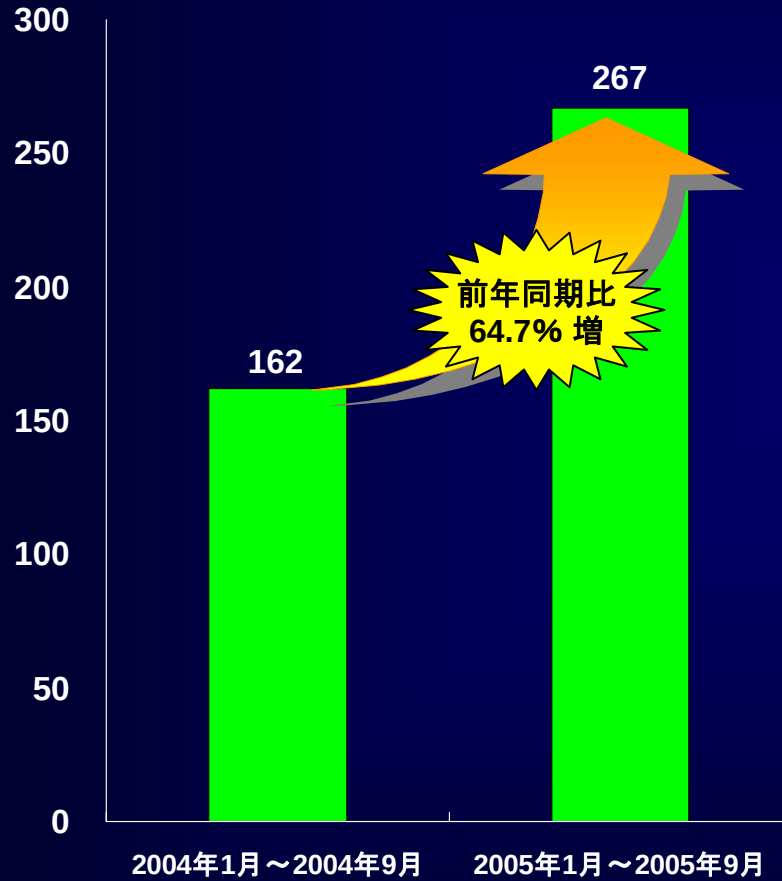
# 連結の利益率の上昇



# モーニングスター子会社 ゴメス・コンサルティング単体の業績

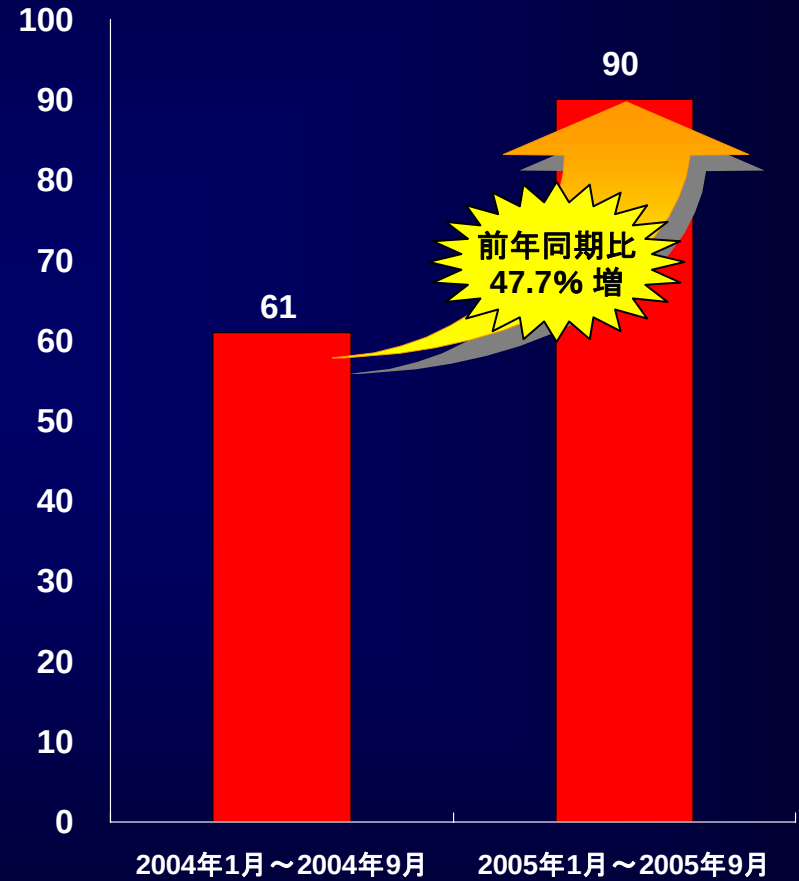
## < 売上高 >

(百万円)



## < 経常利益 >

(百万円)



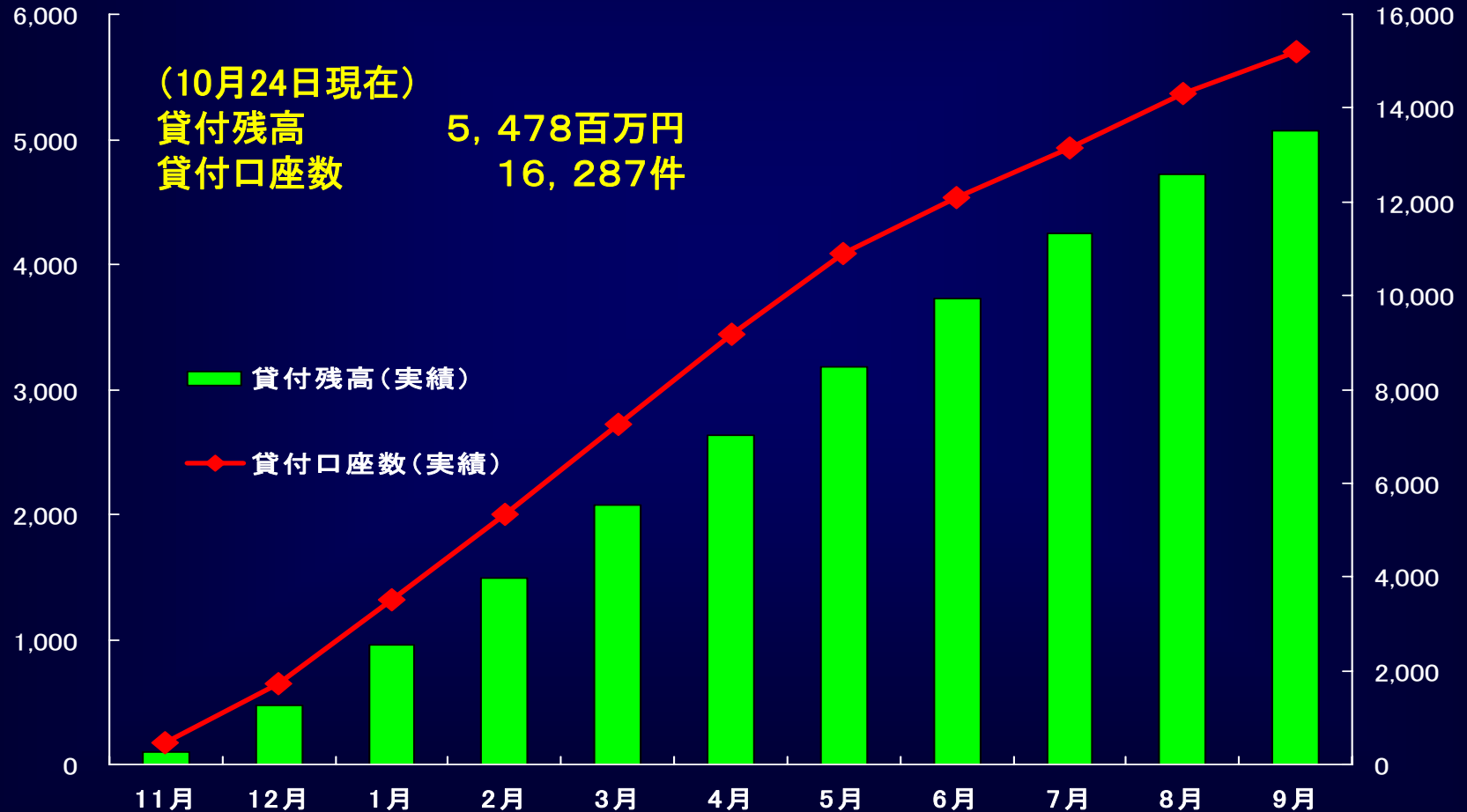
# イコール・クレジットの貸出実績推移

貸付残高は営業開始後10ヶ月間で50億円を突破

2005年10月よりビジネスローンも開始

(単位:百万円)

(口座数)



2005年

※営業開始2004年11月17日

### 3. SBIグループビジョンの 達成に向けて

---

# 新生SBIグループ3つのビジョン

1. 顧客価値を土台として、株主価値・人材価値との相乗効果を働かせ企業価値の極大化を図る
2. 株主価値を、現在のグループ内上場企業の時価総額約1兆円から、3年後に3兆円、5年以内に5兆円とする
3. 「強い企業」から「強くて尊敬される企業」を目指す

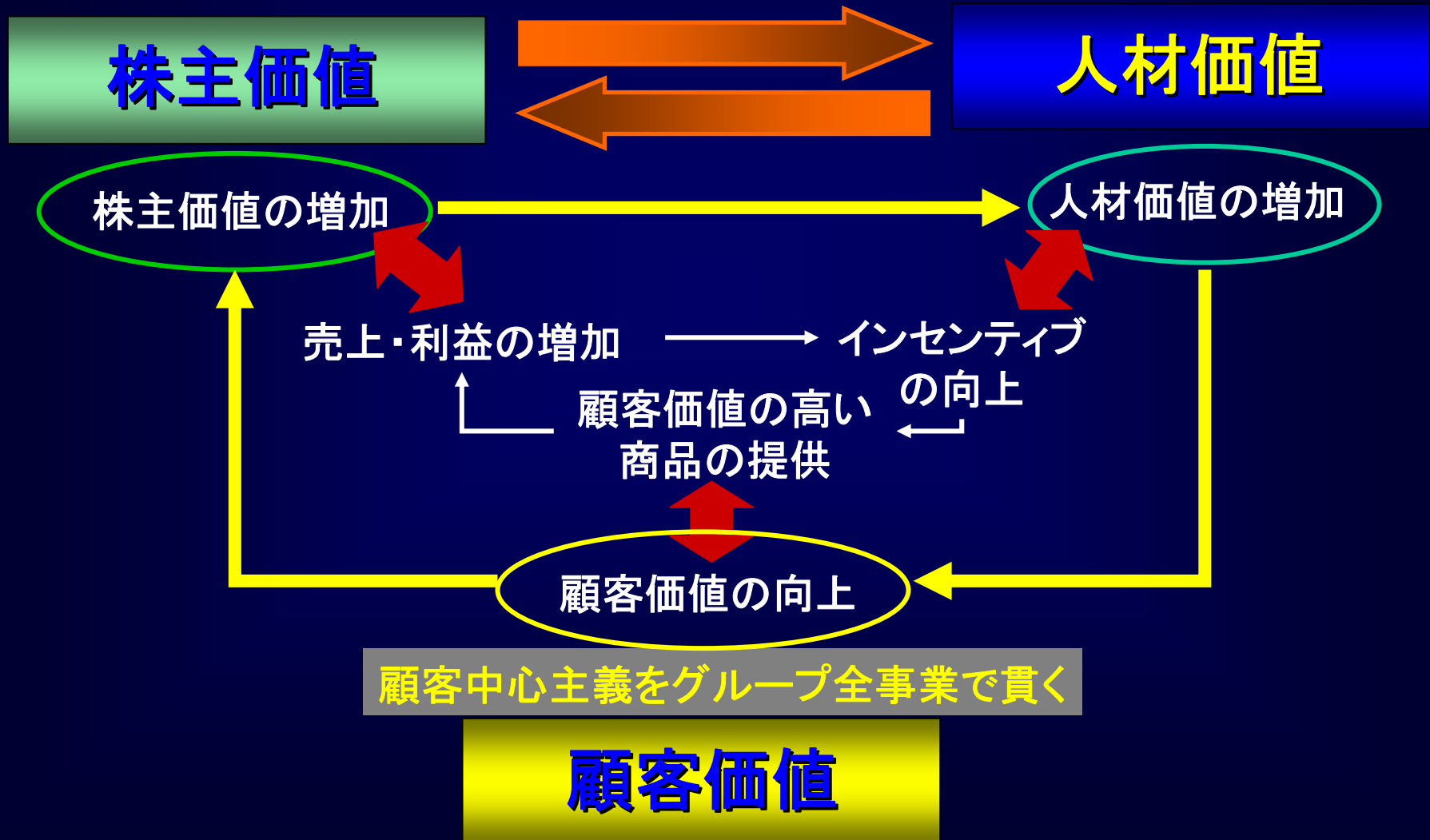
(2. グループ内上場企業＝SBIホールディングス及びその連結子会社、持分法適用会社)

## ビジョン(1)

顧客価値を土台として、株主価値・人材価値との  
相乗効果を働かせ企業価値の極大化を図る

# 「企業価値」向上のメカニズム

「企業価値」は、顧客価値の創出が土台となり、株主価値・人材価値と相互に関連しながら生み出され、増大されていく



## ビジョン(2)

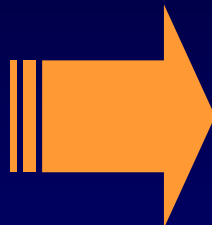
グループ内上場企業の合算時価総額を  
現在の約1兆円から、3年後に3兆円、  
5年以内に5兆円とすることを目指す

(グループ内上場企業＝SBIホールディングス及びその連結子会社、持分法適用会社)

# 時価総額目標発表(2005／4／26)からの時価総額増加

極めて短期間に合算時価総額は大幅に拡大

2005年4月26日  
8,862億円



2005年10月25日  
**12,819億円**

|             | 2005年<br>4月26日現在 | 2005年<br>10月25日現在 |
|-------------|------------------|-------------------|
| SBIホールディングス | 3,224億円          | 4,598億円           |
| イー・トレード証券   | 3,810億円          | 4,870億円           |
| ファイナンス・オール  | 1,035億円          | 903億円             |
| SBI証券       | 472億円            | 493億円             |
| SBIパートナーズ   | (グループ外)          | 583億円             |
| モーニングスター    | 135億円            | 173億円             |
| SBIベリタランス   | 186億円            | 153億円             |
| ゼファー        | (グループ外)          | 1,046億円           |

# I) 合算時価総額目標達成を目指す 四つの基本方策

- ① グループ内上場各企業の自己成長・自己増殖
- ② グループ内未上場企業の株式新規公開
- ③ 株式交換等を用いた子会社化によるグループ内への  
企業価値取り込み
- ④ 合併・買収・ジョイントベンチャーの設立・戦略的提携

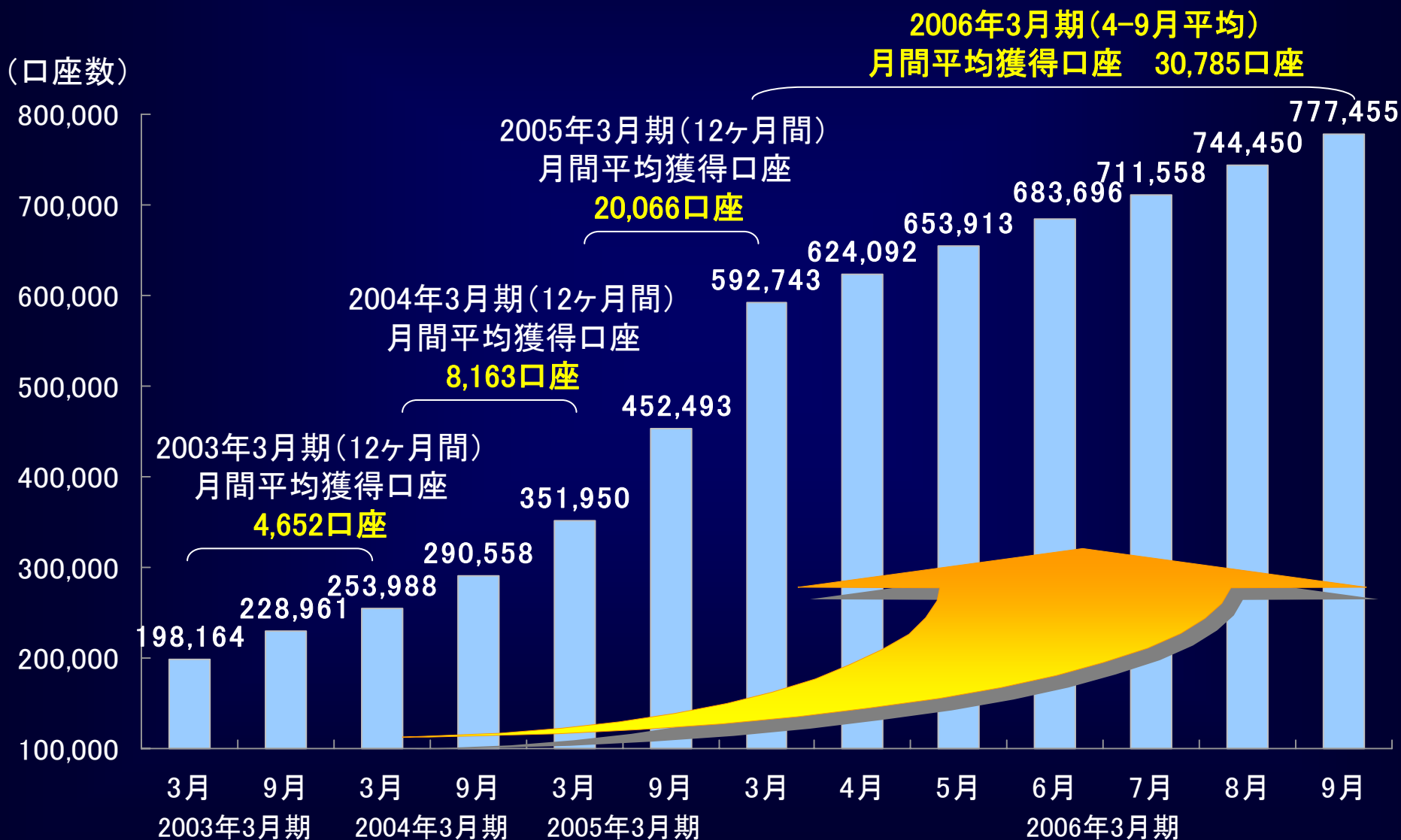
# ①グループ内上場各企業の自己成長・自己増殖

例1:イー・トレード証券

例2:ファイナンス・オール

# 月間口座開設件数推移

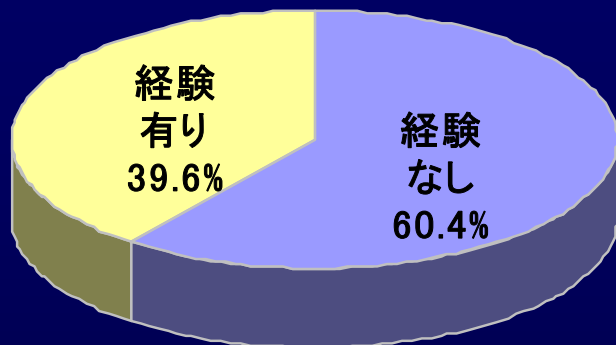
～月間口座開設件数は加速度的に増加～



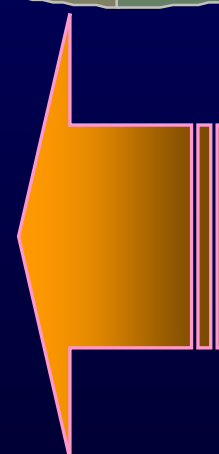
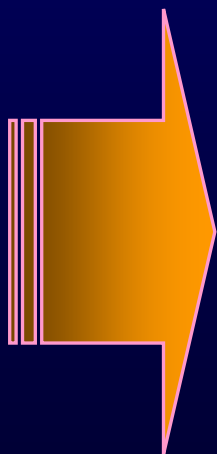
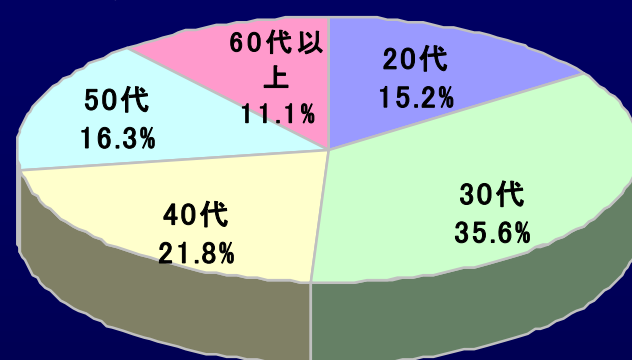
# 新たな顧客層の獲得

## 投資未経験層・若年層の口座開設が順調に推移

2005年度中間期(4月～9月)  
口座開設者株式投資経験有無



2005年9月末  
顧客口座年齢別構成



投資経験を有する他社の顧客だけでなく、初めて投資をする顧客をも圧倒的に取り込むことで成長を加速させる

# 圧倒的No.1の地位を確固たるものとする新手数料体系

業界最低水準を追求したシンプルで分かりやすい手数料体系

7月に続いて10月3日より新手数料がスタート

スタンダードプラン(2005年10月3日約定分より改定)

アクティブプラン(2005年7月1日約定分より改定)

## 現物取引

| 1回の約定代金 | 株式委託手数料 |        |
|---------|---------|--------|
| 50万円まで  | 525円    | 472円   |
| 100万円まで | 945円    | 840円   |
| 150万円まで | 1,155円  | 1,050円 |
| 150万円超  | 1,680円  | 1,575円 |

## 信用取引

| 1回の約定代金 | 株式委託手数料 |      |
|---------|---------|------|
| 30万円まで  | 577円    | 262円 |
| 30万円以上  |         | 472円 |

## 現物・信用取引

1日に何回取引しても1日の合計の約定代金がある金額までは定額。

| 1日の約定代金の合計額   | 株式委託手数料 |         |
|---------------|---------|---------|
| 50万円まで        | 2,100円  | 525円    |
| 100万円まで       |         | 945円    |
| 300万円まで       |         | 2,100円  |
| 600万円まで       | 4,200円  | 4,200円  |
| 900万円まで       | 6,300円  | 6,300円  |
| 以降300万円増加する毎に | +2,100円 | +2,100円 |

アクティブプラン選択者は全体の1.8%

(2005年6月末現在)

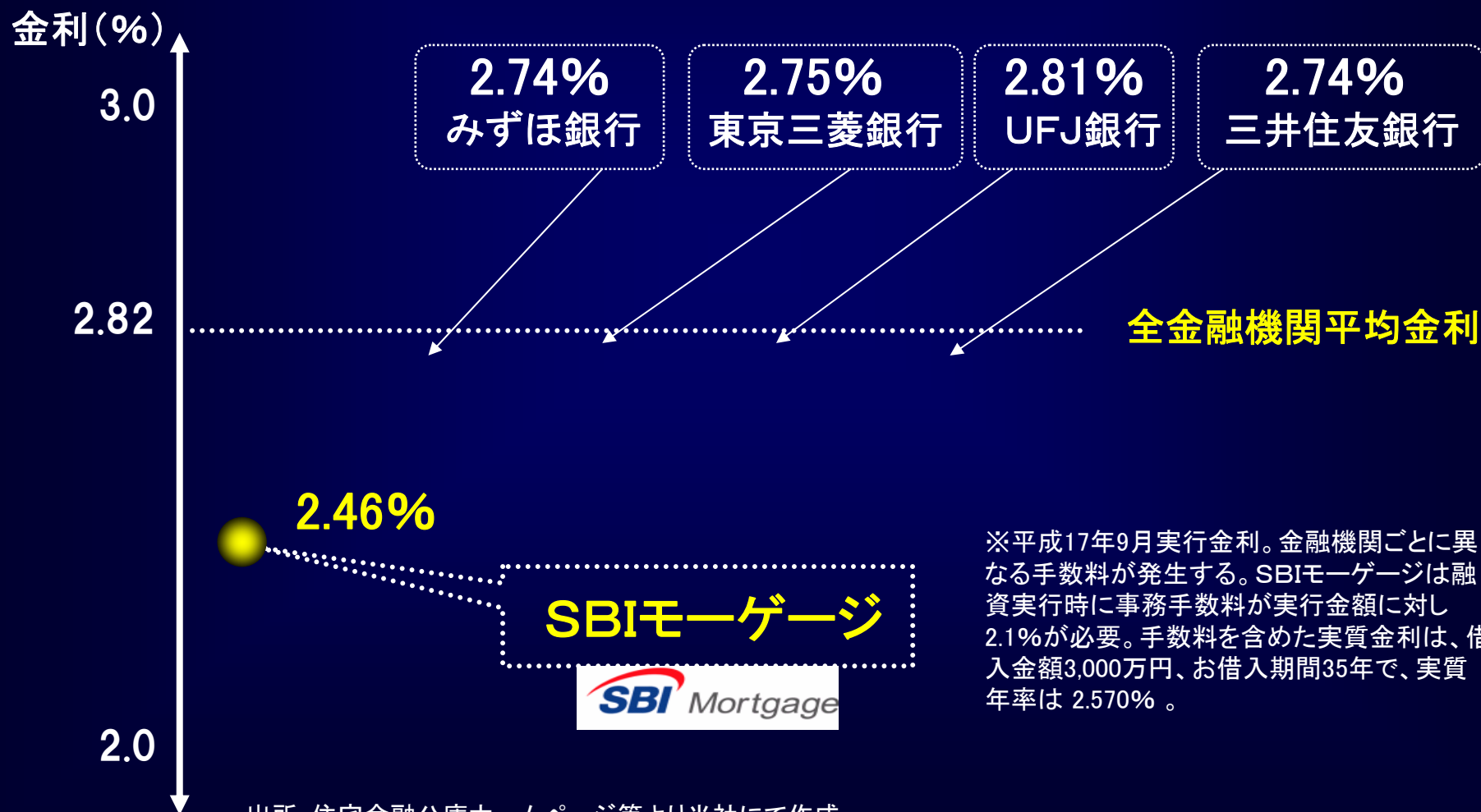
# 成長著しいSBIモーゲージの住宅ローン事業

## 住宅ローン実行残高推移



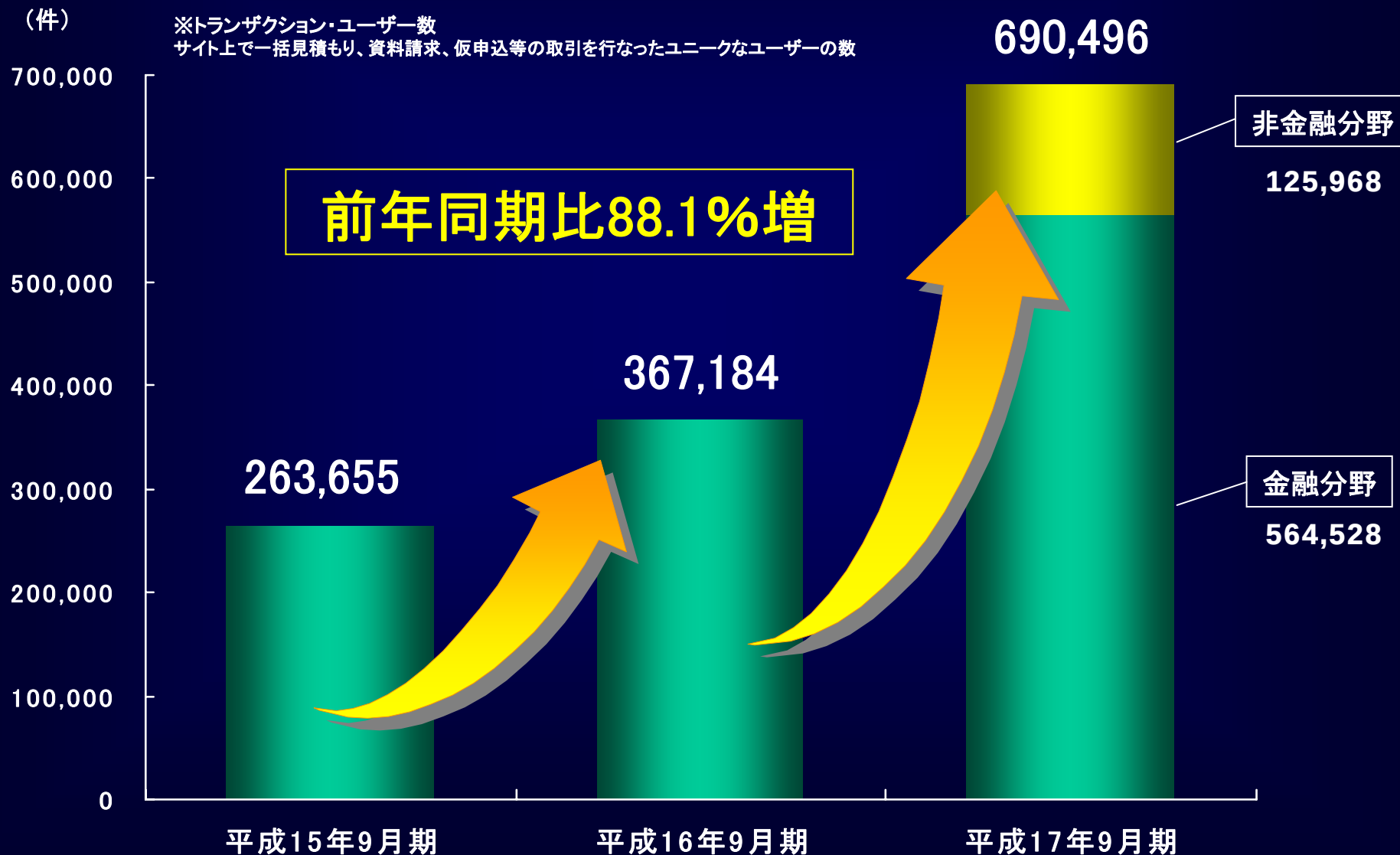
## フラット35(公庫証券化ローン)の金利比較(9月)

最長35年固定金利、最低金利2.23%でスタート。平成17年9月においても、全金融機関の中で**最低金利水準**を実現。



# 成長するマーケットプレイス事業

## トランザクション・ユーザー数の推移



## ②グループ内未上場企業の株式新規公開

1: 基本的な考え方

2: 株式公開候補企業例

# 財務戦略の多様化

資金調達自由度が増し、子会社上場のみが  
成長資金の獲得手段ではなくなる

2005年3月  
公募増資

ソフトバンクから独立し、  
独自の信用力を評価される体制が整う



2005年6月に日本格付研究所(JCR)より、SBIホールディングスは「**BBB(トリプルB)**」の格付を取得。イー・トレード証券は「**BBB+(トリプルBプラス)**」の格付を取得し、ソフトバンクを上回った。

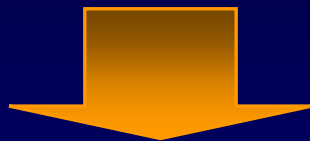


2005年10月:

SBIホールディングス 500億円の普通社債発行

# 今後のグループ企業の上場における要件

グループ企業の上場を検討するに際しては、  
グループ全体にとっての中長期的な観点が必要



## 【株式公開したほうが良いグループ企業が満たすべき要件】

- ①システムを中心とした大規模な設備投資を継続的に行うことが必要であったり、多額の運転資金を必要とし、事業の拡大に伴って資本の増加が必要な場合(例:イー・トレード証券)
- ②その会社の事業が中立性を要求される場合(例:モーニングスター、ゴメス・コンサルティング)
- ③グループ内企業間でのシナジー効果が薄く、グループの事業ポートフォリオの観点から公開して株主価値を顕在化させたほうが良い場合や、グループ戦略上その企業の戦略的重要性が低下した場合

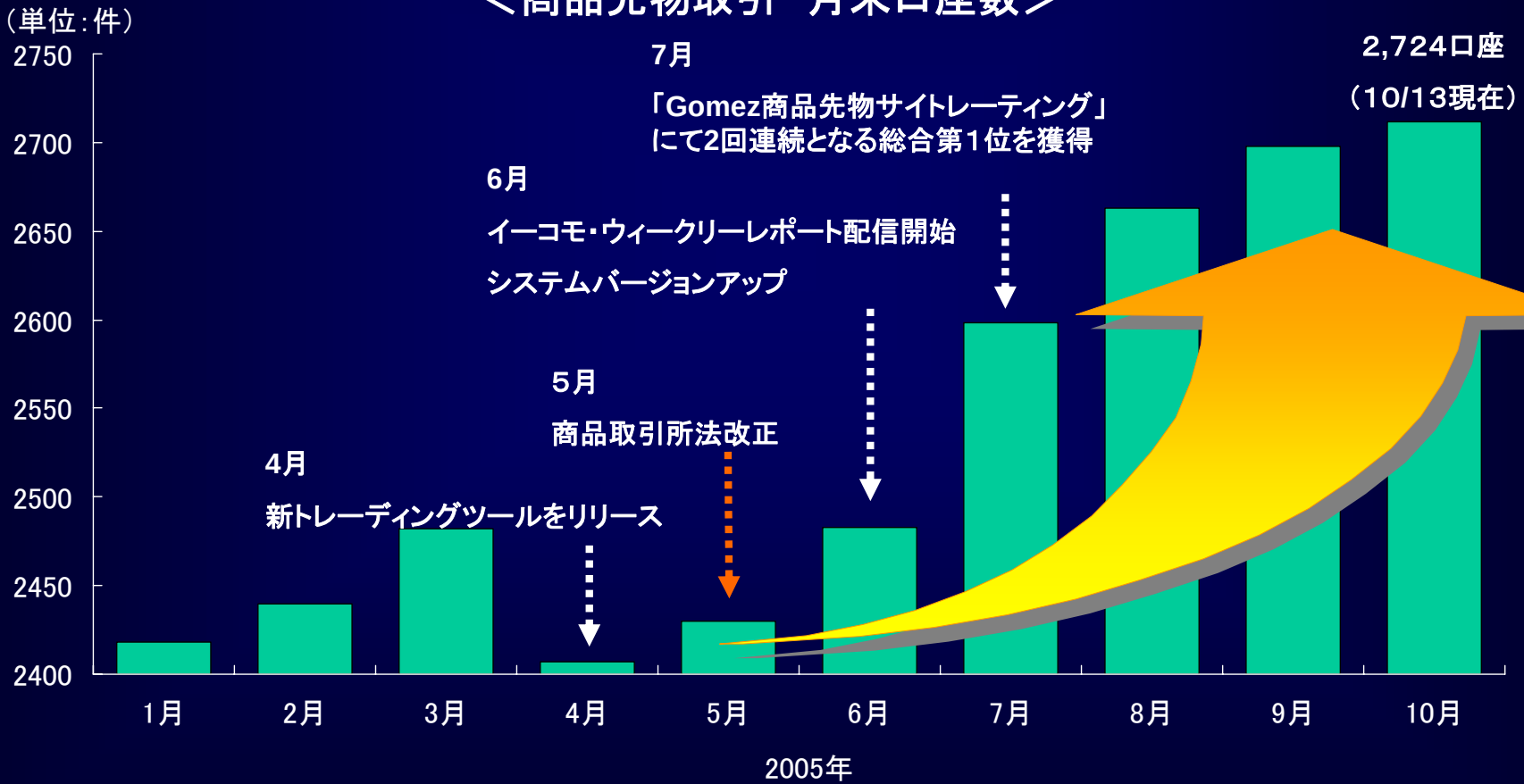
SBIキャピタルの株式公開は見送ることとした

# イー・コモディティ 口座数の推移

5月の商品取引所法改正以後、増加ペースが加速  
7月以降、3ヶ月連続で過去最高を更新  
9月末現在、専業取引員75社中12位

(平成17年3月期開示情報との比較)

＜商品先物取引 月末口座数＞



口座数は、各月末現在において預り証拠金残高がある口座のみをカウントし、預り証拠金残高が0円の口座及び解約済みの口座を除きます。

# イー・コモディティの競争戦略

## ・手数料の差別化

10月1日、商品先物取引委託手数料を引下げ。

セルフコース日計り手数料を一律片道一枚当たり500円(税込み:525円)に引下げ

10月1日、外国為替保証金取引の取引手数料を無料に。

## ・システムの差別化

4月18日、新トレーディングツールをリリース。

6月13日、バージョンアップを実施。

7月8日、障害発生時のバックアップ機能を増強。

## ・情報の差別化

10月7日、業界で唯一となるオンライン取引口座の口座数と売買高の自社ウェブサイトでの開示を開始。

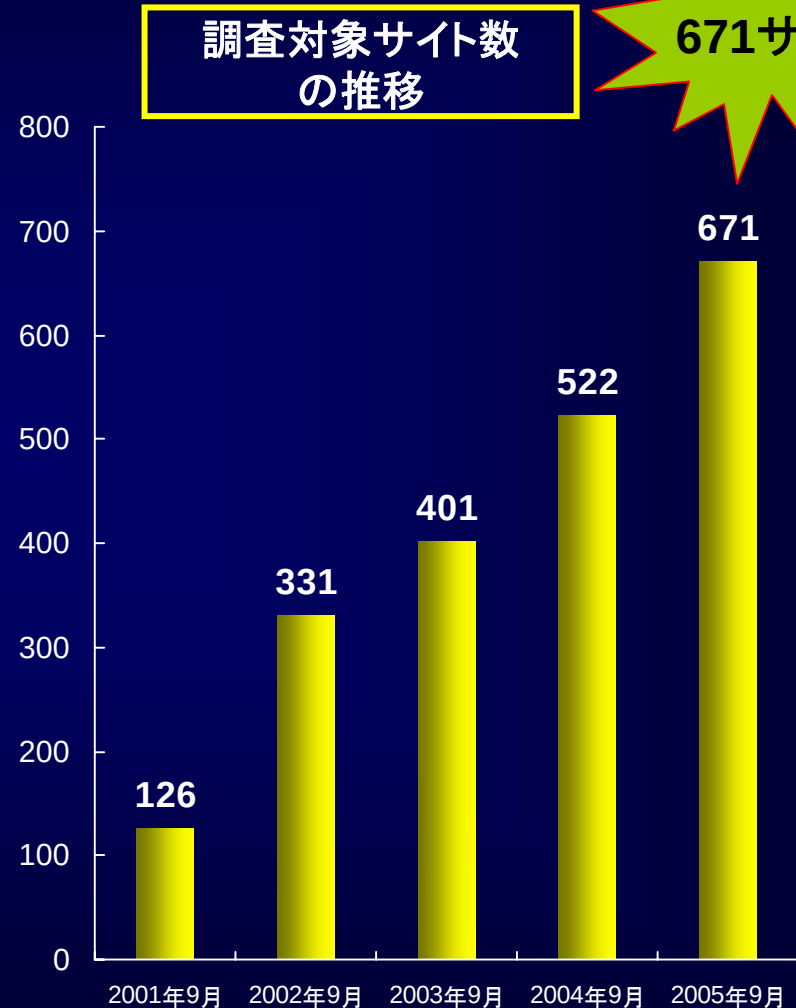
# ゴメス・コンサルティング 調査対象サイト数の推移

2005年9月末:43カテゴリ  
(調査対象サイト数:671サイト)

- Eコマースランキング
- ・オンラインバンキング
  - ・オンライン専業銀行・支店
  - ・オンライン証券
  - ・オンライン総合証券
  - ・クレジットカード **New!**
  - ・商品先物取引 **New!**
  - ・外為証拠金取引 **New!**
  - ・海外ツアー旅行 **New!**
  - ・国内ツアー旅行 **New!**
  - ・海外航空券 **New!**
  - ・国内航空券
  - ・国内宿泊予約
  - ・不動産分譲
  - ・不動産賃貸
  - ・不動産購入
  - ・転職情報
  - ・人材派遣
  - ・アルバイト情報
  - ・オンラインショッピング
  - ・オンラインオークション
  - ・公演チケット
  - ・ADSL8Mプロバイダー
  - ・自動車保険 **New!**
  - ・医療保険 **New!**
  - ・オンライン書店
  - ・中古車情報サイト
  - ・自動車メーカー
  - ・百貨店
  - ・化粧品メーカー

- モバイルサイトランキング
- ・モバイルオンラインバンキング
  - ・モバイルオンライン証券
  - ・モバイルアルバイト情報
  - ・モバイル中古車情報サイト
  - ・モバイル公演チケット

- IRサイトランキング
- ・銀行IR
  - ・証券IR
  - ・情報・通信業IR
  - ・卸売業IR
  - ・電気・ガス業IR
  - ・小売業IR
  - ・保険業IR
  - ・陸運業IR
  - ・空運業IR



**New!** マークのあるものは、2005年7月～2005年9月に発表したランキング

# E\*TRADE Koreaとイー・トレード証券の連携

## 日韓クロスボーダー取引により E\*TRADE Koreaの成長加速を目指す



|               |          |
|---------------|----------|
| E*TRADE Korea |          |
| 2005年9月中間期    |          |
| 営業収益          | 1,991百万円 |
| 営業利益          | 235百万円   |
| 経常利益          | 237百万円   |
| 純利益           | 224百万円   |

(2006年3月期中の累損一掃を目指す)

|       |                      |
|-------|----------------------|
| 日本→韓国 | 5月より開始(韓国上場44銘柄を取扱い) |
| 韓国→日本 | 11月上旬より開始予定          |

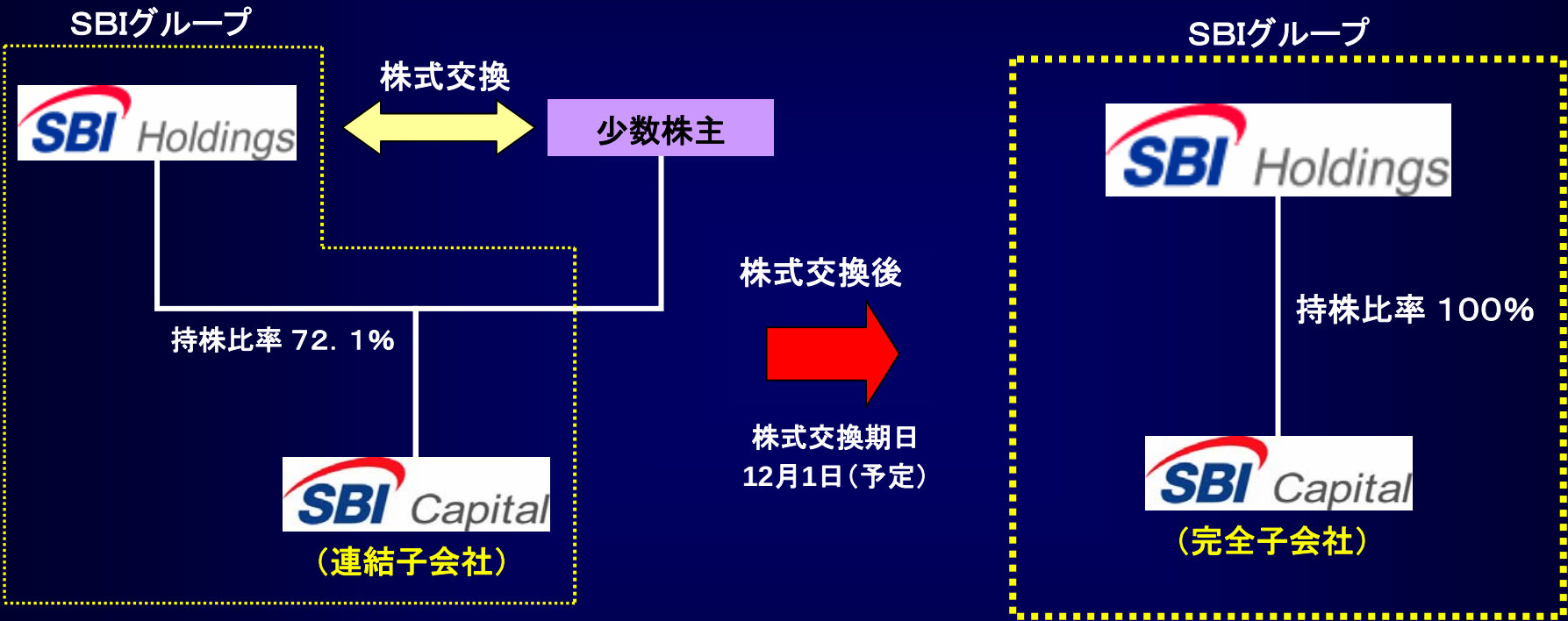
### ③株式交換等を用いた子会社化 によるグループ内への企業価値取り込み

例1:グループ企業の完全子会社化

例2:グループ外企業の連結子会社化

# SBIキャピタルの完全子会社化

簡易株式交換を実施し、SBIキャピタルを完全子会社とする

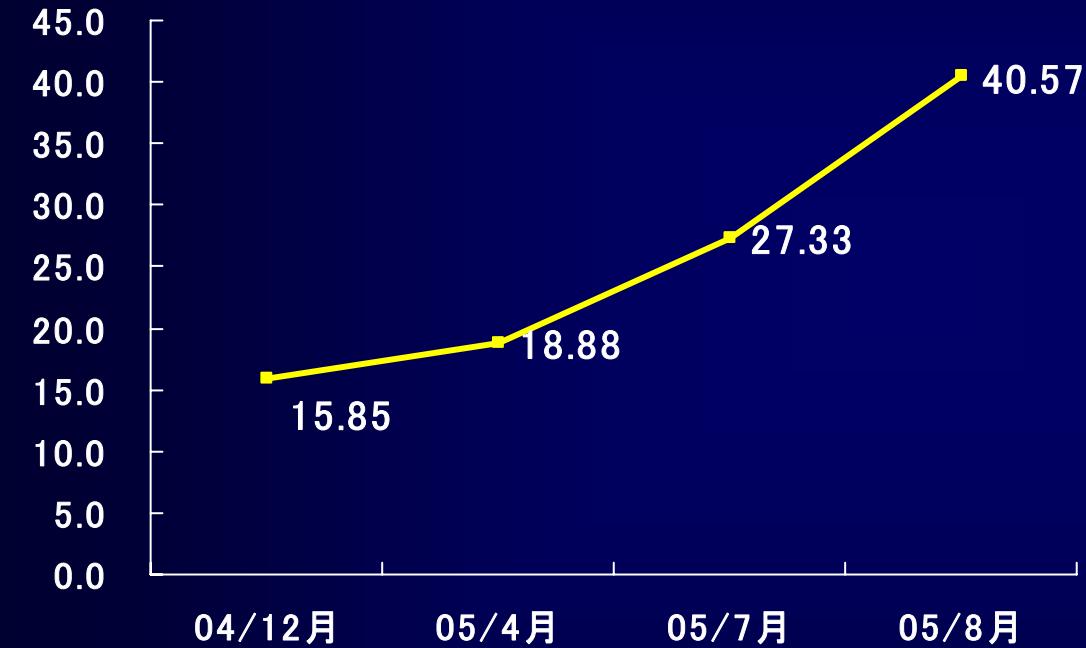


完全子会社化により、収益のグループ外流出を防ぐとともに  
迅速な意思決定を実現

# SBIパートナーズの連結子会社化

## SBIホールディングスの

(%) SBIパートナーズに対する持株比率の推移



(百万円)

|        | 出資額    |
|--------|--------|
| 04/12月 | 4,500  |
| 05/ 4月 | 2,460  |
| 05/ 7月 | 6,180  |
| 総出資額   | 13,140 |

- 2005年7月 第三者割当増資引受により、持分法適用関連会社となる。
- 2005年8月 追加株式取得により、連結子会社となる。

# SBIパートナーズ 連結業績

(単位:百万円)

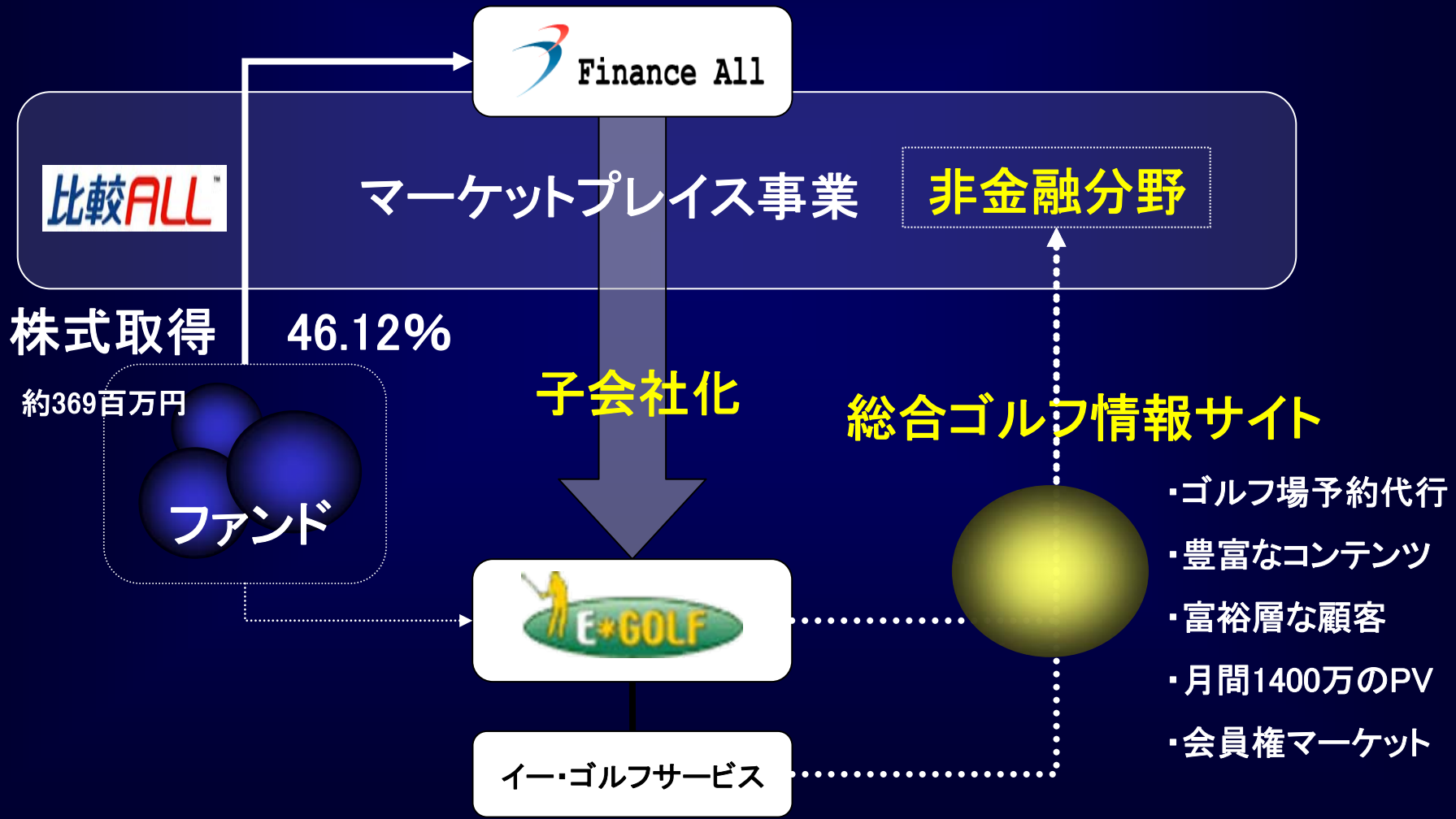
|       | 2005年6月期<br>第1四半期<br>(2004年7月～9月) | 2006年3月期<br>第1四半期<br>(2005年7月～9月) | 前年同期比<br>増減率(%) |
|-------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------|
| 売上高   | 1, 301                            | 2, 356                            | 81. 0           |
| 営業利益  | △169                              | 568                               | —               |
| 経常利益  | △199                              | 499                               | —               |
| 当期純利益 | △223                              | 461                               | —               |

※今期は、決算期変更(6月30日から3月31日)に伴い9ヶ月の変則決算となります。

※今期よりホメオスタイル(株)が連結子会社から持分法適用子会社に変更となっております。

# ファイナンス・オールによるイー・ゴルフ子会社化

総合ゴルフサイト運営の先駆的企業を傘下に収め、マーケットプレイス事業の非金融分野において飛躍的な成長を見込む。



## ④合併・買収・ジョイントベンチャーの設立・戦略的提携

# ジョイントベンチャーは少ない投下資金で ビジネスの迅速な立ち上げが可能

- ・イー・トレード株式会社  
設立:1998年6月 黒字化達成期:2000年3月期  
当社グループ当初出資金額:約15億7,000万円  
当社グループ当初持株比率:58%
- ・モーニングスター株式会社  
設立:1998年3月 黒字化達成期:1999年12月期  
当社グループ当初出資金額:約1億6,000万円  
当社グループ当初持株比率:40%(ワラント持分考慮後55.6%)
- ・イー・ローン株式会社  
設立:1999年5月 黒字化達成期:2001年3月期  
当社グループ当初出資金額:3億円  
当社グループ持株比率:60%
- ・インズウェブ株式会社  
設立:1998年12月 黒字化達成期:2000年9月期  
当社グループ当初出資金額:3億6,000万円  
当社グループ持株比率:60%
- ・ゴメス株式会社  
設立:2001年3月 黒字化達成期:2001年12月期  
当社グループ当初出資金額:約2億3,000万円  
当社グループ持株比率:65%

# インターネット広告代理店業への展開



- インターネット広告業界有数の営業力
- 1200のクライアントチャンネル
- アフィリエイトなどの独自サービス
- 急拡大する金融分野での実績



- 金融比較サイト最大手としての金融機関チャンネル
- 金融分野におけるインターネットマーケティングノウハウ
- 豊富な金融機関向けソリューション

インターネット金融分野での実績に裏づけされた付加価値の高いサービスの実現

セプテーニ 51%

ファイナンス・オール 49%

合弁会社の設立（2005年2月28日）

商号： 株式会社キャノウ  
資本金： 1億円



両社の強みを持ち寄ることでネット広告市場の主戦場である金融分野でNO. 1を目指す

# トレーダーズ証券グループとの戦略的業務・資本提携

両社の金融関連ITソリューションの融合、  
運用リソースの共有化及び販路の拡大を図る

 **SBI Holdings**

連結子会社

 **Finance All**

連結子会社

 **SBI Technology**

5%保有

資本提携

5%保有

5%保有

 **TDS**

トレーダーズ証券

連結子会社

 **TFS**

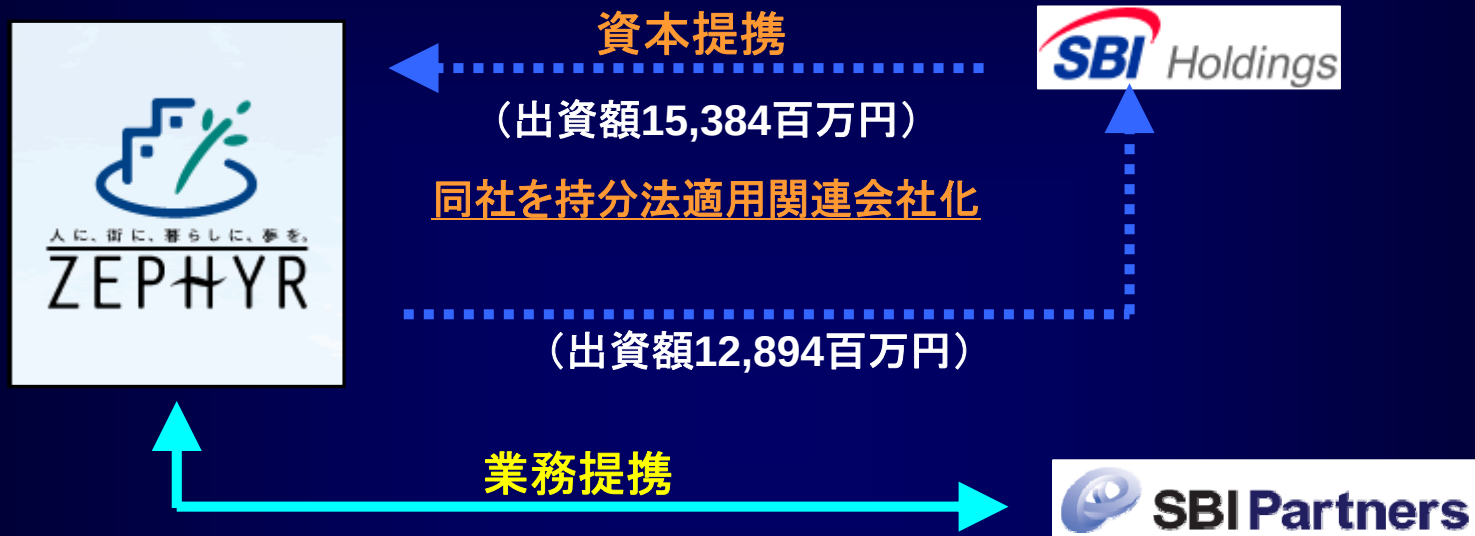
トレーダーズフィナンシャル  
システムズ

- ・アカウントアグリゲーション
- ・デイトレーダー向トレーディングツール

- ・外国為替取引システム
- ・日経225取引システム

戦略的業務提携

# 株式会社ゼファーと戦略的資本・業務提携を締結



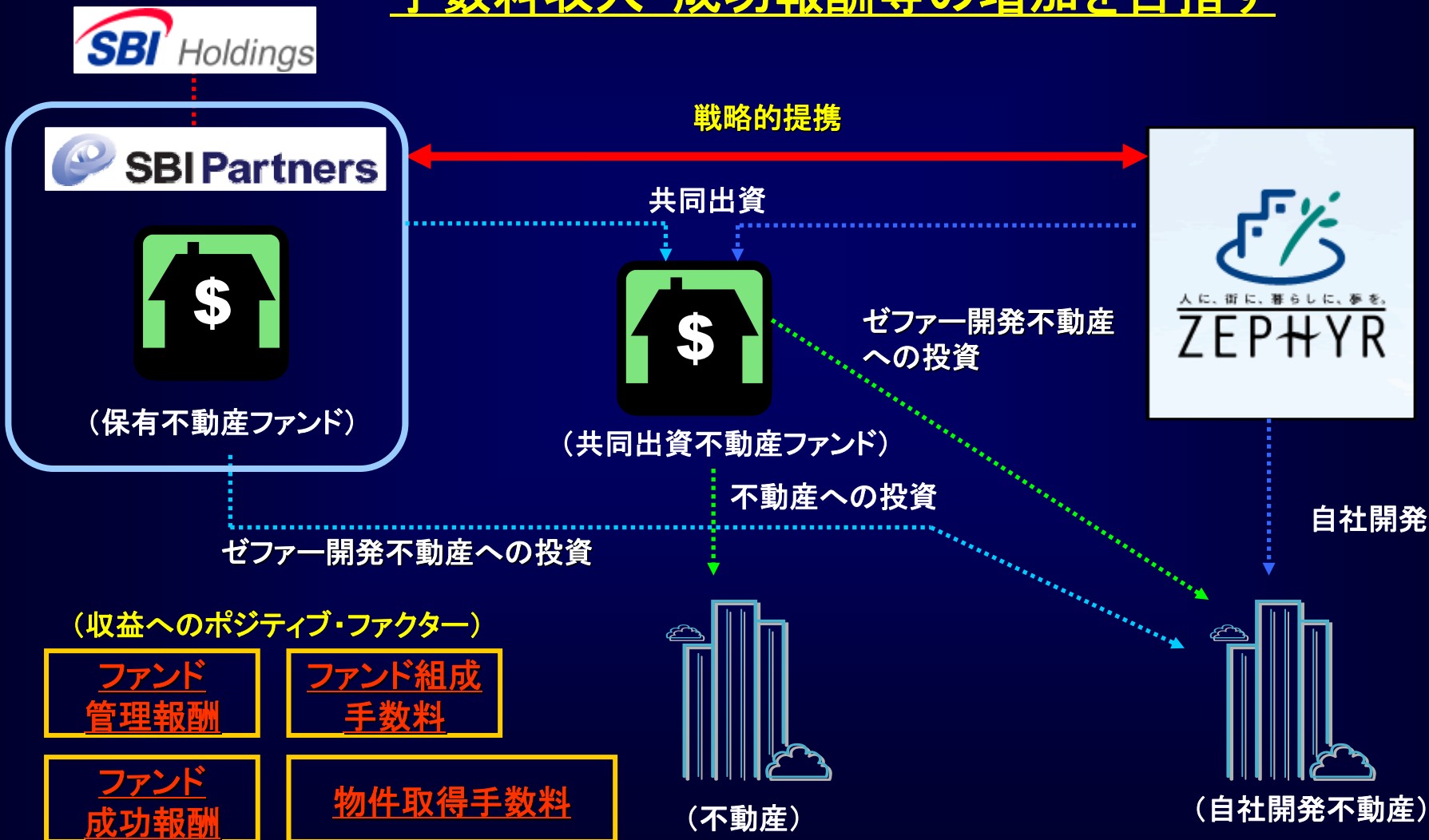
- (1) 両社の既存事業の拡大へ向けた、不動産を中心とした事業に関わる情報、技術等に関する経営資源及びノウハウの共有並びに補完
- (2) 両社の経営資源及びノウハウを活用した新規事業の創設



双方の既存事業の飛躍的拡大と新規事業の創設とを目指す

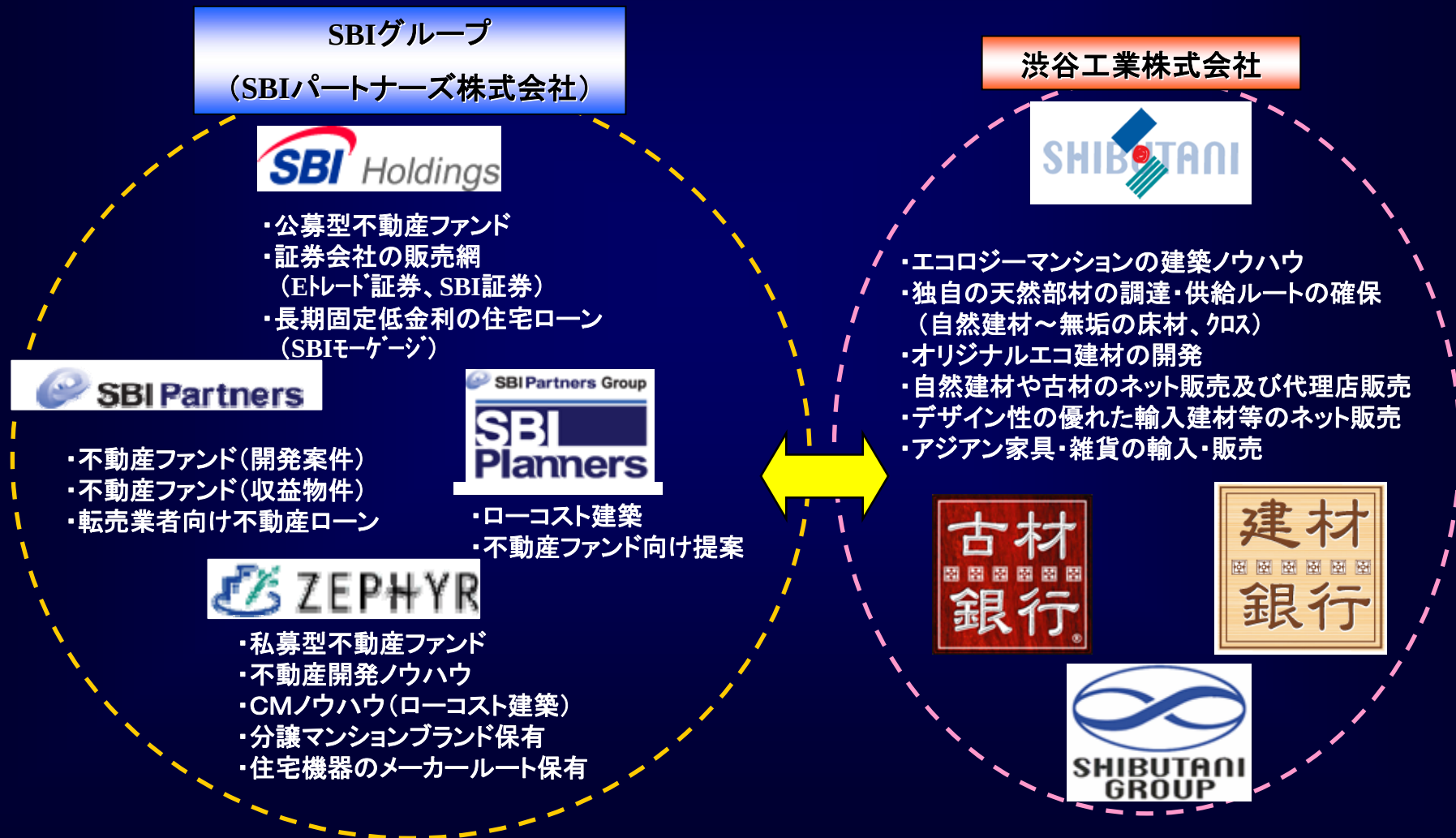
# ゼファーとの業務提携による多様な収益機会

## 不動産ファンド組成による 手数料収入・成功報酬等の増加を目指す



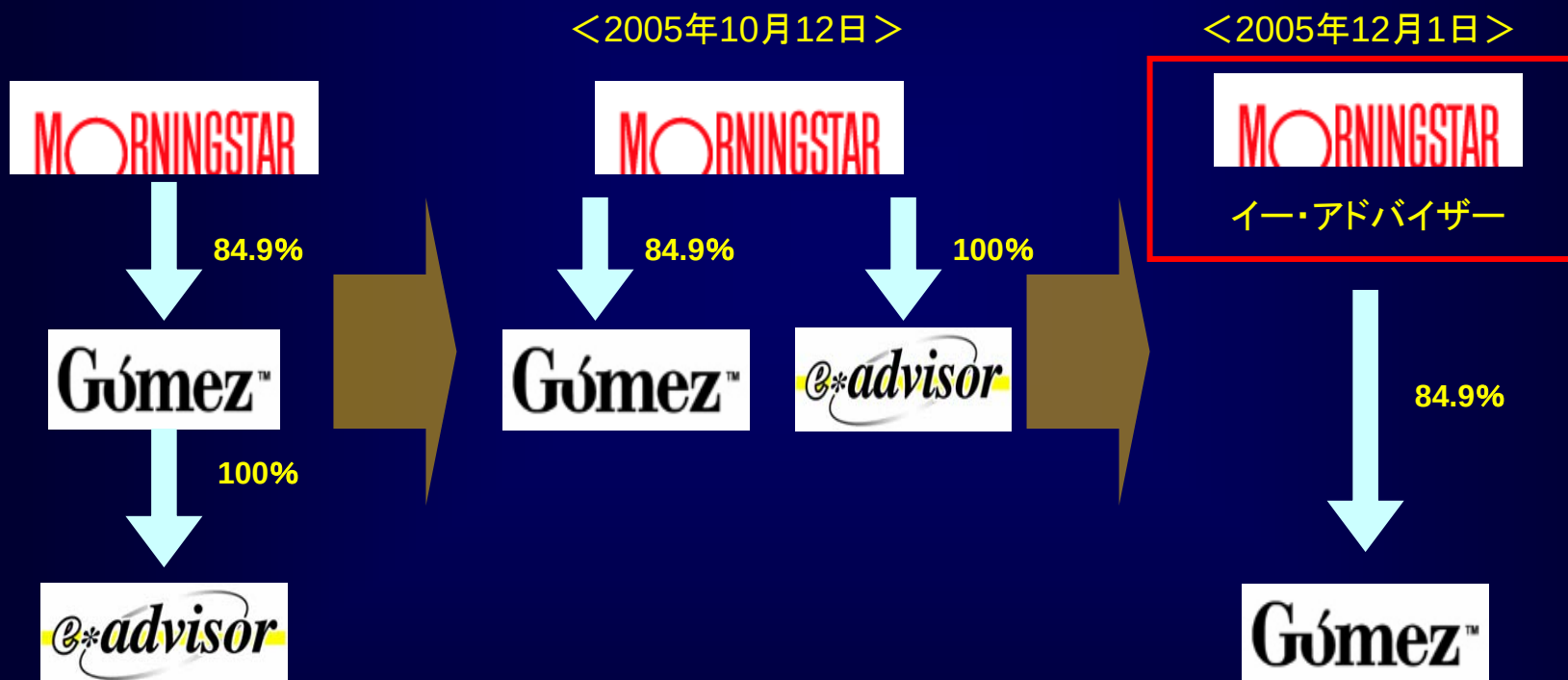
# 渋谷工業株式会社と戦略的提携を締結

## エコ建材による賃貸マンションの差別化・ファンド利回り向上を目指す



# モーニングスターと子会社イー・アドバイザーの合併

- (1) 10月12日付で、モーニングスターがゴメス・コンサルティングからイー・アドバイザーの全株式を取得。
- (2) 12月1日付でモーニングスターはイー・アドバイザーを吸収合併する。



# 合併による事業シナジー効果

## <提供サービス>



資産運用アドバイス



ライフプラン・アドバイス  
・生命保険の見直し  
・住宅ローンの借り換え

トータル・クオリティライフ・マネジメント

## <提供形態>

・WEBサイト  
・紙媒体

・対面（独立FP活用）

## <顧客>

・金融機関  
・確定拠出年金採用企業  
・個人投資家

・職域マーケット



| 商品名                     | 運用資産  | 運用期間 | 運用実績 | 運用コスト | 運用リスク |
|-------------------------|-------|------|------|-------|-------|
| Morningstar ClearFuture | 100万円 | 10年  | 120% | 1%    | 中     |
| Morningstar e*advisor   | 100万円 | 10年  | 110% | 1%    | 中     |
| Morningstar LifePlan    | 100万円 | 10年  | 100% | 1%    | 中     |



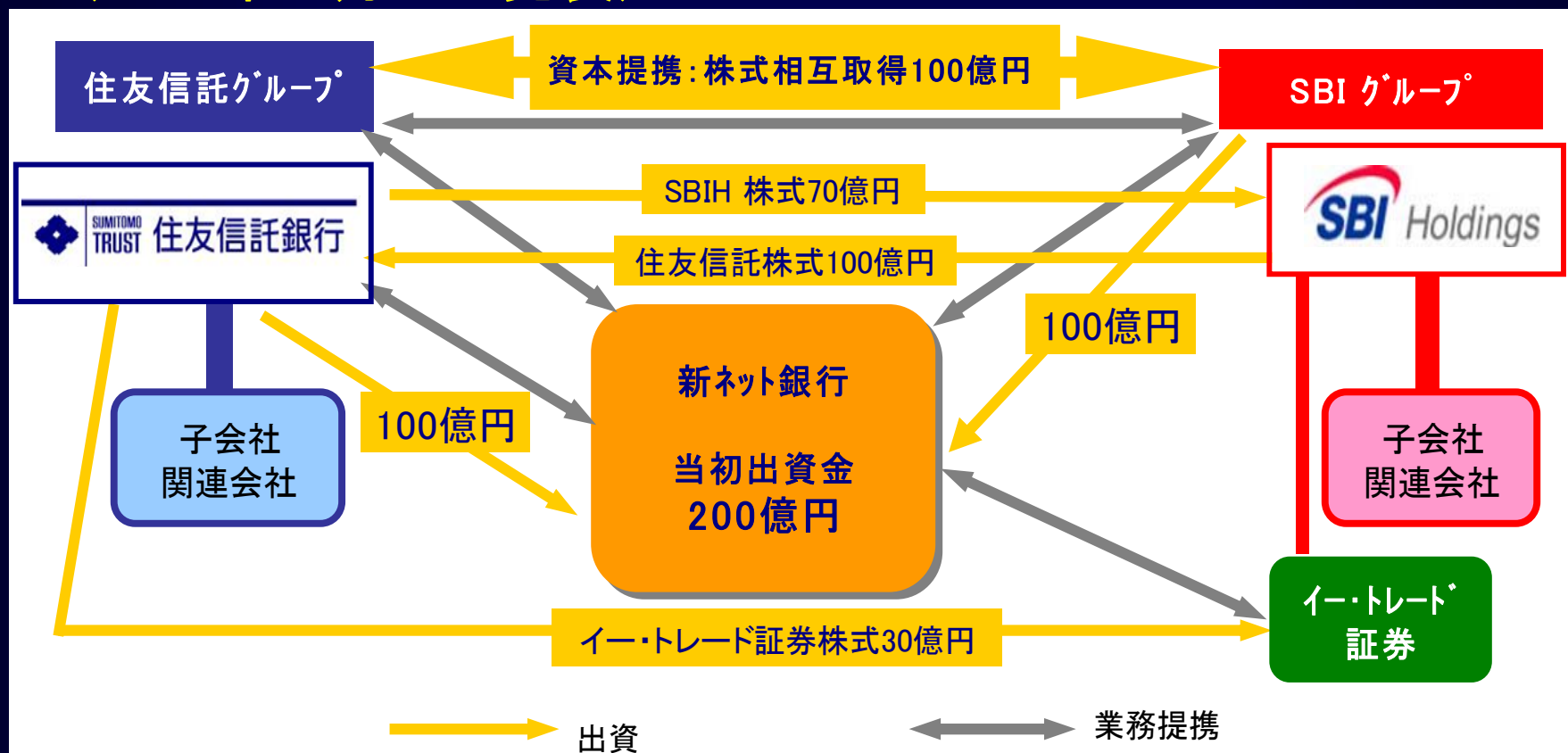
## Ⅱ) 銀行業への進出

①銀行業進出への背景

②銀行業とSBIグループ生態系とのシナジー

# 住友信託銀行と基本合意

## 新ネット銀行設立・業務提携・資本提携について基本合意 (2005年10月25日発表)



なお、本基本合意におけるスキームは関係当局の許認可等を前提としております。

# 新ネット銀行設立までのスケジュール



平成17年10月25日

インターネット銀行の共同設立と資本・業務  
提携に関する基本合意書締結

「提携推進会議」設置

非常勤取締役：北尾吉孝

非常勤取締役：森田豊

銀行設立準備会社

「SBI住信ネットバンク設立準備会社(仮称)」設立

2006年3月

銀行免許取得手続、システム構築

2007年3月

代表取締役副社長

代表取締役社長

新ネット銀行営業開始(2007年上半期)

当初出資金：200億円程度

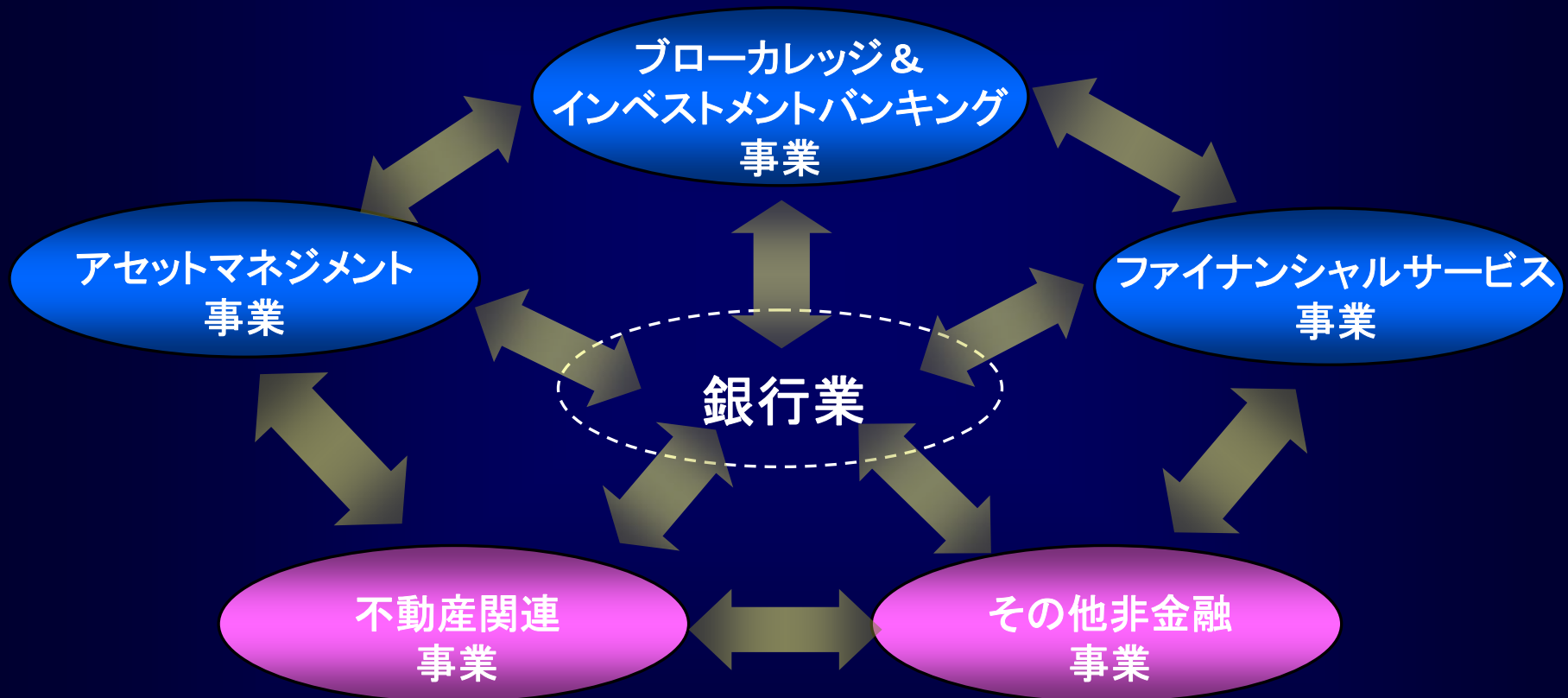
従業員数：80名程度

本店所在地：港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー

# ①銀行業進出への背景

# 銀行業はSBIグループ設立当初から 想定していた中核的事業

SBIグループ設立時における基本認識

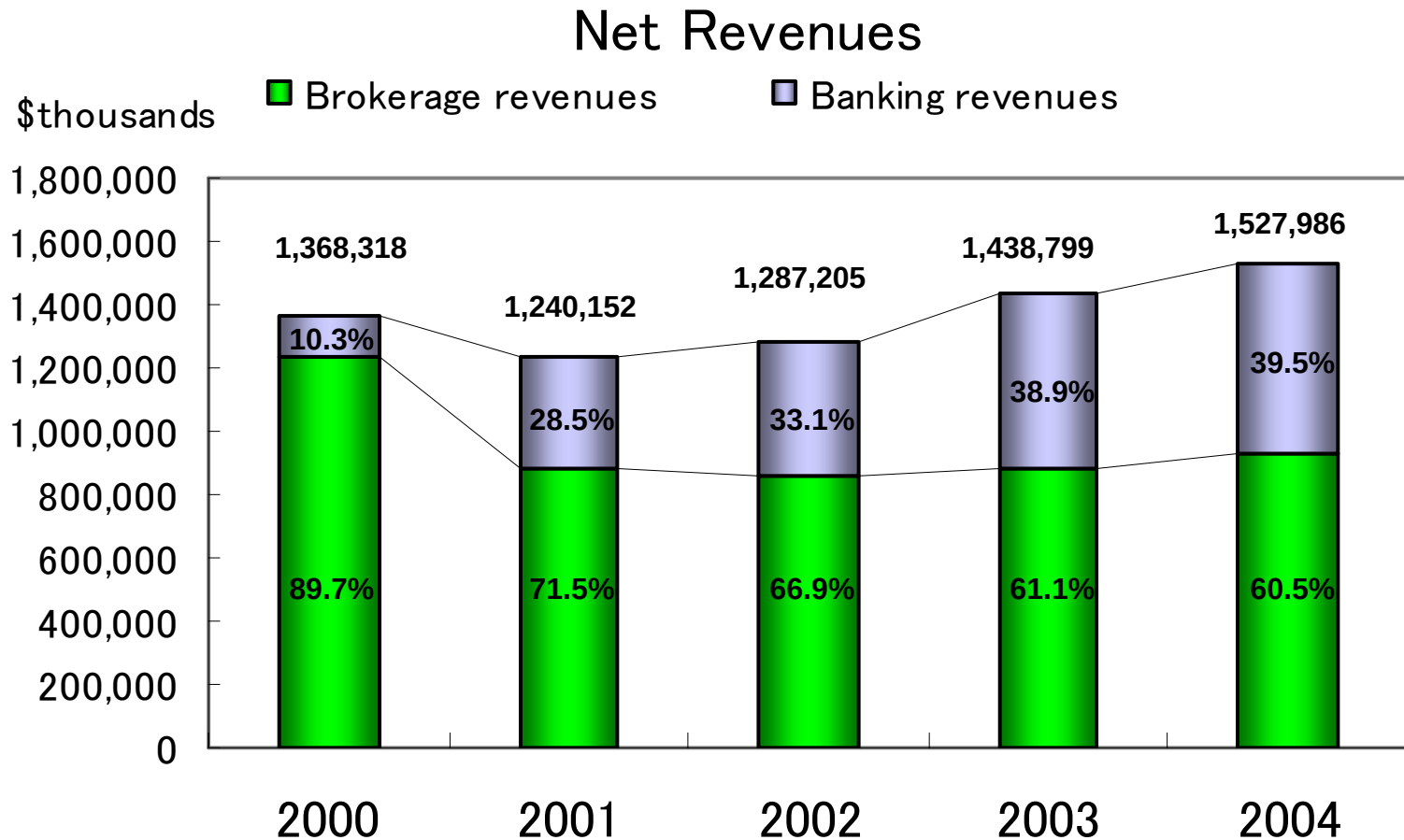


総合金融事業グループを形成するうえで  
中核的事業として銀行業への進出は必要不可欠

# 米国における実践・検証

## 米国E\*TRADE FINANCIAL Corporationの例

銀行業務部門の収益が拡大 (内約60%は証券業務の関係で生じた収益)

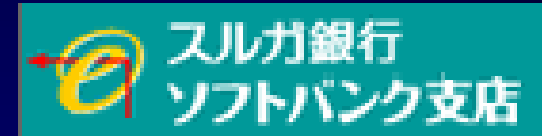


# 日本における実践・検証

## スルガ銀行ソフトバンク支店の例

ソフトバンク支店の顧客の約65%はイー・トレード証券ユーザー

**E\*トレード証券**



総預金残高: 167億28百万円  
総口座数: 183,326口座

口座開設者のうち、イー・トレード  
証券ユーザーの割合

**64.9%** (2004年10月～ 2005年3月実績)  
(※44.86% (2005年9月末までの累計))

**Why?**

### イー・トレード証券ユーザー限定の優遇メリット提供

1. 決済の提携  
即時入金サービス(リアルタイムで資金移動可能・振込手数料無料)
2. 双方のユーザー向け特典実施  
ATM 引き出し手数料無料  
他行宛振込み手数料優遇  
無担保ローン金利1%優遇

# 銀行参入に向けたこれまでの実践・検証活動から導き出されたSBIグループが考える「新インターネット銀行像」

## I. 決済、運用、調達の三大機能の保有は不可欠

## II. 幅広い連携が可能な企業生態系の構築がインターネット銀行成功には必須

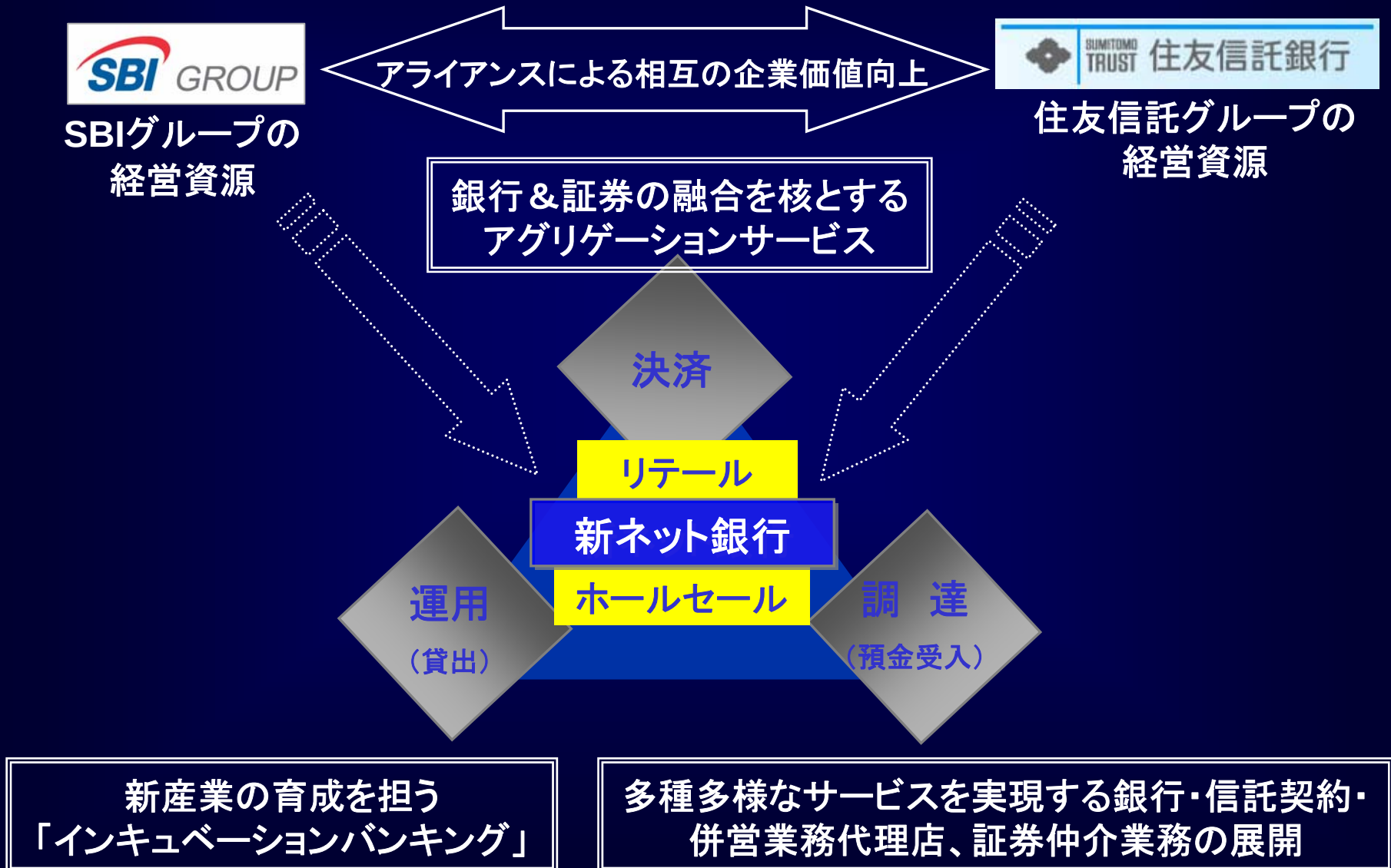
★特に次の3事業とのシナジーが決め手となる

①オンライン証券事業

②ベンチャーキャピタル事業

③不動産・住宅関連事業

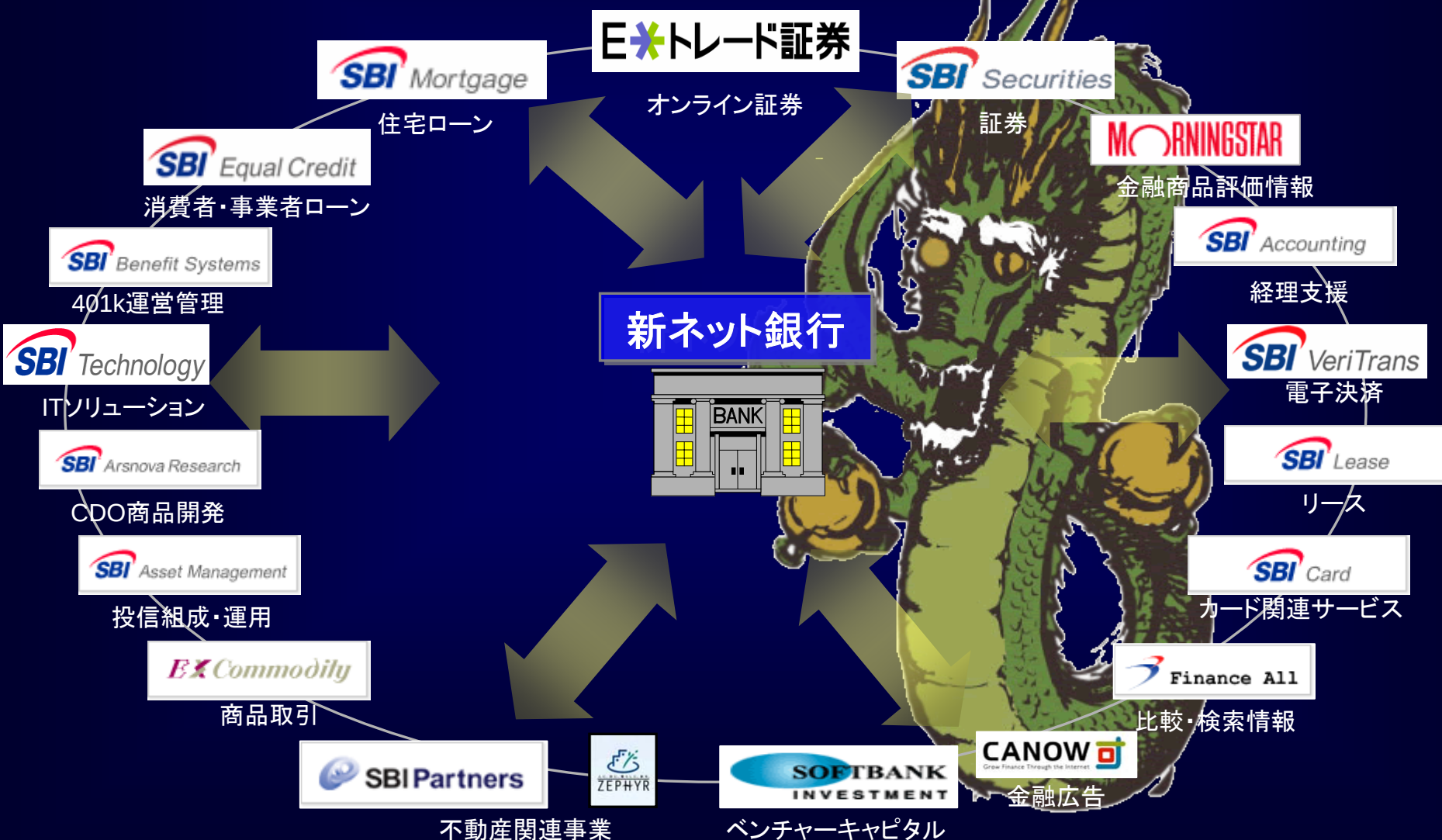
# インターネット銀行初のフルバンキング業務の展開へ



## ②銀行業とSBIグループ生態系とのシナジー

- i. オンライン証券事業との連携
- ii. ベンチャーキャピタル事業との連携
- iii. 不動産・住宅関連事業との連携

# 新ネット銀行における多種多様な事業展開を可能にする SBIグループ企業生態系



## i . オンライン証券事業との連携

新ネット銀行とイー・トレード証券の連携により可能となり得るサービス例：

## (イ) 銀行・証券統合型Web取引画面の実現

「銀行口座⇔証券口座」口座間振替・一覧表示

銀行・証券 融合例 - E\*TRADE(米国) -

Quick Transfer Demo - Microsoft Internet Explorer

**E\*TRADE FINANCIAL** Quick Transfer

Quick Transfer  
Transfer Funds  
Enroll External Account  
Verify External Accounts

Apply Online >  
1-800-ETRADE-1

Transfers: Pending

Transfer Money Pending History

Select an account: Savings - 4567

Display transfers: From this account GO

| Scheduled Date | From Account    | To Account           | Amount     | Frequency    | Edit | Delete |
|----------------|-----------------|----------------------|------------|--------------|------|--------|
| 6/8/04         | Savings<br>4567 | Checking<br>5678     | \$200.00   | Once a Month | EDIT |        |
| 6/7/04         | Savings<br>4567 | Brokerage<br>8901    | \$2,000.00 | One Time     | EDIT |        |
| 6/7/04         | Savings<br>4567 | Money Market<br>2345 | \$500.00   | Once a Month | EDIT |        |
| 6/7/04         | Savings<br>4567 | Checking<br>5678     | \$700.00   | One Time     | EDIT |        |
| 6/7/04         | Savings<br>4567 | IRA<br>3456          |            |              |      |        |
| 6/7/04         | Savings<br>4567 | Brokerage<br>8901    | \$2,300.00 | Once a Month | EDIT |        |

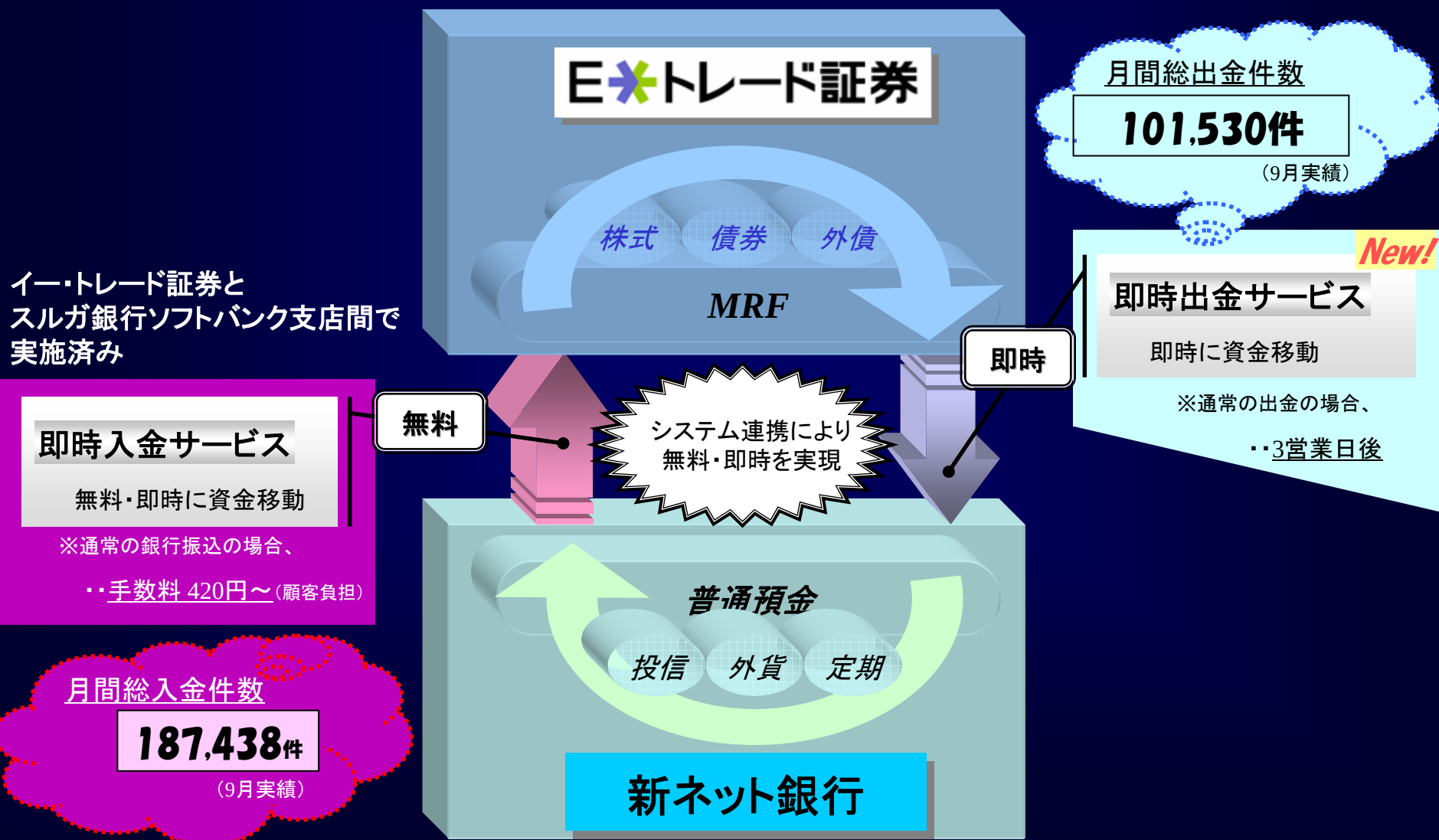
Should your needs change, you can easily edit or cancel your pending transfers online.

DISCLAIMER

# 新ネット銀行とイー・トレード証券の連携により可能となり得るサービス例

## (ロ) 銀行・証券間での資金移動における即時入出金サービス

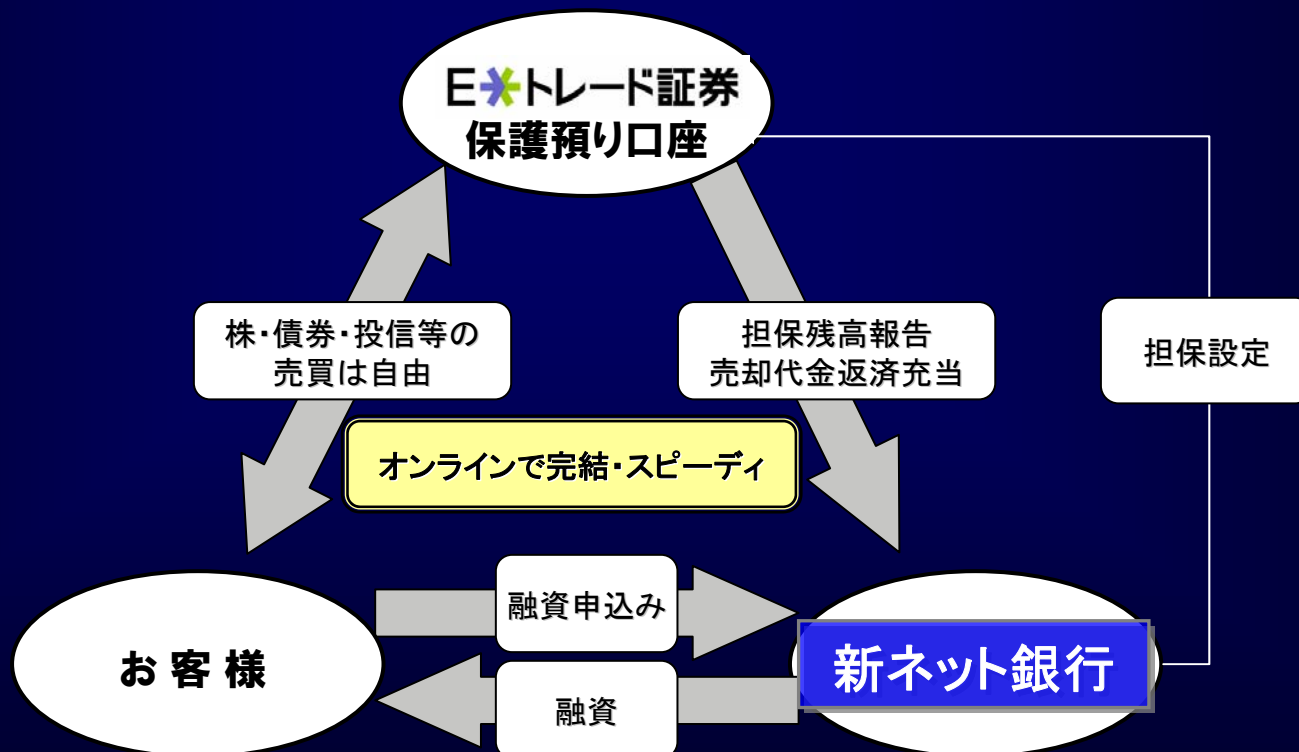
「証券⇔銀行」間で24時間365日、即時に資金移動可能



## (ハ) 証券担保ローンの提供

イー・トレード証券口座で保有する株式・債券・投信などを担保に、  
当座貸越型の大型ローンを提供

・シームレスにカードローン・タイプのフリーローンを提供。イー・トレード証券ユーザーは、無期限信用取引などが可能になり、資金移動もシームレス・リアルタイムに行えるため、利便性が格段に向上。



## ii . ベンチャーキャピタル事業との連携

# (イ) 株式公開後のファンド投資先の資金調達事例

## 株式公開後も事業の成長が続き、資金調達需要は旺盛

| 会社名                | 公開時期     | 売上(億円)<br>(決算期)                             | 調達時期                                       | 調達金額<br>(億円)      | 調達方法                             |
|--------------------|----------|---------------------------------------------|--------------------------------------------|-------------------|----------------------------------|
| (株)アパマンショップネットワークス | 2001年3月  | 184(2004/9)<br>146(2003/9)                  | 2003年9月<br>2003年9月                         | 極度額 20<br>13.5    | コミットメントライン<br>タームローン             |
| (株)菱和ライフクリエイト      | 2001年11月 | 438(2005/3計画)<br>380(2004/3)<br>360(2003/3) | 2002年11月<br>2004年8月                        | 極度額 10<br>100     | コミットメントライン<br>協調融資               |
| (株)ネクシィーズ          | 2002年3月  | 183(2004/9)<br>113(2003/9)                  | 2004年8月                                    | 極度額 45            | コミットメントライン                       |
| (株)モック             | 2003年4月  | 65(2004/6)<br>44(2003/6)                    | 2003年7月<br>2003年7月<br>2003年9月              | 極度額 12<br>18<br>5 | コミットメントライン<br>タームローン<br>私募・無担保社債 |
| (株)アーティストハウス       | 2003年8月  | 14(2004/11)<br>中間 29(2004/5)<br>25(2003/5)  | 2003年9月<br>2003年11月<br>2003年12月<br>2004年7月 | 3<br>2<br>5<br>3  | } 私募・無担保社債                       |
| (株)ネクサス            | 2004年2月  | 112(2004/5)<br>112(2003/5)                  | 2004年6月                                    | 極度額 45            |                                  |

出所:各社開示資料

合計 **281.5 億円**

# (ロ) 企業の各成長ステージにおける資金ニーズに対応する「インキュベーションバンキング」の展開

それぞれの企業規模に適した幅広いローン商品を取り揃え、企業の成長を資金面からサポートする

新ネット銀行



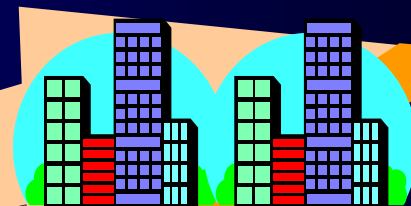
※大企業向け融資

(住友信託の銀行代理店業務)

※中堅企業向け融資

(住友信託の銀行代理店業務)

小規模事業者向け  
スモールローン



SBIグループ独自のベンチャー企業ネットワーク

※審査、管理等は住友信託銀行が行う

成長段階

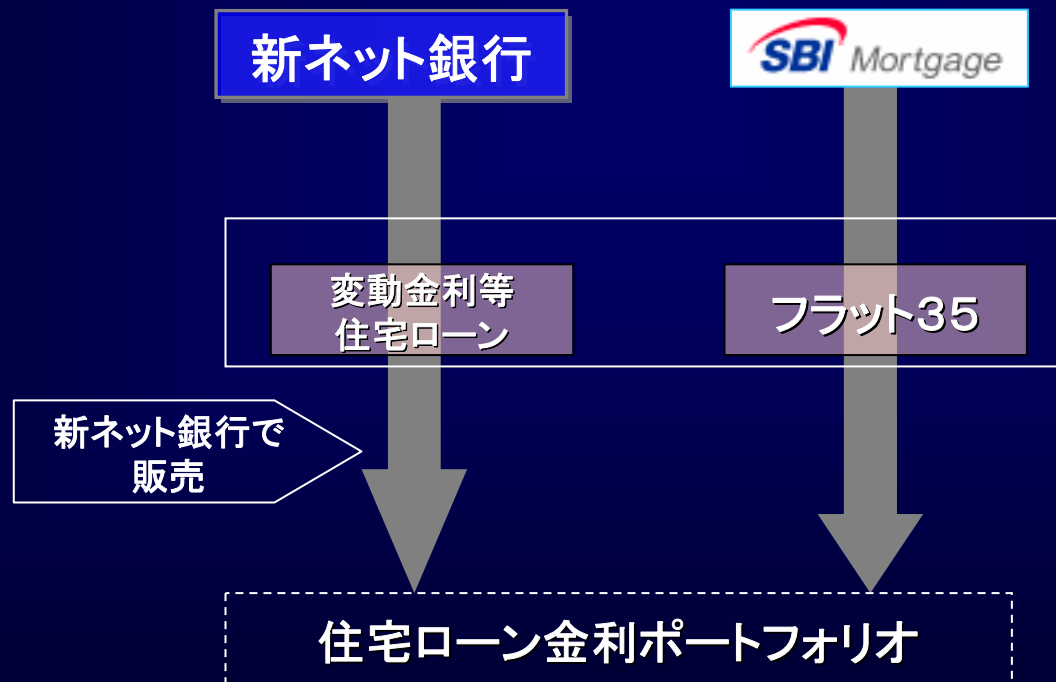
アーリーステージ

レイトーステージ

### iii. 不動産・住宅関連事業との連携

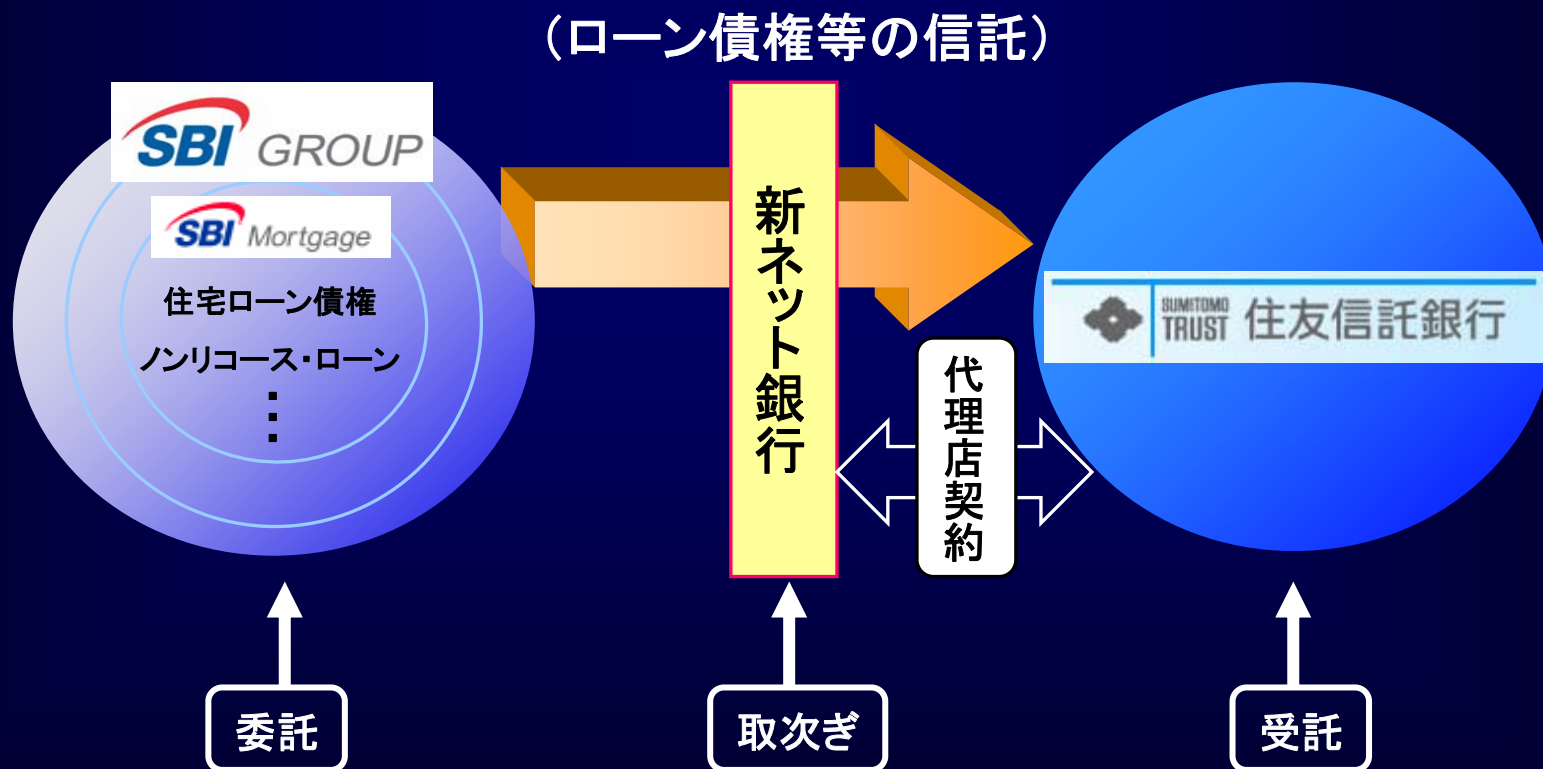
## (イ) 利便性の高い住宅ローンの提供

- ・SBIモーゲージと連携、フラット35と組み合わせた借り入れポートフォリオ構築
- ・SBIグループ・住友信託グループと連携した提携チャネルの拡大
- ・新興富裕層のセカンドハウスローン、老後資金対策や資産運用の賃貸住宅購入ローンも用意



**(口)流動化業務の代理**

**SBIモーゲージをはじめとするSBIグループ各社のローン債権等の流動化を  
新ネット銀行が住友信託銀行の代理店として取り扱う**



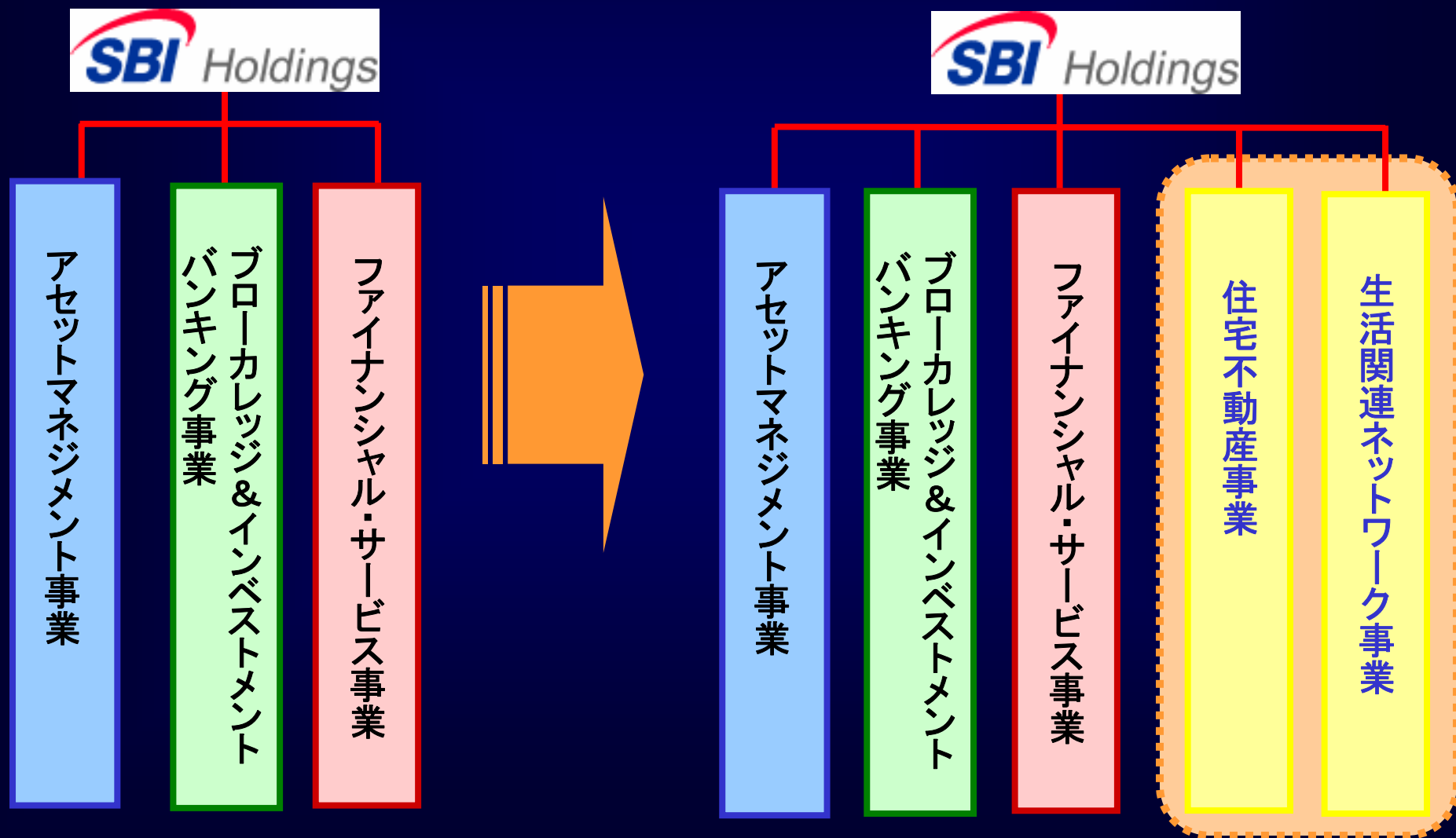
### Ⅲ) 3つのコアビジネスから5つのコアビジネスへ ～非金融事業の本格的育成・拡大～

- ① 5つのコアビジネス
- ② 住宅不動産業への本格的進出
- ③ 生活関連ネットワーク事業への進出

# ① 5つのコアビジネス

# 3つのコアビジネスから5つのコアビジネスへ

住宅不動産事業・生活関連ネットワーク事業を、コアビジネスと明確に位置づける



## ② 住宅不動産業への本格的進出

# SBIグループがSBIパートナーズを中核として 不動産業へ進出する好機が到来

## ①企業の不動産に対する意識の変化

不動産を持たないネット企業との競争の中で、企業にとって不動産所有は所与のものではなく、その収益化・流動化が経営戦略上の重要な課題となっている。

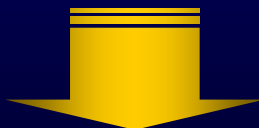
## ②アセットマネジメントにおける重要商品としての位置付け

日本においても欧米同様、「不動産」が株式・債券・現預金と並ぶ第四の運用商品として、機関投資家や個人の更に重要な運用対象となる。(米国大手年金の不動産投資割合は5%程度であるが、日本での同割合はまだ無きに等しい※)

※出所:Pensions & Investments、厚生年金基金連合会等

## ③SBIグループだから可能となる「不動産+ $\alpha$ 」ファンド

不動産と未公開株を同時に組み込むファンドの組成等、総合金融グループとして商品の差別化が可能となる。



デフレ後の経済環境の下、提案型の不動産ビジネス展開により、企業の経営課題解決と幅広い運用ニーズの充足を目指す

### ③ 生活関連ネットワーク事業への進出

# 「価格」訴求から「ネットワーク価値」の訴求へ

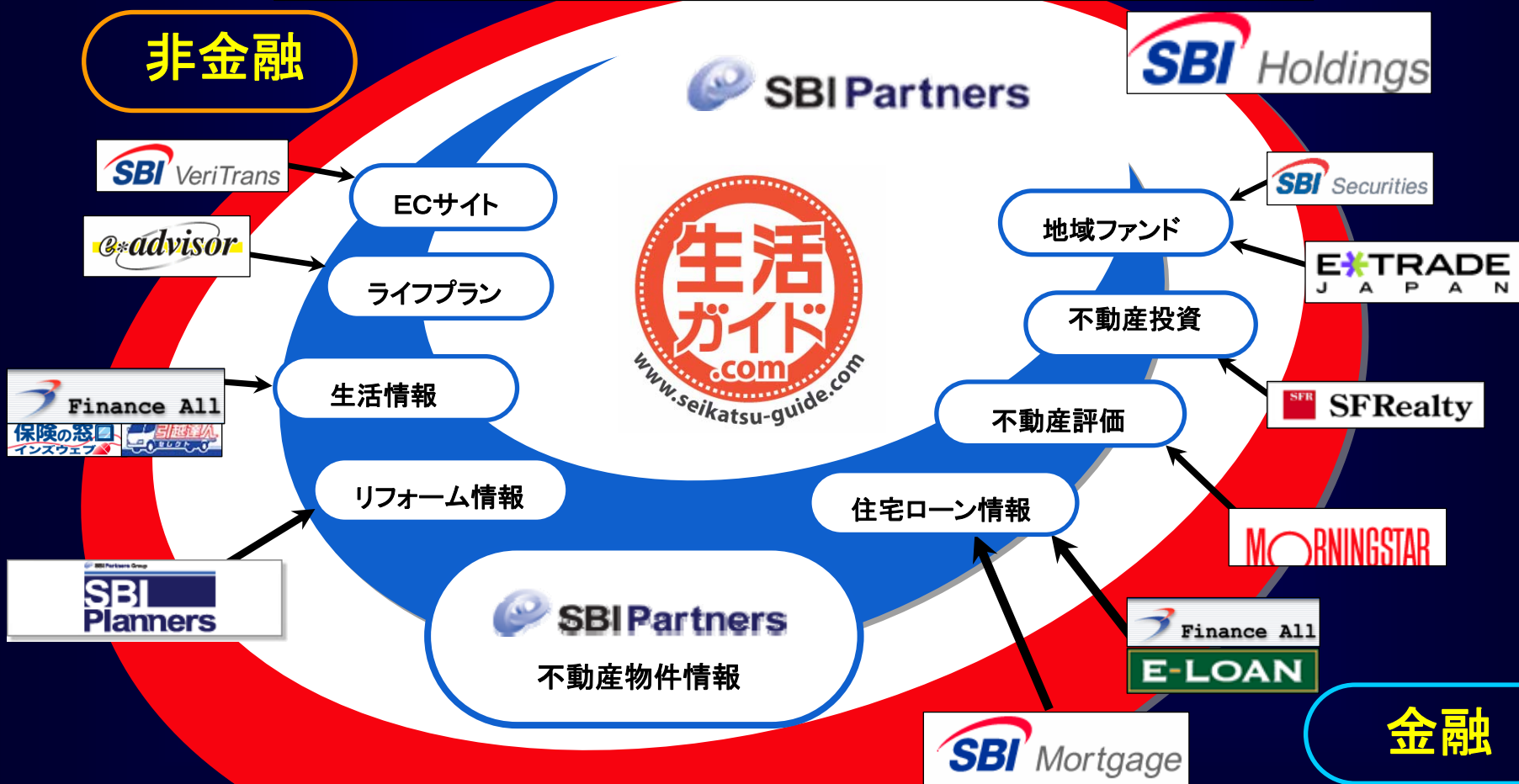


家を買いたいという意思・要求を持った人に対し、そこから派生するあらゆる情報を提供するネットワークを構築することにより、顧客の購買行動を効率的にサポートする。

# 生活ガイド.com をポータルとするSBIグループのネットワーク価値追求

「自治体」・「地域社会」情報等「生活」を切り口とした  
金融事業と非金融事業との融合を図る

## 非金融



## 金融

年内、第1弾リニューアル予定

# 総合比較サイト **比較ALL**™ により他社商品をも提供

**Step1: SBIグループがより良い商品・サービスを厳選**

**Step2: 顧客はそこから自分に合ったベストな商品・サービスを選択**

金融関連情報と  
生活関連情報と  
の相乗効果を図る

すべてを比較し、  
すべてを見積もる！

集約化・効率化

金融・生活関連情報

比較サイト

子会社コンテンツ



## ビジョン(3)

「強い企業」から「強くて尊敬される企業」を目指す

# 「強い企業」から「強くて尊敬される企業」へ ～パラダイムシフトの3つのプロセス～

## ①「社会性の認識」

企業は社会に帰属しているからこそ存続できるのであり、  
企業は社会の維持・発展に貢献しなければならないと認識する

## ②「社会的信用の獲得」

- ・価値観、経営理念、ビジョンといった概念的枠組みを明確に規定
- ・競争戦略、ターゲットとする顧客セグメント、事業ポートフォリオを定める
- ・上記を広く自社の内外に表明し、ステークホルダーから評価される
- ・社内の業務体制や教育研修体制を整備する

## ③「社徳」を高める

人に人徳があるように、企業には「社徳」がある。  
高い「社徳」があれば、必ず事業もうまいき、社会からも尊敬される。

高い「社徳」を得るための実践的な活動：

1. 全役職員が徳性を高め、正しい倫理的価値観をもつ。
2. 獲得した社会的信用を維持し、醸成し続ける。  
(＝強力なコーポレートブランドの確立と維持)

# SBIグループの直接的社会貢献活動①

2002年1月

## ソフトバンク・ファイナンス取締役会にて基本方針を決定

税引後利益3億円以上を計上したグループ各社は利益の1%を  
児童社会福祉法人へ寄付を行う

2004年7月

## 寄附活動本格化

9政令指定都市、39都道府県から賛同を得て、各自治体所管の  
児童養護施設・乳児院等（173施設）に対して総額167.1百万円  
の寄附金謹呈

2004年12月

## SBI児童福祉有限責任中間法人設立

SBIグループ各社からの寄附金だけでなく、**ストックオプ  
ション**などの寄贈を受け入れ、**証券市場**を活用して幅広く  
寄付活動を展開する**日本初の試み**

全国施設見学・状況把握

全国自治体を訪問・実態ヒアリング

2005年3月

## 賛同者から中間法人への浄財受入開始

新規公開企業の自社株を創業者より拝受  
未公開企業の新株予約権を拝受

2005年4月～

## 財団法人設立準備

2005年10月

## 厚生労働省より財団法人設立認可

財団法人SBI子ども希望財団を設立

# SBIグループの直接的社会貢献活動②

## 設立財団法人の概要

|       |                                                               |
|-------|---------------------------------------------------------------|
| 名称    | 財団法人<br>SBI子ども希望財団<br>(The SBI Children's Hope Foundation)    |
| 所在地   | 東京都港区六本木1-6-1                                                 |
| 基本財産  | 5億円<br>(拠出内訳)<br>北尾吉孝 3億円<br>SBIホールディングス 1億円<br>イー・トレード証券 1億円 |
| 活動内容  | 児童福祉向上を目的とした<br>児童・施設・団体・事業等への支援事業                            |
| 設立年月日 | 2005年10月6日                                                    |

記事

(2005年10月20日 日経新聞夕刊)

# SBIグループの直接的社会貢献活動③

## 財団役員

### 【理事】

|            |                             |
|------------|-----------------------------|
| 田淵 義久(理事長) | 元野村證券(株)取締役社長               |
| 北尾 吉孝      | SBIホールディングス(株) 代表取締役執行役員CEO |
| 石原 信雄      | (財)地方自治研究機構 理事長、元内閣官房副長官    |
| 古川 貞二郎     | 恩賜財団 母子愛育会 理事長、前内閣官房副長官     |
| 山田 淳一郎     | 公認会計士、山田&パートナーズ 統括代表社員      |
| 田坂 広志      | シンクタンク・ソフィアバンク 代表、多摩大学大学院教授 |

### 【監事】

|       |                      |
|-------|----------------------|
| 江尻 隆  | 弁護士、あさひ・狛法律事務所 パートナー |
| 加藤 善孝 | 公認会計士、優成監査法人 統括代表社員  |

### 【評議員】

|       |                                         |
|-------|-----------------------------------------|
| 渡邊 啓司 | 公認会計士、監査法人トーマツ パートナー                    |
| 新井 賢一 | 東京大学名誉教授、東京都臨床医学総合研究所 研究統括顧問            |
| 佐野 光徳 | (社)日本クラシック音楽事業協会 会長                     |
| 畠山 寛  | (福)こどもの国協会常務理事 園長                       |
| 井土 太良 | イー・トレード証券(株) 代表取締役                      |
| 大前 和徳 | SBIホールディングス(株) コーポレート・コミュニケーション部(CSR担当) |

# SBIグループの直接的社会貢献活動④

## SBIグループ等の今期寄附予定

### SBIグループ各社の寄付見込額

(単位: 百万円)

|             | 売上高    | 税引後利益 | 寄付見込額 |
|-------------|--------|-------|-------|
| SBIホールディングス | 17,532 | 6,297 | 63    |
| イー・トレード証券   | 27,174 | 6,061 | 61    |
| SBI証券       | 10,671 | 3,777 | 38    |
| 北尾 吉孝       | -      | -     | 38    |
| 合 計         |        |       | 200   |

**43都道府県11政令指定都市より寄附対象先紹介あり  
11月中を目途に寄附を実施予定**

*<http://www.sbigroup.co.jp>*

*<http://www.etrade.ne.jp>*

*<http://www.sbi-sec.co.jp>*

*<http://www.financeall.jp>*

*<http://www.sbi-pts.co.jp>*